

ほんはともだち '16

子どもの心を育てる
良書目録



ブックル

広島市こども図書館

※ ブックルは、広島市こども図書館にずっと住んでいる、本の妖精です。

ほんはともだち'16

(平成26年(2014年)4月～平成28年(2016年)3月)

目 次

はじめに

凡 例

| | | |
|-----|----------------|----|
| 1 | フィクション | 1 |
| (1) | 幼児から | 1 |
| (2) | 小学校低学年(1・2年)から | 11 |
| (3) | 小学校中学年(3・4年)から | 22 |
| (4) | 小学校高学年(5・6年)から | 32 |
| (5) | 中学生から | 42 |
| 2 | ノンフィクション | 52 |
| 3 | さくいん | 63 |

併記 子どもたちへ原爆を語りつぐ本

－ 総集版・2015 － 補遺版1 … 69

対象別リスト … 89

図書館案内 … 121

編集委員 … 123

は じ め に

昭和41年度（1966年度）から隔年で発行しています子どもの心を育てる良書目録の第26冊目として「ほんはともだち'16」を皆様にお届けします。

児童書は毎年数多く発行されていますが、この目録では過去2年間の新刊書の中から、是非、子どもたちに届けたい、読んで欲しいお薦めの177点を選定し、紹介しています。

また、原爆関係51点も併せて紹介しており、もちろん、目録に掲載したこれらの児童書は、こども図書館に用意してあります。

さて、広島市では昨年3月、「子どもの読書活動推進計画」（第三次）を策定しました。その中で図書館、家庭、地域、学校等が連携して「子どもが自主的に読書活動を行うことができる環境の整備を推進する」ことを、計画の目的として掲げています。

この目録は、図書館のみならず家庭、地域、学校等において、大人が子どもたちに本を手渡す際、あるいは子どもたちが自ら本を選ぶ際の道標としてご活用いただければ幸いです。

そして、子どもたちが素晴らしい本と出合い、読書の楽しさ、喜びを実感、満喫し、ひいては心豊かに生きる一助になることを願っています。

最後になりましたが、今回の発行に当たり、ボランティアの公募編集委員をはじめ、ご支援、ご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

平成29年（2017年）3月

広島市こども図書館
館長 福 島 達 徳

凡 例

- 1 この目録に収録した図書は、原則として平成26年（2014年）4月から平成28年（2016年）3月末までに発行されたものです。
- 2 幼児から中学生までを対象に228点収録しています。
- 3 図書は、その内容によって、フィクション・ノンフィクションに分けてあります。めやすとして対象別（5段階）に分けていますが、実際にはそれぞれの子どもに応じて選んでください。
- 4 併記として、『子どもたちへ原爆を語りつぐ本－総集版・2015－』の補遺版を付けています。図書は、その内容から次の4テーマに分類しています。
 - (1) 絵本
 - (2) フィクション
 - (3) ノンフィクション
 - (4) 詩歌

※ 従来は5テーマですが、今回、紙芝居は該当がありませんでした。

また、記述が広島に関するものは〈広〉、長崎に関するものは〈長〉としています。

当館所蔵の原爆関係児童図書の対象別リストも掲載していますので、あわせてご利用ください。

- 5 配列は、日本十進分類法（NDC）新訂10版による分類の番号順とし、同一分類内は、著者名の五十音順となっています。なお、絵本は、Eの記号を付し、ほんはともだち'16は書名、子どもたちへ原爆を語りつぐ本は出版者の五十音順に並べています。
- 6 図書に関する記載事項は、請求記号、書名、副書名、シリーズ名、著編者・訳者・画家名、出版者、ページ数、価格の順になっています。なお、価格欄の※は、非売品、価格不明等です。
- 7 書名索引を付しています。配列は五十音順とし、清音・濁音・半濁音の区別はしていません。
- 8 価格は（本体価格+税）という形で表示し、本体価格の金額のみを記載しています。また、物価事情により変動することがありますので、ご了承ください。

フィクション

幼 児 か ら

(28 点)

E
あおいちびトラ



アリス・シャートル 文
中川 ひろたか 訳
ジル・マックエルマリー 絵
保育社 32P ￥1,400+税

ちびトラは小さな青いトラック。農場の動物たちと、陽気に挨拶を交わしている。ある日、猛スピードでやってきたダンプカーが、ぬかるみで立ち往生。みんなで力を合わせて助け出そうとする。鳴き声や車の音、登場人物の表情が楽しく表現されたユーモラスな絵本。

幼児から

E

あーといつてよあー

(幼児絵本ふしぎなたねシリーズ)



小野寺 悦子 ぶん

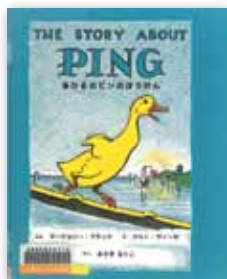
堀川 理万子 え

福音館書店 24P ¥800+税

上を向いたり下を向いたり、両手を広げて「あーと いつてよ あー」。「あー」ってどんな形や色になるのかな？ 息の長さや声の大きさなどを形や色で表現。思わずいろいろな「あー」を言ってみたくなる。声の不思議を色彩豊かに軽快な言葉で描いた絵本。

E

あひるのピンのぼうけん



マージョリー・フラック ぶん

まさき るりこ やく

クルト・ヴィーゼ え

瑞雲舎 32P ¥1,300+税

あひるのピンは大勢の家族やいとこたちと一緒に、揚子江に浮かぶ船に住んでいる。ある日、船の主人から隠れていると、船はピンを残し遠くに行ってしまう。一人ぼっちになったピンは川を下り……。ピンの冒険を黄色と水色を基調とした暖かい絵で描く。新装版。

E

いいないいな

(0.1.2. えほん)



かたやま けん さく

福音館書店 20P ¥700+税

ふうちゃんは動物たちと顔や背中をさわりっこ。「いいないいな いぬさんのおかお」「うさぎさんのせなか」。「いいないいな」の繰り返し心地よい。子どもと動物の特徴をよく捉えた絵がほほえましく、子どもたちを慈しむ作者の優しいまなざしが感じられる。

幼児から

E
いいでをしたくなつたので



リーゼル・モーク・スコーペン 文
松井 るり子 訳
ドリス・バーン 絵
ほるぷ出版 40P ¥1,500+税
家にいるのが嫌になつたので、幼いきょうだい4人がそろって家出した。お気に入りの大きな木で楽しんでいると風が吹き、池ではいかだが沈没し、洞窟では熊に会い……。行く先々で起こるハプニング。元気な子どもたちの姿を、黒一色の線画で生き生きと描く。

E
うめぼしさん



かんざわ としこ 文
ましま せつこ 絵
こぐま社 27P ¥1,200+税

花が散り、梅が実を結ぶと、漬けられ、干されて……。赤くてすっぱい梅干しが出来上がる様子を、リズムカルで詩的な文章と暖かい色使いの絵で描いた絵本。和紙の貼り絵で表現された梅たちの豊かな表情が、印象に残る。日本の食文化の良さを伝えている。

E
きかんしゃホブ・ノブ
(こどものとも絵本)



ルース・エインズワース 作
上條 由美子 訳
安徳 瑛 画
福音館書店 27P ¥900+税
赤い機関車ホブ・ノブが貨車を引いて走っていると、羊や犬、猫などに、遊園地まで乗せていってと頼まれる。ぐんぐん進んでいくと、真っ暗なトンネルが見えてきた。動物たちは怖がって大騒ぎ！ 力強いホブ・ノブの様子と、動物たちの仕草や表情が楽しい絵本。

幼児から

E くろねこさんしろねこさん



得田 之久 ぶん
和歌山 静子 え
童心社 24P ￥1,100+税

黒猫と白猫が遊びに出かけた。2匹が黒いところを通ると、「あれ！くろねこさんどこいった？」。白いところを通ると……。黒と白の2色を巧みに使ったお話。ユニークな絵と呼びかけるような文に誘われ、思わずページをめくりたくなる。幼い読者も楽しめる。

E 子うさぎジャックとひとりぼっちのかかし



バーナデット・ワッツ 作・絵
福本 友美子 訳
徳間書店 26P ￥1,600+税

友達と一緒に畑に出かけた子うさぎのジャック。夢中でキャベツを食べているうちに吹雪になり、家に帰れなくなってしまふ。隠れ場所を探して畑のかかしのそばへ行くと、やがてかかしが倒れてきた。動物たちとかかしの心温まる触れ合いを繊細な絵で優しく描く。

E ここがすき



きたやま ようこ 作
こぐま社 23P ￥900+税

犬とカエルとカメと猫に、「どこがすき？」と聞いたら「ここがすき」と教えてくれる。では「わたし」のすきなところは？ それぞれのお気に入りの場所で、安心してしている様子がほほえましい。簡潔な文の繰り返しとシンプルな絵は、幼い子も楽しめる。

幼児から

E

ごはん

(日本傑作絵本シリーズ)



平野 恵理子 作

福音館書店 36P ¥1,400+税

「たきこみごはん」には、まめごはん、くりおこわ……、「がいこくごはん」には、オムライス、カレーライス……。お米を使った料理を種類ごとにずらりと並べて紹介。白を背景に特徴を捉えた写実的な絵は、思わず食べてみたくなる。食への興味が深まる絵本。

E

しおちゃんとこしょうちゃん

(こどものとも絵本)



ルース・エインズワース さく

こうもと さちこ やく・え

福音館書店 27P ¥900+税

しおちゃんとこしょうちゃんは、双子の子ネコ。ある日、2匹は庭のもみの木に登るが、降りることができない。誰も助けてくれないし、暗くなるし、寒いし、おなかはずくし……。子ネコの行動と気持ちが柔らかいタッチで描かれており、子どもの共感をよぶ。

E

シルヴィーどうぶつえんへいく



ジョン・バーニングム さく

たにかわ しゅんたろう やく

B L 出版 39P ¥1,500+税

ある晩シルヴィーは、寝室の壁にドアを見つける。ドアを開けて進んだ先は動物園だった。シルヴィーは毎晩、クマやペンギン、トラなど違う動物を自分の寝室に連れて帰ることにする。読者の想像が広がるお話を、淡い色彩の絵でユーモアいっぱい描く。

幼児から

E たったた



ふじわら こういち しゃしん・ぶん

新日本出版社 24P ￥1,300+税

「からだのおもいゾウさんが たった たった」。ページをめくると、「たった たった」の言葉に合わせて、動物が2本足で立ち上がった姿が現れる。ホッキョクグマやトカゲ、カワウソなどの珍しい姿がリズムカルな言葉とともに楽しめる、愉快で躍動感ある写真絵本。

E たんじょうびおめでとう！



マーガレット・ワイズ・ブラウン さく
こみや ゆう やく
レナード・ワイスガード え

好学社 26P ￥1,600+税

森の中で生まれ育った動物たちは、1歳になった春、それぞれ誕生日プレゼントとして一番ほしいものをもらう。「プレゼントはなにかな?」。いもむしはりんご、りすはどんぐり……。誕生日を迎える子どもの喜びを、質感のある丁寧な絵で色彩豊かに描く。再刊。

E ちいさなメリーゴーランド



マーシャ・ブラウン 作
こみや ゆう 訳

瑞雲舎 32P ￥1,400+税

アンソニーが一人でいると、にぎやかな音楽とともに移動式のメリーゴーランドがやって来た。お小遣いのないアンソニーは乗ることができないが……。赤黄緑黒の4色を巧みに使い、街角に起こった出来事や子どもの素直な思いを表現。作者の1946年デビュー作。

幼児から

E
どうぶつたいじゅうそくてい



聞かせ屋。けいたろう 文
高島 純 絵
アリス館 32P ￥1,300+税

今日は動物園の体重測定。パンダやゾウ、ヒツジなどがやって来る。クジャクは羽を広げると重くなる？ ライオンとカバは、どちらが重い？ ブタは体重計に乗るのを嫌がってばかり。動物園での取材を基に、動物たちの様子をユーモラスな絵と言葉で描く。

E
トビのめんどり



ポリー・アラキジャ 作
さくま ゆみこ 訳
さ・え・ら書房 27P ￥1,500+税

トビと友達は何、動物を飼っている。月曜日、友達の雌牛が赤ちゃんを1匹産み、トビのめんどりも卵を1つ産んだ。火曜日、友達の羊が赤ちゃんを2匹産み……。次々と増えていく数を楽しめる絵本。アフリカの暮らしを画面いっぱいに描いた絵は迫力がある。

E
ないしょのかくれんぼ



ビバリー・ドノフリオ 文
福本 友美子 訳
バーバラ・マクリントック 絵
ほるぷ出版 31P ￥1,600+税

マリアには同じ家に住む内緒のネズミの友達がいる。ある晩、ベッドに入ってそれぞれ母親を呼ぶが返事がない。そこで家中を探すうちに……。暖かき色調の絵で、同じページに二人の暮らしぶりが対比して描かれており楽しい。『ないしょのおともだち』の続編。

幼児から

E なかないでなかないで



あまん きみこ 作
黒井 健 絵

ひさかたチャイルド 31P ¥1,300+税

春のよもぎ野原で遊んでいたえっちゃん
とネコのミュウは、夢中でちょうちょ
を追いかけているうちに迷子になって
しまう。そこへ「なかないで なかない
で」という声が聞こえてきて……。
少女と蝶たちの不思議な触れ合いを幻
想的に描く。新たな文と絵で出版。

E ねこくんいちばでケーキをかった —ロシアのわらべうた—



たなか ともこ 編訳
ユーリー・ワスネツォフ 絵
岩波書店 31P ¥1,500+税

「かささぎおばさん おかゆをたいた
とぐちへいって おきやくをよんだ」。
クマ、ブタ、ネコ、ネズミなど身近な
動物と、ロシアの自然や生活がわらべ
うたの主役。見開きに1編の詞と、素
朴で色彩豊かな絵を添えた全15編。繰
り返される言葉が口ずさみやすい。

E のげしとおひさま (幼児絵本ふしぎなたねシリーズ)



甲斐 信枝 さく

福音館書店 23P ¥800+税

地面から離れることができないのげし
は、自由に動き回れるカエルやアリが
うらやましい。一生懸命におひさまの
光を吸っていると……。のげしが成長
し、わた毛となって飛んでいくまでを
写実的に描く。日の光の柔らかい黄色
と、のげしの鮮やかな黄色が印象的。

幼児から

E
フランスのいえで



ラッセル・ホーバン さく
まつおか きょうこ やく
リリアン・ホーバン え
好学社 29P ￥1,200+税

妹が生まれ、思い通りにいかないことが多くなったフランス。ある晩、食堂のテーブルの下に「家出」をするが、そこで両親の会話を聞いているうちに……。幼い子どもの複雑な心情と、両親の温かい愛情を、淡い黄色と桃色で彩色した絵で優しく描く。新装版。

E
まって



アントワネット・ポーティス 作
椎名 かおる 訳
あすなる書房 32P ￥1,300+税

駅に急ぐ道で、男の子はカモにパンをやるおじいさんや小さな虫を見つけては、その度に「まって」とママを呼び止める。そして最後に二人が見たものは？ 好奇心いっぱいの子どもの心に寄り添うように物語は流れる。のびやかな線と色がお話にマッチしている。

E
まるてんいろてん
(0.1.2. えほん)



中辻 悦子 さく
福音館書店 20P ￥700+税

「まる てん」「てんてん もぐもぐ」「てんてん にっこり」。白地に大小さまざまに描かれる赤・青・黄・紫・緑・橙の鮮やかな丸と文字。ページをめくる度に画面いっぱいいろいろな世界が広がる。シンプルでユニークなデザインと言葉は、幼い子を引きつける。

幼児から

E
よるになると
(かがくのとも絵本)



松岡 達英 さく

福音館書店 28P ¥900+税

夜になると、生き物はどうしているのかな？身近な公園、草原、川、池、森と順を追って、昆虫や鳥、魚などの暮らしを写実的な美しい絵で描いた科学絵本。同じ場所に焦点を当て、昼と夜を紹介しており、活動の様子を比較できる。自然界の厳しさも伝わる。

E
4ひきのりっぱなこぐま



アーノルド・ローベル さく

こみや ゆう やく

好学社 32P ¥1,400+税

4匹の子熊は、いつもおじいさん熊から立派な熊になるための本を読んでもらっていた。ある日おじいさんがお手本を示そうと木に登ると、鳥にめがねを取られてしまう。子熊たちののびのびとした様子と、頑固なおじいさんの歩みよりを単色の絵で表情豊かに描く。

E
ワニくんとパーティーにいったんだ



ジュディス・カー 作・絵

こだま ともこ 訳

徳間書店 31P ¥1,400+税

熱が出て、楽しみにしていたパーティーに行けないマッティ。お留守番なんてつまらない……。 「パーティーにいきたいんだろう？」。誰かの声でマッティの冒険が始まる。淡い色合いとソフトなタッチでファンタジックに描かれ、子どもの気持ちを温かく包んでくれる。

小学校低学年(1・2年)から

(32 点)

E
あしたてんきになあれ
(こどものとも700号記念コレクション 20)



荒川 薫 さく
長 新太 え
福音館書店 32P ¥800+税

明日は幼稚園の遠足。ともこが「あしたてんきになあれ！」と靴を飛ばし空を見ると、雲がおじいさんになったり、象になったり次々と姿を変え、やがて夕焼け空に。遠足を待つ女の子の空想の世界をユーモラスに表現。色鮮やかで迫力のある絵も楽しい。

E
エドワードとうま



アン・ランド 文
谷川 俊太郎 訳
オーレ・エクセル 絵
岩波書店 31P ¥1,400+税

エドワードはマンションに住む男の子。馬が欲しくてたまらないが、両親に無理だと言われる。ある日、大きな街が大好きな馬がいると聞き、探しに行く。夢を求める男の子の姿を明るくテンポ良く描く。大胆な構図とシンプルな色使いの絵も遊び心たっぷり。

小学校低学年から

E
おじいちゃんのコート



ジム・エイルズワース 文
福本 友美子 訳
バーバラ・マクリントック 絵
ほるぷ出版 31P ¥1,600+税
アメリカに移住し洋服の仕立て屋になった祖父は、1着のコートを縫う。コートが擦り切れ、よれよれになると上着、ベスト、ネクタイと作り直し、最後には……。落ち着いた色調の絵で、大切にされた布地とともに男性の半生を描く。ユダヤ人の民謡を基にした話。

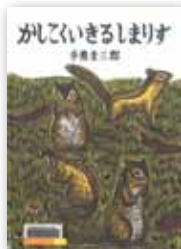
E
おとうふ屋さん
(かがくのとも絵本)



飯野 まき さく
福音館書店 27P ¥900+税

みっちゃんは豆腐屋さんで、大豆がいっぱい入ったおけを見つけ興味を持つ。翌日、豆腐作りを見学させてもらうと見たこともない道具や機械がいっぱい。水に浸した大豆をすりつぶし、煮て、こして……。豆腐ができる過程を親しみやすい絵で分かりやすく伝える。

E
かしくいきるしまりす
(いきるよろこびシリーズ)



手島 圭三郎 絵・文
絵本塾出版 31P ¥1,700+税

春に生まれたしまりすの子は、夏に親と離れ、冬を越すための穴を自力で探す。狐やふくろうなどの天敵と戦いながら、穴の中にどんぐりを1000個集めなければならない。北海道の厳しい自然の中で、たくましく生きるしまりすの姿を、ダイナミックに描く版画絵本。

E
金のおさら



バーナデット・ワッツ 作
福本 友美子 訳
BL出版 25P ￥1,300+税

いつものように仲良しのエリーの家へ行ったイザベル。一緒に遊んでいるうち、エリーが持っているおもちゃの金色のお皿を見て急にうらやましくなり、こっそり持ち帰ってしまう。罪悪感にさいなまれるイザベルの心の動きを丁寧に描く。優しい色使いの絵も美しい。

E
クリスティーナとおおきなはこ



パトリシア・リー・ゴーチ 作
おびか ゆうこ 訳
ドリス・バーン 絵
偕成社 47P ￥1,300+税

大きな箱を手に入れたクリスティーナは、箱にペンキでギザギザの塔や掛け金を描き、お城を作る。お城が壊れると次は秘密基地、そしてレーシングカーを……。たくましい想像力で、次々と遊びを思いつく子どもの姿を、黒と茶の2色で生き生きと描く。

E
こんには、いたずらっ子エーミル



アストリッド・リンドグレーン 作
ビヨルン・ベリイ 絵
石井 登志子 訳
徳間書店 33P ￥1,500+税

スウェーデンの農場で暮らすいたずらっ子エーミル。柱に妹を吊り上げたり、鉢に頭を突っ込んだり次々と騒動を巻き起こす。わんぱくな少年の姿を表情豊かに描き、明るい色彩の絵が楽しい雰囲気を伝える。児童文学の名作を作者自身が書き直して絵本化。

小学校低学年から

E
さあ、しゃしんをとりますよ



ナンシー・ウィラード 文

福本 友美子 訳

トミー・デ・パオラ 絵

光村教育図書 30P ¥1,300+税

靴屋の夫婦は結婚記念日に写真を撮ることに。カメラの前でどんな写真にするか言い合ううちに、二人の希望がどんだんエスカレート。赤と青の帽子をかぶり、靴を耳にかけ……。繰り返される登場人物のやり取りが楽しい。とぼけた味わいの絵も親しみやすい。

E
シンデレラ



バーバラ・マクリントック 再話・絵

シャルル・ペロー 原作

福本 友美子 訳

岩波書店 31P ¥1,700+税

ママ母とその娘である2人の姉にいじめられて暮らすシンデレラ。お城の舞踏会に招待された姉たちを見送ったシンデレラの前に妖精が現れる。ルイ14世時代の服装などを基に、クラシックな情景を精緻に描く。登場人物の表情やしぐさも巧みに捉えた昔話絵本。

E
そらとぶじゅうたんでせかいいっしゅう



ステラ・ブラックストーン 文

福本 友美子 訳

クリストファー・コー 絵

ほるぶ出版 23P ¥1,500+税

私のおばあちゃんは、トルコで買った1枚のじゅうたんに乗り世界一周に出発。タイのお寺でネコを2匹、メキシコでお面を3枚、中国で提灯を4個買い……。数を数えながら、世界旅行を味わえる。色鮮やかでポップな絵がユーモラス。見返しの地図も楽しい。

E
トムテと赤いマフラー



レーナ・アッコ 文
菱木 晃子 訳
カタリーナ・クルスヴァル 絵
光村教育図書 25P ¥1,200+税
秋、車から飛んでいった私の赤いマフラーを、小人の妖精トムテが拾う。トムテはマフラーを背負って旅を続け、クリスマスが近づくころには私の住む北の国へたどり着く。スウェーデンで愛される小人トムテの渡り鳥のような旅を、ぬくもりのある絵で丁寧に描く。

E
トヤのひっこし
(世界傑作絵本シリーズ)



イチンノロブ・ガンバートル 文
津田 紀子 訳
パーサンスレン・ボロルマー 絵
福音館書店 32P ¥1,500+税
春の終わり、モンゴルの草原に住む女の子トヤの家族は、水も草も豊富な土地へと出発する。ラクダに荷物を乗せヒツジやヤギを連れて、広大なゴビ砂漠やけわしい山を越えていく。壮大なモンゴルで生きる遊牧民の暮らしと風景を、横長の画面全体に描いた絵本。

E
ピーター



バーナデット・ワッツ 作
福本 友美子 訳
B L出版 28P ¥1,600+税
ママの誕生日の贈り物に悩むピーター。ある日、世界で一番きれいな木の夢を見る。その木を贈りたいと思うピーターに、おじいちゃんが小さな植木を作ってくれる。柔らかい筆致で色彩豊かに描かれた絵が印象的。母を思う少年の優しい気持ちが伝わる。

小学校低学年から

E
ピーテル、はないちばへ
(日本傑作絵本シリーズ)



広野 多珂子 文・絵

福音館書店 36P ￥1,500+税

運河沿いに住むピーテルは、つり銭を忘れて花売りに行ったお父さんをボートで追う。途中、道案内をしてくれるアコーディオン弾きのお兄さんを乗せたが……。一人でお使いに行く少年の心の動きを丁寧に描く。見開きいっぱいに広がる街並みが美しい。

E
ひみつのいもうと



アストリッド・リンドグレーン 文
石井 登志子 訳
ハンス・アーノルド 絵

岩波書店 27P ￥1,400+税

バープロには、バラの茂みに住む秘密の妹、イルヴァ・リーがいる。二人は茂みの下にある金色の広間でよく遊ぶ。ある日、馬に乗って「セカイイチウツクシイタニ」へ出かけた。幼い子の豊かな想像力が作り出す世界を描くファンタジー。色鮮やかな絵も幻想的。

E
ひみつのかんかん



花山 かずみ 作

偕成社 32P ￥1,200+税

わたしは古い缶にしまってあった昔の写真、めがねなど、ひいばあちゃんの宝物を見せてもらった。宝物にまつわるひいばあちゃんの幼い頃の思い出話で二人の会話が弾む。丁寧に描きこまれたぬくもりのある絵で、昔の生活がよみがえる。家族で楽しめる絵本。

E
ぼくのたからもの



鈴木 まもる 著

アリス館 32P ￥1,400+税

生まれてくる赤ちゃんを楽しみに待つジュンは、庭に巣を作るメジロを見つけ観察を始める。生まれた妹がお乳を飲み、おむつを替えてもらう一方で、ひなは親鳥に餌をもらい成長する。人間と鳥が愛情を込めて子育てする様子を、優しい色彩の絵で対比して描く。

E
三つのまほうのおくりもの



ジェイムズ・リオードン 文

中川 千尋 訳

エロール・ル・カイン 絵

ほるぷ出版 29P ￥1,600+税

ロシアに住むイワン兄弟。金持ちの兄は賢く、貧しい弟はお人良し。弟は、風にもらった魔法のテーブルかけと、太陽にもらった金貨を出すヤギを兄に騙し取られてしまう。装飾的な枠の中に描かれた、民族色あふれる絵が美しい。ロシア民話の再話。

E
みまわりこびと



アストリッド・リンドグレーン 文

ふしみ みさを 訳

キティ・クローザー 絵

講談社 25P ￥1,400+税

真夜中、雪に閉ざされた農場を見回る小人が、牛や馬、人間たちにそっと話しかける。冬は去り、やがて夏が来ると……。耳には聞こえないが、繰り返される小人の言葉に、動物も人間も心癒やされる。落ち着いた色調の絵が、冬の夜の静けさとぬくもりを伝える。

小学校低学年から

E
ライオンのひみつ



マーガレット・ワイルド 文

木坂 涼 訳

リトバ・ボウティラ 絵

国土社 30P ￥1,400+税

図書館の入り口に座る石のライオンは、楽しいとか悲しいという気持ちになっ
ていない。だが雪が降る夜、赤ちゃん
を連れた少女が倒れるのを見て……。優
しい気持ちに目覚めたライオンの起こす
奇跡が胸を打つ。重厚感のある絵とライ
オンの表情の変化が印象的。

E
わたしのいえ



カーソン・エリス 作

木坂 涼 訳

偕成社 34P ￥1,800+税

広々とした丘に立つ田舎の一軒家と密
集した街なかの家、地上の宮殿と地下
の穴ぐら、物語の中の靴の家、月に住
む人の家。いろいろな場所に暮らす人
や生き物の家を想像力豊かに描き、そ
れぞれの違いや空想を楽しめる絵本。
落ち着いた色調の中の赤色が効果的。

913 あ
だんまりうさぎとおしゃべりうさぎ



安房 直子 作

ひがし ちから 絵

偕成社 78P ￥1,400+税

朝から晩まで何にもしゃべらず、畑仕
事に精を出すだんまりうさぎ。ある日、
おしゃべりうさぎがお餅を野菜と交換
してほしいと訪ねてくる。友達ができ
る喜びと、対照的な2匹の交流を描く
2編を収録。既刊2作品から再編集し、
カラー挿絵を豊富に入れ刊行。

913 き
アレハンドロの大旅行
(福音館創作童話シリーズ)



きたむら えり さく・え
福音館書店 89P ￥1,300+税

イノシシの子アレハンドロは何も話さない。心配した両親は占い師に相談し、彼を一人で遠い丘に行かせることに。途中動物たちに出会うが、あいさつやお礼も言えない。周囲の動物たちに見守られて成長していく姿をほのぼのと描く。挿絵が多く読みやすい。

913 こ
こぶたのピクルス
(福音館創作童話シリーズ)



小風 さち 文
夏目 ちさ 絵
福音館書店 117P ￥1,600+税

朝、持ち物を点検して元気に学校へ出かけたこぶたのピクルス。途中出会った牛乳屋さんとパン屋さんの忘れ物を預かり、いのかぶたさんに届けることに。さらに、お父さんの新聞を預かり家に帰ると……。ピクルスのほのぼのとした日常を明るい挿絵を添えて4編紹介。

933 あ
ちいろいろつつみ紙のはなし
(世界傑作童話シリーズ)



アリソン・アトリー 作
松野 正子 訳
殿内 真帆 絵
福音館書店 36P ￥1,100+税

茶色い紙は贈り物を包み、孫たちからおばあさんの家へ送られる。紙は引き出しにしまわれ、今度は孫たちへの贈り物を包む。包み紙の視点から、役立つ喜びと満足を語る。物を大切にする生活の心地良さが伝わり、切り絵風の挿絵も素朴で温かい。

小学校低学年から

933 け

ウォーリーと16人のギャング
(こころのほんばこシリーズ)



リチャード・ケネディ ぶん

小宮 由 やく

マーク・シーモント え

大日本図書 62P ¥1,400+税

お巡りさんたちが留守の小さな町に、16人のギャングが突然現れる。町の人は家に逃げ込むが、ウォーリーはかけっこやはしご登りなどでギャングたちを追い込んでいく。少年が知恵を出して悪者を懲らしめる痛快な物語。ユーモアたっぷりの挿絵も楽しい。

933 し

ハリーとうたうおとなりさん
(こころのほんばこシリーズ)



ジーン・ジオン ぶん

小宮 由 やく

マーガレット・ブロイ・グレアム え

大日本図書 60P ¥1,400+税

ハリーは黒いぶちのある白い犬。お隣さんの高くて大きい歌声に、皆が困っている。ハリーは何とかやめさせようと奮闘するが、失敗ばかり。でも、歌のコンテストでよいことを思いつく。ハリーと登場人物が生き生きと描かれた愉快的な物語。改題新訳版。

933 す

ルイージといじわるなへいたいさん



ルイス・スロボドキン 作・絵

こみや ゆう 訳

徳間書店 62P ¥1,700+税

ルイージはバイオリンを習いにバスで隣の国へ通う。ある日、新入りの国境警備の兵隊に荷物を調べられ、ケーキをつぶされる。いじわるは何度も続き、これを聞いたバイオリンの先生は、兵隊をこらしめようとバスに乗り込んだ。大満足の結末を迎える幼年童話。

933 ふ
ベッツィ・メイとこいぬ



イーニッド・ブライトン 作
小宮 由 訳
ジョン・G・トーマス 絵
岩波書店 133P ¥1,200+税

ベッツィ・メイは小さな女の子。誕生日に訪れた農場で子犬を逃がしてしまう話や、苦手に思っていた友達に縄跳びを覚えてもらう話など、9編を収録。少し背伸びしたい少女の日常と子どもらしい素直さを生き生きと描いた幼年童話。大人たちの温かさも感じられる。

933 ふ
ミリー・モリー・マンデーとともだち
(世界傑作童話シリーズ)



ジョイス・L・プリスリー さく
上條 由美子 やく
菊池 恭子 え
福音館書店 195P ¥1,400+税

大家族で暮らす元気な女の子、ミリー・モリー・マンデー。仲良しのスーズンと古着を着てレディーをきどり買い物に行ったり、家族とパーティーを開くお金を集めるため会社を作ったりする。友達や家族に囲まれた毎日を愉快に描いた短編集。シリーズ2作目。

933 む
くろねこのロク空をとぶ



インガ・ムーア 作・絵
なかがわ ちひろ 訳
徳間書店 63P ¥1,700+税

食いしん坊の黒猫ロクは、ある夏、飼い主たちと田舎に出かける。森で出会った山猫に、ごちそうの捕まえ方を教えてもらうが失敗続き。見返そうとワシの卵を狙うが……。自然の中で大冒険する町猫の姿がユーモラス。彩色された緻密な絵が臨場感を盛り上げる。

小学校中学年(3・4年)から

(29 点)

E
ジャガーとのやくそく



アラン・ラビノヴィッツ 作

美馬 しょうこ 訳

カティア・チエン 絵

あかね書房 32P ¥1,400+税

吃音があり、うまく話せない「ぼく」は動物が大好き。人間の犠牲になる動物に心を痛める彼は動物学者になり、勇気を出してジャガーの惨状を言葉にして訴える。世界初のジャガー保護区づくりに尽力した作者の自伝絵本。深みのある水彩画が表情豊かに物語る。

E
スワン
—アンナ・パブロワのゆめ—



ローレル・スナイダー 文

石津 ちひろ 訳

ジュリー・モースタッド 絵

B L出版 43P ¥1,600+税

ロシアの貧しい家に生まれたアンナは、初めて見たバレエに夢中。バレエ学校に入った彼女は、厳しいレッスンも苦にせず踊り続け、バレリーナになる。そして、あらゆる所で心を込めて踊り、人々に感動を与えた。優しい語り口の文と、淡く繊細な絵の伝記絵本。

E
ちいさなオレグ



マーガレット・コート 作
ジョン・コート 作
石井 陸美 訳
BL出版 32P ¥1,500+税
金持ちで自分の事しか考えないエリックと、貧しくてお人好しのオレグ。ある日、エリックの家が火事になり、家を建てるまでの間、正反対の二人がオレグの家に住むことになる。心豊かな生き方とは何かを考えさせられる絵本。ポップな色調のユニークな絵も楽しい。

E
ちいさなちいさな
一めに見えないびせいぶつのせかいー



ニコラ・デイビス 文
越智 典子 訳
エミリー・サットン 絵
ゴブリン書房 33P ¥1,500+税
スプーン1杯の土に10億もいる微生物は、地球上の至る所に存在する。動植物を土に戻したり、体内で健康に役立ったり、逆に病気を引き起こすなど、微生物が自然界で果たす大きな働きについて紹介。親しみやすい絵で、形状や増え方なども分かり易く伝える。

E
庭をつくろう！



ゲルダ・ミューラー 作
ふしみ みさを 訳
あすなる書房 36P ¥1,500+税
バンジャマンは大きな庭がある家に引っ越し、家族で計画的に庭造りを始める。荒れていた庭には果実が実り小鳥も来るようになる。優しい色の細密な絵で、季節ごとに移り変わる庭の様子を描き、家族と自然との関わりを写し出す。1989年他社刊の改題新訳。

小学校中学年から

E
ペニーさんのサーカス



マリー・ホール・エッツ 作・絵
松岡 享子 訳
徳間書店 62P ￥1,400+税

ある夜、たくさんの動物たちと暮らすペニーさんの所に、チンパンジーとクマがサーカスから逃げてくる。戻りたくないと言う2匹を買い取るためにあることを思いつき……。ペニーさんたちが力を合わせて奮闘する愉快な物語を、白黒の鉛筆画で表情豊かに描く。

E
リンドバーク
—空飛ぶネズミの大冒険—



トーベン・クールマン 作
金原 瑞人 訳
ブロンズ新社 78P ￥2,200+税

ドイツに住む小ネズミが、ネズミとりの危険から逃げた仲間たちを追ってアメリカを目指す。自分で設計して作った飛行機で猫やフクロウなどの敵を振りきり、大西洋を横断——。勇敢なネズミの挑戦を臨場感に溢れる絵と文で描写する。巻末で歴史的飛行士を紹介。

E
ロバのジョジョとおひめさま



マイケル・モーパーゴ 文
ヘレン・スティーヴンズ 絵
おびか ゆうこ 訳
徳間書店 40P ￥1,600+税

ロバのジョジョは、こき使われ、ばかにされながら、メロンをベネチアに運んでいた。心優しいお姫様と仲良くなり、一緒に逃げようとした夜、嵐になる。海の水が押し寄せる町を救おうと奮闘する二人の心温まる話を、軽快なペン画に柔らかいタッチの絵で描く。

911 は
おどる詩あそぶ詩きこえる詩



はせ みつこ 編
飯野 和好 絵

富士屋インターナショナル 159P ￥2,200+税

韻を踏んだ詩、飾らない言葉にハッとさせられる詩、動植物や宇宙、自然現象に思いをめぐらせた詩など、著名な詩人から4歳の子どもまでさまざまな作者の、61編の詩を収録。日本語を音として味わう楽しさが感じられる詩の世界を、伸びやかな絵で盛り上げる。

913 い
二日月
(ホップステップキッズ! 28)



いとう みく 作
丸山 ゆき 絵

そうえん社 207P ￥1,300+税

待ちに待って生まれた妹には、重い障害があった。妹につききりのママ。4年生の杏は妹を可愛いと思う反面、寂しさを我慢したり、公園や学校で妹を人に見られるのは恥ずかしいと思ったり……。少女の心の葛藤と家族や友人に支えられ成長していく姿を綴る。

913 お
つばさ
(文研ブックランド)



大島 理恵 作

文研出版 127P ￥1,200+税

翼は洋平と、巣から落ちた2羽のツバメのひなを見つけた。そこへ生き物に詳しい博が現れ、家で飼うことに決める。父は法律で野生動物は飼えないと言うが諦められない。ツバメと冒険に出る計画を立てたり、喧嘩をしたり、揺れ動く少年の心と友情を丁寧に描く。

小学校中学年から

913 お
わすれものの森



岡田 淳 作
浦川 良治 作
B L 出版 86P ￥1,300+税

ツトムは、大事な笛をどこかに忘れてしまう。放課後、教室へ探しに行くとそこで忘れ物を集めている奇妙な二人組に出会い、「わすれものの森」へ連れて行ってもらう。忘れ物を探すという身近なテーマで空想の世界へ誘う。1975年他社刊を改題、加筆修正し復刊。

913 さ
パオズになったおひなさま



佐和 みずえ 著
宮尾 和孝 絵
くもん出版 111P ￥1,200+税

菱花の家でひな祭りに必ず食べる肉まんは、戦時下の天津に住んでいた祖母と中国人の友達リンちゃんの思い出のパオズだった。家を行き来し、祭りなどの行事も一緒に楽しんでいたが、戦況が悪化し別れが訪れる。祖母から孫へ伝える戦争と国を超えた友情の物語。

913 と
菜の子ちゃんと龍の子
—日本全国ふしぎ案内 1—



富安 陽子 作
Y U J I 画
福音館書店 109P ￥1,200+税

トキ子は、不思議な転校生、菜の子ちゃんに誘われ、竜神祭りに行く。二人は一匹だけ遅れて空に昇れなくなった龍の子を助けようとするが、あと一歩のところまで龍の子が屋根に引っかかってしまい……。伝統が息づく吉野を舞台にした一夜限りの冒険ファンタジー。

913 な
こぶたものがたり
—チェルノブイリから福島へ—



中澤 晶子 作
ささめや ゆき 絵
岩崎書店 77P ￥1,300+税

1986年のチェルノブイリでターニャが飼っていたまるまると、2011年の福島でなつこが飼っていたもも。原発事故後、避難する一家に取り残された2頭が、豚の視点で一変した境遇を語る。25年の時を挟んで繰り返された事故の悲惨さを、素朴な絵とともに伝える。

913 ほ
モーモー村のおくりもの
(文研ブックランド)



堀米 薫 作
岡本 順 絵
文研出版 127P ￥1,200+税

母を亡くし落ち込んでいた美咲は、獣医の父と1年間の約束で、牛が人より多い音々谷村で暮らし始めた。荷物を片付けていると男の子が現れ、牛のお産にすぐ来てほしいと言う。村人と自然に根付いた生活をしていく中で、元気を取り戻す少女の姿を爽やかに描く。

913 ま
つくしちゃんとすぎなさん
(わくわくライブラリー)



まはら 三桃 作
陣崎 草子 絵
講談社 131P ￥1,400+税

引っ越して間もない小学生のつくしちゃん、魔女と噂される一人暮らしのおばあさんの家の脇に落とし物をしてしまう。勇気を出して会いに行くと、おばあさんはすぎなさんといい、お互いの名前が仲良しだと教えられる。世代を超えた友情の心温まる物語。

小学校中学年から

913 や
先生、しゅくだいわすれました



山本 悦子 作
佐藤 真紀子 絵
童心社 95P ￥1,100+税

宿題を忘れたゆうすけは、苦しいウソを並べるが、すぐに先生に見破られる。次の日、聞いた相手が楽しくなる言い訳をすると許してもらえた。彼を羨む同級生も順番に宿題を忘れた理由を考えて来るが……。ユニークな先生と素直な子どもたちのやり取りが面白い。

929 し
モンゴルのことばとなぜなぜ話



塩谷 茂樹 編訳・著
思 沁夫 絵・コラム
大阪大学出版会 236P ￥1,600+税

「なぜ月は白くて明るいのか」から始まり天体、植物、動物、人間を題材にしたモンゴルに古くから伝わる32のなぜなぜ話を収録。遊びや遊牧民の暮らしを紹介するコラムと、モンゴル語の特徴や成り立ちも収める。異国の文化を垣間見ることができの一冊。

929 な
アラビアン・ナイトのおはなし



中川 正文 ぶん
赤羽 末吉 え
のら書店 159P ￥2,000+税

アリババは呪文を唱えて洞窟に入り、盗賊たちの金貨を持ち帰る。追いかける盗賊たちに立ち向かう賢い召使いのモルジアナ。この「アリババと四十人のとうぞく」など、中東を舞台にした知恵と勇気と愛が溢れる3編を、親しみやすい文章と挿絵で掲載。復刊。

933 あ
さかさ町



F. エマーソン・アンドリユース 作
小宮 由 訳

ルイス・スロボドキン 絵
岩波書店 94P ¥1,400+税

リッキーとアンの兄妹は、汽車で祖父の家へ向かう途中、線路の事故で見知らぬ駅で降りることになる。この町では看板も家も車も全てさかさま。子どもが働き、買い物すればお金がもらえ……。逆転の発想がユーモラスで、楽しい挿絵がさかさの町を軽妙に表現。

933 え
ゆうかんな猫ミランダ



エレナー・エステイス 作
津森 優子 訳

エドワード・アーディゾーニ 絵
岩波書店 126P ¥1,500+税

7歳の女の子の家族と暮らしていた母猫ミランダは、どの猫からも一目置かれていた。蛮族が街に攻め込み、家族とはぐれたミランダは、助けを求める子猫を次々に救い出す。古代ローマを舞台にした勇敢な猫の冒険物語。細かな線描の挿絵が場面にマッチしている。

933 し
ぼろイスのボス



ダイアナ・ウィン・ジョーンズ 作
野口 絵美 訳

佐竹 美保 絵
徳間書店 107P ¥1,700+税

マーシャとサイモンの家にある古い肘掛けイス。ある日、近所のおばさんがそのイスに魔法の液体をこぼしてしまうと人間に変身して——。大食いであぬぼれやの彼が起こすさまざまな事件と翻弄される家族を、ユニークな挿絵を添えて楽しく描いたファンタジー。

小学校中学年から

933 せ

げんきなぬいぐるみ人形ガルドラ
(世界傑作童話シリーズ)



モドウィナ・セジウィック さく
多賀 京子 やく
大社 玲子 え

福音館書店 106P ¥1,300+税

ガルドラは、黒い目と黒い髪をした手作り人形。ある日、持ち主のメリーベルに新しい乳母車で散歩に連れて行ってもらい喜んでいたが、小川に取り残されてしまう。困難に陥っても楽しみを見つけて乗り越えていく、勇敢で優しいガルドラの冒険物語を4編収録。

933 た

あたし、アンバー・ブラウン！
(文研ブックランド)



ポーラ・ダンジガー 作
若林 千鶴 訳
むかい ながまさ 絵

文研出版 119P ¥1,200+税

アンバーはジャスティンと幼稚園以来の親友で、お互い助け合い分かり合っていた。ところが、ジャスティンが単身赴任中のお父さんのところに引っ越しことになる。悲しい素振りを見せない彼に戸惑い……。寂しい気持ちを素直に表せず悩む少女と少年の友情物語。

933 は

トルネード！
一たつまきとともに来た犬—
(ジュニア文学館)



ベッツィ・バイアーズ 作
もりうち すみこ 訳
降矢 なな 絵

学研教育出版 78P ¥1,300+税

「トルネードが来るぞ！」。僕たち家族と農場の手伝いに来ているピートは地下室に避難した。心配をする僕たちを安心させるためにピートが語ったのは、子どもの頃犬小屋ごと家の庭に飛ばされて来た愛犬との思い出話。竜巻をやり過ごす人々の温かい交流を描く。

943 ふ
 黒いお姫さま
 ードイツの昔話ー
 (福音館文庫 F-16)



ヴィルヘルム・ブッシュ 採話
 上田 真而子 編・訳
 佐々木 マキ 絵
 福音館書店 146P ¥600+税

15歳の誕生日に、真っ黒になって死んでしまったお姫さまの呪いを解くため、夜、お棺の番をする若者の物語「黒いお姫さま」。この他「かしこい百姓」、「小人のぼうし」など、ドイツに伝わる昔話から11話を厳選して収録。軽快な挿絵も魅力的。1991年刊を文庫化。

943 ふ
 ないりき
 大力のワーニャ
 (岩波少年文庫 223)



オトフリート・プロイスラー 作
 大塚 勇三 訳
 岩波書店 293P ¥720+税

なまけ者のワーニャは、盲目の老人と出会い、皇帝になるというお告げを聞く。馬鹿にされながらも言われた通りかまどの上で7年も過ごし、怪力を身につけ、困難にもめげず彼方の国を目指す。幾多の試練に勇気をもって誠実に立ち向かう彼の冒険物語。改訳出版。

990 く
 オンネリとアンネリのおうち
 (世界傑作童話シリーズ)



マリヤッタ・クレンニエミ 作
 渡部 翠 訳
 マイヤ・カルマ 絵
 福音館書店 181P ¥1,600+税

別居中の父母の家を行き来するアンネリと、9人きょうだいの真ん中のオンネリは、両親に忘れられがち。遊んでいる時に大金を拾い、薔薇乃木婦人から小さな女の子が二人で住む家を手に入れる。二人の夢のような暮らしを楽しく描く。他社刊を加筆修正し再刊。

小学校高学年(5・6年)から

(29 点)

E
あたし、メラハファがほしいな
—さばくのくにモーリタニアのおはなし—



ケリー・クネイン 文
こだま ともこ 訳
ホダー・ハッダーデイ 絵

光村教育図書 30P ¥1,300+税

メラハファはイスラム教の女性が祈りの気持ちとともにまとうベール。女の子は、大人びて見えるメラハファが早く欲しいと願う。砂漠の町の風景に色鮮やかなメラハファが映える。少女の憧れの気持ちをリズムカルに綴った絵本。モーリタニアの説明が巻末にある。

E
木のすきなケイトさん
—砂漠を緑の町にかえたある女のひとのおはなし—



H. ジョゼフ・ホプキンズ 文
池本 佐恵子 訳
ジル・マケルマリー 絵

B L出版 31P ¥1,600+税

幼い頃から木が大好きだったケイトは、カリフォルニア大学初の女性科学者となる。教師として赴任したサンディエゴに木が無いことを嘆いた彼女は、砂漠でも育つ木を探す。夢に向かい学び続けたケイトの生涯を、茶と緑が印象的な絵とともに伝える伝記絵本。

E

希望の牧場

(いのちのえほん 23)



森 絵都 作

吉田 尚令 絵

岩崎書店

32P ￥1,500+税

福島原発事故によって立ち入り禁止となった牧場で、牛飼いは一人、360頭もの牛の世話を続けた。希望と絶望を抱え、先の見えない不安の中で、被曝して売れない牛を飼い続ける理由を淡々と語る。現状を訴える重厚な絵が、強い印象を残す。実話を基にした絵本。

913 い

空へ

(Sunnyside Books)



いとう みく 作

小峰書店

221P ￥1,500+税

父の突然の死で母と妹との3人暮らしになった陽介。幼い妹の世話に追われ、中学に入っても好きな部活が選べない。自分の悩みを抱えながらも、周囲に起こるいじめや万引きなどの問題に真摯に向き合う陽介と、彼を見守る人々の姿を温かく描いた、6編の連作短編集。

913 い

ぼくが弟にしたこと



岩瀬 成子 作

長谷川 集平 絵

理論社

159P ￥1,300+税

母と弟の3人で暮らす6年生の麻里生。ある日些細なことで弟を殴ってしまい、かつて自分も父に殴られていたことを思い出す。葛藤を抱え、離婚した父に会いに行った麻里生は、過去を受け止め前に進もうとする。自分の気持ちを見つめなおす少年の姿が清々しい。

小学校高学年から

913 か

岬のマヨイガ

(講談社・文学の扉)



柏葉 幸子 著

さいとう ゆきこ 絵

講談社 268P ￥1,500+税

岩手で大地震に遭遇した萌花とゆりえ。事情を抱えた二人は、老女キワと岬の一軒家で家族のように暮らし始める。一方津波で封印を解かれた魔物が、被災した人々の傷ついた心に忍び寄る。キワはカップや地蔵たちに助けを求めるが……。東北民話を背景にした物語。

913 さ

机の上の仙人

一机 上 庵志異



佐藤 さとる 著

岡本 順 画

ゴブリン書房 212P ￥1,400+税

若者は、一日ぼれした娘が人間ではないと知りつつ思いを貫き結婚する。この「桜女房」など、奇妙だが心温まる話を、童話作家の机上に突如現れた小さな庵に住む仙人・机 上 庵 方寸が語る。作中の話は怪奇談をまとめた中国の『聊斎志異』が原話。改題新装版。

913 す

チポロ



菅野 雪虫 著

講談社 278P ￥1,400+税

神と人の関わりが深かった頃、狩りが下手な少年チポロは、祖母と二人で貧しく暮らしていた。ある日村を襲った魔物たちに幼なじみの少女をさらわれる。彼は弓の修行を積み、ミソサザイの神と共に少女を連れ戻す旅に出る。アイヌ神話をモチーフにした冒険物語。

913 と
アヤカシさん
(福音館創作童話シリーズ)



富安 陽子 作
野見山 響子 画
福音館書店 239P ￥1,400+税

ケイ少年とメイおばさんには二人だけの秘密がある。それはアヤカシ(精霊)が見えること。ある日レストランにいた象のアヤカシに、ピアノを弾くように言われ……。次々に出現するアヤカシたちとの不思議な出会いの中に、人や物、時間のつながりを感じる物語。

913 な
茶畑のジャヤ
(鈴木出版の児童文学 この地球を生きる子どもたち)



中川 なをみ 作
鈴木出版 213P ￥1,500+税

クラスで孤立する11歳^{しゅう}の周は、祖父に誘われスリランカに行き、病気の母に代わり茶畑で働く少女ジャヤと出会う。民族差別を受けつつも、誇りと将来への希望を捨てない彼女に勇気をもらい周は帰途につく。異文化に触れ多様な視点を持つ大切さに気付く少年を描く。

913 な
岸辺のヤービ
—Tales of Madguide Water—



梨木 香歩 著
小沢 さかえ 画
福音館書店 223P ￥1,600+税

寄宿学校の教師の「わたし」は、湖の岸辺で不思議な生き物ヤービと出会う。ヤービに渡した一粒のミルクキャンディーから密やかな交流が始まるが……。ありのままの生の営みを、細やかな自然描写と慈愛溢れる語り口で綴る。繊細なタッチの挿絵が物語の世界を彩る。

小学校高学年から

913 ま

声の出ないぼくとマリさんの一週間



松本 聡美 作

渡邊 智子 絵

汐文社

157P ￥1,400+税

こだわりの強さを友達に責められ声が出なくなった真一は、母が出張の一週間、母の友人のマリさんの家で過ごす。初対面のマリさんは、女性の服を着ているが髭が生えていた。自分を認めてくれる人の存在で自己肯定感を取り戻していく少年の、爽やかで温かい物語。

913 も

清政

—絵師になりたかった少年—



茂木 ちあき 作

高橋 ユミ 絵

新日本出版社 157P ￥1,500+税

家業を継ぐのが当然だった時代、政之介は地本問屋の跡取りでありながら、絵師になることを夢見ていた。父に筆を折ることを強要され、家を飛び出すが……。江戸の町を舞台に主人公たちの生活をテンポよく綴る。実在の人物の謎に包まれた半生に着想を得た作品。

913 も

フラフラデイズ

(文研じゅべにーる)



森川 成美 作

つじむら あゆこ 絵

文研出版 164P ￥1,300+税

まさ雅は苦手な同級生を避け、フラダンスの大会に出る祖母に付いてハワイへ行く。ハプニングが重なり見知らぬ島に取り残されてしまうが……。日系移民の歴史を知る中で、相手を思いやる心が芽生えていく少年の姿を、ユーモラスに描く。あとがきも理解を深める。

913 や
ロード
—キャンピングカーは北へ—
(文研じゅべにーる)



山口 理 作
佐藤 真紀子 絵
文研出版 175P ￥1,300+税

6年生の久斗^{ひさと}の父は、リストラ後再就職先も決まらないうちに、退職金でキャンピングカーを買ってきた。父の無計画さに反発する姉と久斗だが、父に強引に誘われ、3人で礼文島を目指す旅に出る。互いの繋がりを取り戻そうと模索する家族の姿を軽快に描く。

929 も
お静かに、父が昼寝しております
—ユダヤの民話—
(岩波少年文庫 229)



母袋 夏生 編訳
岩波書店 282P ￥720+税

死神に「魂をもらいにきた」と言われたアラブの男は、子どもに残す財産を蓄えるまで猶予を与えてほしいと懇願する。この「死神の使い」など、ユダヤ人社会で語り継がれてきた、ユーモアやとんちのきいた民話に、『旧約聖書』の話を加えた短編集。全38編。

933 し
賢女ひきいる魔法の旅は



ダイアナ・ウィン・ジョーンズ 作
アーシュラ・ジョーンズ 作
田中 薫子 訳
佐竹 美保 絵
徳間書店 314P ￥1,700+税

賢女になる通過儀礼に失敗したエイリーン。大王の命令を受けて賢女の叔母とともに皇子救出の旅に出るが、困難ばかり。その上叔母に呪いがかけられ、エイリーンが一行を率いることに。魔法の世界を舞台に、仲間と力を合わせ前進する少女を描く冒険ファンタジー。

小学校高学年から

933 ね
シャイローがきた夏



フィリス・レイノルズ・ネイラー 著
さくま ゆみこ 訳

岡本 順 画

あすなる書房 191P ¥1,300+税

マーティはある日痩せて怯えた猟犬と出会う。乱暴な飼い主から逃げてきたその犬をシャイローと名付け、家族に内緒でかくまうことにしたが……。本当に正しいこととは何かを悩みながら、犬のために奮闘する少年を、アメリカの小さな村を舞台に描く。改題新訳。

933 は
大きなたまご
(岩波少年文庫 226)



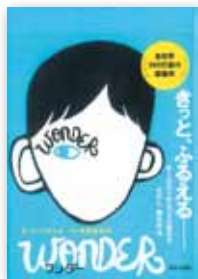
オリバー・バターワース 作

松岡 享子 訳

岩波書店 295P ¥720+税

ネイトの家のめんどりが巨大な卵を産み、そこから出てきたのは6千万年以上も前に絶滅したはずの恐竜だった。恐竜は草や葉を食べどんどん成長し一。1950年代のアメリカの日常を舞台に展開する、痛快な物語。ユーモラスな挿絵も作品の雰囲気伝える。再刊。

933 は
ワンダー



R・J・パラシオ 作

中井 はるの 訳

ほるぶ出版 421P ¥1,500+税

生まれつき顔に障害のあるオーガスト。10歳で初めて学校に通うことになり、心ない同級生からひどいじめを受ける一方、信頼できる友達も増えていく。外見を理由とする生き辛さを抱える少年と、周囲の人たちとの一年間を、それぞれの視点で明るく綴った物語。

933 ふ
サマセット四姉妹の大冒険



レズリー・M・M・ブルーム 作
尾高 薫 訳
中島 梨絵 絵

ほるぷ出版 303P ¥1,600+税

著名なピアニストの母とニューヨークで暮らすコーネリア。家にも学校にも居場所がない彼女だが、隣に越してきた老婦人との交流から毎日が変わり始める。頑なな少女が心の扉を開き前に進もうとする姿を描く。老婦人とその姉たちの若き日の冒険譚も楽しい。

933 も
走れ、風のように



マイケル・モーパール 作
佐藤 見果夢 訳

評論社 206P ¥1,200+税

運河から引き揚げられた子犬は、風のように速く走る犬だった。助けた少年としばらく幸せに暮らしていたが、ある日ドッグレースの競技犬にされるため連れ去られる。何度も飼い主が替わる中で、毎日を誠実に懸命に生きる姿を、犬の視点を交えて描いた一冊。

933 ら
おいぼれミック



バリ・ライ 著
岡本 さゆり 訳

あすなろ書房 119P ¥1,200+税

ハーヴェイはインド系移民の少年。隣の老人ミックは、露骨に移民を嫌いトラブルが絶えない。初めは憤慨していたハーヴェイだが、次第にミックの孤独な心に気付いていく。イギリスの移民の町を舞台に、互いの違いを認め相手を受け入れる大切さを明るく描く。

小学校高学年から

933 り
戦火の三匹
—ロンドン大脱出—



ミーガン・リクス 作
尾高 薫 訳
徳間書店 261P ￥1,600+税

1939年のロンドン。飼い主の疎開のため知人に預けられた2匹の犬と1匹の猫は、殺処分されそうになる。危うく逃げ出した3匹の、飼い主のもとへ向かう長い旅が始まる。第二次世界大戦下の英国で、多くのペットが安楽死させられた事実を基に描いた物語。

933 れ
世界一のランナー



エリザベス・レアード 作
石谷 尚子 訳
評論社 197P ￥1,450+税

11歳のソロモンの密かな夢はランナーになること。ある日祖父と訪れたアディスアベバでオリンピック選手のバレードを見て、思いを強くする。その直後に倒れた祖父に命じられ、父を呼びに35kmの道を走る。貧しい少年の夢への情熱と祖父の静かな愛情を描く。

943 こ
クララ先生、さようなら



ラヘル・ファン・コイ 作
石川 素子 訳
いちかわ なつこ 絵
徳間書店 301P ￥1,600+税

不治の病で最期を迎えつつあるクララ先生が教室に戻ってきた。教え子たちは、最高の贈り物をしようと考え美しい棺を作り始める。「死」を子どもから遠ざけたい大人は嫌悪を示すが……。 「死」に直面した子どもの素直な姿を、真正面から温かくユーモラスに綴る。

949 う
ぼくとテスの秘密の七日間
(文学の森)



アンナ・ウォルツ 作
野坂 悦子 訳
きたむら さとし 絵
フレーベル館 257P ¥1,400+税

休暇でテッセル島に来たサミュエルは母親と暮らす少女テスと出会う。テスは母に内緒で、家の貸バンガローに自分の存在を知らない父を招待していた。娘だと伝えるべきか迷うテスと共に悩むサミュエル。家族とは何か懸命に考える子どもたちの姿を軽やかに描く。

949 り
わたしたちの島で
(岩波少年文庫 222)



アストリッド・リンドグレーン 作
尾崎 義 訳
岩波書店 476P ¥920+税

夏の休暇を過ごすためウミガラス島にやってきたメルケルソン一家。父親と4人の子どもたちは島の人々と楽しく過ごし、毎年島で過ごしたいと願うが……。スウェーデンの島の美しい自然の中で生き生きと遊ぶ子どもたちの姿を、ユーモアを交え温かく描く。再刊。

953 る
テオの「ありがとう」ノート



クロディーヌ・ル・グイック=プリエト 著
坂田 雪子 訳
PHP研究所 220P ¥1,400+税

支援施設で暮らす12歳のテオは手足が不自由。お願いばかりの生活にうんざりし、「ありがとう」を言わない決心をした。非難されながらも自力でできることを増やすうちに、周囲との関係も変化していく。一つずつ壁を乗り越え前に進む姿を、彼自身の視点で綴る。

中学生から

(27 点)

E
火城
—燃える町—1938—
(日・中・韓平和絵本)



ツァイ カオ
蔡 皋 文
中 由美子 訳
蔡 皋 絵
韜 子 絵
童心社

41 P ¥2,500 + 税

1938年中国の町長沙は、日本軍の侵攻による混乱から大火となる。5日間燃え続け、思い出の詰まった家も通りも学校も全て焼失した。故郷の町で平穏に暮らす人々とその日常が失われていく様子を描く。作者の少女時代の体験を黒一色の濃淡で重厚に表現した絵本。

913 い
ABC!
—曙第二中学校放送部—
—Akebono Broadcasting Club—



市川 朔久子 著

講談社 270 P ¥1,500 + 税

放送部員のみさとは、孤高の美少女転校生葉月が経験者と知り、名前だけでもいいからと部員不足の放送部へ勧誘する。顧問の提案で放送コンクールに出場することになるが、出品作品の制作過程で二人は衝突する。思いをぶつけ合い友情を育む中学生の青春を描く。

913 お
あまねく神竜住まう国



萩原 規子 作

徳間書店 280P ￥1,600+税

平安末期、少年頼朝は流刑地の伊豆で領主急死に関わりがあると疑われ、大蛇が潜むとされる地に幽閉される。命をねらわれ続ける頼朝だが、笛の名手草十郎や舞姫の糸世の助けを得て、己の力に目覚めていく。『風神秘抄』の後日譚を語る歴史ファンタジー。

913 な
ユキとヨンホ
—白磁にみせられて—



中川 なをみ 作
舟橋 全二 絵

新日本出版社 189P ￥1,500+税

17世紀初め、明の大商人を父に持つユキは、目利きの才能を生かし商人になる。朝鮮人陶工が有田で興した焼き物に強い将来性を感じたユキは、後の伴侶ヨンホの協力を得て、父の形見の磁器を目標に、商人として有田焼の発展に尽力する。才気溢れる女商人の物語。

913 な
クリオネのしっぽ



長崎 夏海 著
佐藤 真紀子 絵

講談社 187P ￥1,300+税

家庭でも中学でも孤立気味な美羽。心許す友達は唯一人きりだ。ある日、危険人物と噂の転校生サッチに声をかけられ当惑する。好戦的ですがすぐキレるサッチに呆れつつも振り回される。さまざまな家庭事情を持つ少女らの、不安や苛立ちと新しい友情を育む姿を描く。

中学生から

913 ひ
なりたて中学生 初級編



ひこ・田中 著

講談社 255 P ¥1,400円+税

新居に引っ越したテツオは、親友たちと違う中学に入学する。女子との距離感や、宿敵との遭遇に戸惑い逃げ腰で過ごすが、ある人に中学生という身分を楽しめと言われ気が楽になる。小学生から中学生への心境の変化を関西弁で飄々と語る。続編あり。

913 ほ
夏の朝



本田 昌子 著
木村 彩子 画

福音館書店 253 P ¥1,700+税

祖父の一周忌で亡き母の実家を訪れた中2の莉子は、庭の蓮池にまつわる過去へといざなわれる。そこで彼女は少女時代の母に巡り合い、祖父の想いにもたどりつく。登場人物の心情を丁寧に描いた心温まるタイムファンタジー。瑞々しいカラー挿絵が彩りを添える。

913 ま
白をつなぐ



まはら 三桃 著

小学館 270 P ¥1,400+税

広島で開催される都道府県対抗男子駅伝。福岡県代表チームの合宿所に、白紙の手紙が落ちていた。一体誰が何の目的で……。たすきをつないで走る中学生から社会人までの7人と、駅伝を支える監督、コーチ、県人会などさまざまな人々の思いを描いた物語。

913 む
うたうとは小さいのちひろいあげ



村上 しいこ 著

講談社 317P ￥1,500+税

高1の桃子は、親友綾美^{あやみ}が引きこもりをやめるまでは友達を作らないと決意。しかし、ふとしたことから「うた部」に入り、先輩と短歌作りを続けるうち、桃子の心は解放され、綾美との息苦しい関係もほぐれていく。心の傷を乗り越え絆を深めていく少女たちを描く。

913 む
ダッシュ!



村上 しいこ 著

講談社 253P ￥1,400+税

何事にも消極的な真歩^{まほ}は突然陸上部キャプテンに指名され驚く。同学年4人のリレーに全国大会出場の期待がかかる中、速い新入生が加わる。中学最後の夏、実力も自信もない真歩のキャプテンとしての決断とは。生き生きとした会話が等身大の姿や心情を映し出す。

913 や
いのちのパレード



八東 澄子 著

講談社 207P ￥1,300+税

中学2年生の万里^{まり}は、幼なじみのセナから突然妊娠を打ち明けられ、ひどい衝撃を受ける。流産や中絶などで失われてしまう命への思いを、万里や看護師の母親、転校したセナたち5人の視点から描く。少女二人の友情を軸とした、命に向き合う人々の物語。

中学生から

913 よ
時速47メートルの疾走



吉野 万理子 著

講談社 253P ￥1,400+税

優等生の伊集院、親の再婚話に揺れる美鈴、ジャンケンで体育祭の応援団長になった町平。彼らのチームは体育祭でビリになり、他の応援団長たちとの賭けに負けた町平は、罰ゲームとして逆立ちで校庭一周をすることに。中学生の心の機微を繊細に綴った短編連作。

929 お
走れ、走って逃げろ
(岩波少年文庫 614)



ウーリー・オルレブ 作

母袋 夏生 訳

岩波書店 297P ￥720+税

ワルシャワ・ゲッターからひとり脱出した8歳のスリリックは、改名しユダヤ人であることを隠して森や農村を放浪する。恐怖や飢えと闘う日々は、彼の本当の名前さえ忘れさせ……。実話を基に、過酷な運命に屈せず生き抜いた少年を描く。旧版訳を見直し文庫化。

930 り
ライラックの枝のクロウタドリ
—詩集—



ジェイムズ・リーヴズ 著

間崎 ルリ子 訳

エドワード・アーディゾーニ 絵

こぐま社 127P ￥1,800+税

「歌って踊って」「自然の中で」「古い木々と人々」ほか全部で7つのテーマで構成された詩集。ユーモア、悲しみ、いろいろな人や土地に対する関心、自然の喜びなど、変化に富んだ詩53編を収録。子どもを描いたペン画の挿絵が豊かなイメージを作り上げている。

933 い
アルカーディのゴール



ユージン・イェルチン 作・絵
若林 千鶴 訳
岩波書店 239P ￥1,700+税

スターリン圧政下、政治犯の子として孤児院で過ごすアルカーディ。視察に来た査察官に養子として迎えられ、サッカー選手になるという夢が叶うと期待するが……。失意と弾圧の中、かすかな希望にける少年と養父を描く。表情豊かな挿絵が物語を引き立てる。

933 う
真夜中の電話
—ウエストール短編集—



ロバート・ウェストール 作
原田 勝 訳
宮崎 駿 装画
徳間書店 280P ￥1,600+税
ある聖夜、悩み相談の受付をしていた夫婦の元に電話が掛かる。「あの人はわたしを殺す気よ」と怯える電話の主を二人は救おうとするが……。この表題作などさまざまな人の心の深遠を描き出した9編を収録。『遠い日の呼び声』とともに刊行された作者の短編集。

933 す
ふたりのエアリエル



ノエル・ストレットフィールド 著
中村 妙子 訳
教文館 227P ￥1,400+税

第二次大戦中、12歳のソレルは弟妹とロンドンの祖母宅へ引っ越しする。初めて会う祖母は代々続く演劇一家の大女優だった。ソレルたちは演劇学校に入れられ、慣れないレッスンに戸惑う。逆境でも自分を見失わず、才能を開花させる子どもたちの姿を描く。

中学生から

933 た
はじまりのとき

(鈴木出版の海外児童文学 この地球を生きる子どもたち)



ティン＝ハ・ライ 作

代田 亜香子 訳

鈴木出版 284P ￥1,600+税

ベトナム戦争末期のサイゴン。10歳のハは、行方不明の父を残して母、3人の兄たちと米国へ脱出する。彼女は、不当ないじめや差別などにあうが、時にユーモアを持って言葉の壁や生活の不安を克服していく。少女時代の作者の瑞々しい感覚を散文の日記で綴る。

933 と
わたしの心のなか

(鈴木出版の海外児童文学 この地球を生きる子どもたち)



シャロン・M・ドレイパー 作

横山 和江 訳

鈴木出版 333P ￥1,600+税

脳性まひのメロディは体の大部分が動かず、話すこともできないが、頭の中は言葉で溢れている。周囲の尽力で意思疎通の手段を得て、代表チームでクイズ大会に挑戦するが……。蔑視に負けず苦境を受け入れ、可能性を信じて懸命に生きる11歳の少女の物語。

933 ひ
アラスカの小さな家族
ーバラードクリークのボーー
(講談社文学の扉)



カークパトリック・ヒル 著

田中 奈津子 訳

レウィン・ファム 絵

講談社 286P ￥1,600+税

5歳のボーは孤児だが、育ての父親が二人。毎朝料理人の父さんを手伝いながら、極寒の地で動物を眺めたり、そりに乗ったりして暮らす。ユニークな家族と町の人に愛され、健やかに育つ少女の日常を丁寧に描いた心温まる作品。愛らしい挿絵も魅力的。

933 ヘ
リフカの旅



カレン・ヘス 作
伊藤 比呂美 訳
西 更 訳

理論社 221 P ￥1,400+税

1919年、ユダヤ人一家はロシア軍の迫害から逃れるために故郷を去る。しかし白癩にかかった12歳のリフカだけが渡米の道を閉ざされる。ベルギーで治療を受けながら語学能力を生かし前向きに生き抜くリフカ。著者の大叔母の実話を基に手紙形式で語る。

933 ほ
ブロード街の12日間



デボラ・ホプキンソン 著
千葉 茂樹 訳

あすなる書房 295 P ￥1,500+税

泥棒の疑いを掛けられた孤児のイール。しかし、彼の無実を知る人はコレラで急死する。街が感染者で溢れる中、イールは井戸水が原因だと唱えるスノウ博士に見出され、持ち前の観察力を駆使し、証拠集めに奔走する。19世紀ロンドンで起きた史実を基にした物語。

933 も
希望の海へ



マイケル・モーパーゴ 作
佐藤 見果夢 訳

評論社 301 P ￥1,680+税

戦災孤児のアーサーたちは、英国からオーストラリアに送られ強制労働を強いられる。彼らの波乱に満ちた流浪の人生と、父アーサーの帰郷の遺志を継ぎ、ヨットでの単身航海に挑む娘アリーの躍動感あふれる姿を描く。児童移民問題をテーマにした父娘二代の物語。

中学生から

933 も
月にハミング



マイケル・モーパーゴ 作
杉田 七重 訳
小学館 399P ￥1,600+税

アルフィと父は、無人島で餓死寸前の少女を助け、母は声も記憶も失ったこの少女を献身的に世話する。しかし、一家は村人の勝手な憶測で村八分にされていく。少女は何者なのか？ 第一次大戦中、英国で起きた実話を題材に、戦時下での人々の愛と冷酷さを描く。

933 ら
シロクマ号となぞの鳥 上・下
ーランサム・サーガ 12ー
(岩波少年文庫 192・193)



アーサー・ランサム 作
神宮 輝夫 訳
岩波書店 上 323P ￥760+税
下 332P ￥760+税

ブラケット、ウォーカー、カラム三家族の子どもたちは、航海の最後に停泊した島で、英国では営巣しないはずの希少な鳥を発見。悪賢い鳥類研究家から守るべく奮闘するが、島の住人から敵視され、事態は複雑に。シリーズ全12巻を24冊に改訳、新訳した最終巻。

969 て
ぼくのオレンジの木
(ポプラせかいの文学 3)



J・M・デ・ヴァスコンセーロス 著
永田 翼 共訳
松本 乃里子 共訳
ポプラ社 302P ￥1,400+税

5歳のゼゼーは早熟で、いたずらを繰り返しては殴られる日々。家は貧しく、庭のオレンジの木に語りかけて空想に浸っていた。ある日、裕福な紳士と知り合い、彼の日常は温かな喜びにあふれ始める。多感な少年の心を情感豊かに描いたブラジル人作家の自伝的小説。

990 も
パール街の少年たち



モルナール・フェレンツ 作
岩崎 悦子 訳
コヴァーチ・ペーテル 絵
偕成社 293P ￥1,600+税

19世紀末のハンガリー。街に残った空き地を巡り、2つの少年団が対立していた。その中で最年少のネメチェクは、敵対する赤シャツ団に果敢に挑むが……。リーダーシップの大切さや仲間への信頼など、少年の心情が時代や国を越えて共感を呼ぶ。他社刊の改訳再刊。



ノンフィクション

(32 点)

209 し (中学生から)
グランド・ルート
—歴史図鑑—
—世界を動かした通商と交流の道—



アニック・ド・ジリ 文
野中 夏実 訳
メルラン 絵
西村書店 64P ¥2,400+税
征服や交易で発展したシルクロード、航海術を進歩させた香辛料の道、ラクダの隊商による塩の道、金も奴隷も運んだ黄金の道、利益独占競争が激化した茶の道。5本の交易路「グランド・ルート」を舞台にした壮大な歴史絵本。迫力ある絵が当時の空気を醸し出す。

210 た (高学年から)
おどろきの東京縄文人
(世の中への扉)



瀧井 宏臣 著
講談社 172P ¥1,200+税
2012年東京都心で発掘されたのは、縄文時代の人骨。保存状態もよく、正に奇跡の発見！考古学者や人骨復元のプロなどが集結した調査チームは、発掘や復顔・縄文人の衣食住の解明に取り組む。最先端の技術を駆使して、古代の謎に迫る過程を写真を交えて紹介。

210 と (高学年から)
 ガマ
 一遺品たちが物語る沖縄戦一



豊田 正義 著
 講談社 189P ￥1,300+税

自然の洞窟ガマから発掘された卒業記念の硯、少年兵の死を看取ったぜんまい式の日覚まし時計。民家の防空壕から戦利品として略奪された亡母が写るアルバム。これら遺品3点の持ち主の逸話を中心に戦時体験を複数織り込み、民間人の視点で沖縄戦の実相に迫る。

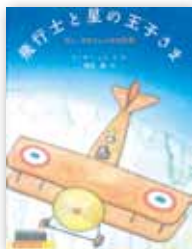
281 つ (高学年から)
 わたしが外人だったころ
 (たくさんのふしぎ傑作集)



鶴見 俊輔 文
 佐々木 マキ 絵
 福音館書店 40P ￥1,300+税

米国に留学していた著者は、開戦後収監され、日本に帰国し従軍。両国で「外人」として過ごしたことで頼りない気分を持ち続けてきた。その経験から日本人本位の考え方では地球上に住みにくくなると提唱する。示唆に富む絵を淡色中心で描いた哲学者の自伝絵本。

283 さ (高学年から)
 飛行士と星の王子さま
 一サン=テグジュペリの生涯一



ピーター・シス 文・絵
 原田 勝 訳
 徳間書店 42P ￥1,700+税

子どもの頃から空を飛ぶことに憧れていたサン=テグジュペリの波乱に満ちた生涯を、美しく繊細なイラストを付して描く伝記絵本。冒険飛行や砂漠での不時着、航空部隊従軍などのエピソードや、星のように散りばめられた解説と小話からも、新たな発見がある。

284 て (高学年から)

夢へ翔けて
一戦争孤児から世界的バレリーナへ



ミケーラ・デプリンス 著
エレーン・デプリンス 共著
田中 奈津子 訳

ポプラ社 314P ¥1,600+税

内戦の続くシエラレオネで孤児となった少女は、拾った1冊のバレエ雑誌に夢を見出した。アメリカで養女となり、黒人への偏見や戦争・虐待による心の傷を、周囲の支えと強い意志で乗り越え、バレリーナへの道を歩む。希望を追い続ける少女が養母と記した自伝。

285 か (中学年から)

[エルマーのぼうげん]をかいた女性ルース・S・ガネット



前沢 明枝 著

福音館書店 175P ¥2,000+税

知恵と勇気で次々と難題を切り抜ける少年と竜の冒険物語は、どんな困難をも楽しむガネットさんの生き方から生まれました。自分で考えることや自由な発想を大切にしてくれた学校、家族の深い愛情などで育まれた作者の半生を、インタビューと取材でまとめた一冊。

285 く (中学生から)

テンプル・グランディン自閉症と生きる



サイ・モンゴメリー 著

杉本 詠美 訳

汐文社 219P ¥1,600+税

自閉症を抱えながら才能を伸ばし、科学者として活躍するテンプル。常人とは違う脳の働きや記憶力を活かし、動物愛護の精神で食肉処理施設設計の道を開いた彼女の半生を描く。自身の手書きの設計図や数々の発明品も紹介。自閉症への理解を促すコラムを付す。

291 せ (高学年から)

北加伊道

一松浦武四郎のエゾ地探検一
(ポプラ社の絵本 27)

関屋 敏隆 文・型染版画

ポプラ社 44P ￥1,600+税

江戸時代末期、6度にわたりアイヌの人々と寝食を共にしながらエゾ地を踏査し、多くの日誌や紀行文を残した探検家、松浦武四郎。「北海道の名づけ親」と呼ばれる彼の波乱の生涯と、アイヌ文化や苦難の歴史を型染版画で精巧に描く。巻末に著者の取材記を掲載。

310 ろ (高学年から)

セルマの行進

一リンダ十四歳 投票権を求めた戦い一



リンダ・ブラックモン・ロワリー 原作

エルズベス・リーコック 原作

スーザン・バックリー 原作

渋谷 弘子 訳

P J ローラン 絵

汐文社 133P ￥1,600+税

1965年、人種差別が横行するアラバマ州セルマ。キング牧師に賛同し非暴力で投票権を得るため、大人に代わり黒人の子どもだけでデモ行進を重ねるが、流血事件に発展。ついに大人や白人も加わり州都への行進を決行する。最年少で全行程を踏破した著者の体験談。

320 い (中学生から)

10代の憲法な毎日

(岩波ジュニア新書 788)



伊藤 真 著

岩波書店 220P ￥840+税

校則は個の尊厳を定めた憲法に違反？ 小遣いの値上げは憲法で保障？ 憲法の考え方を応用し、10代が抱える日常的問題を解決する糸口を、34の事例で提案。国民の自由や権利を守るため国家権力を制限する役割を持つ憲法が、生活を支えていることに気づく本。

369 い (高学年から)
光と音のない世界で
一盲ろうの東大教授・福島智物語—
(ノンフィクション・生きるチカラ 17)



池田 まき子 著

岩崎書店 171P ￥1,400+税

幼少時から徐々に視力と聴力を失っていった福島さんは、孤独と不安の中、指点字で人との交流を深めていく。明るく前向きな性格で、障害者福祉に取り組み、生きていること自体が奇跡的で尊いというメッセージを伝え続ける。日本初の盲ろう教授の半生記。

369 は (高学年から)
ぼくが5歳の子ども兵士だったとき
—内戦のコンゴで—



ジェシカ・ディー・ハンフリーズ 作
ミシェル・チクワニネ 作
渋谷 弘子 訳
クローディア・ダピラ 絵

汐文社 47P ￥1,800+税

1993年、内戦中のコンゴ民主共和国。5歳のミシェルは反政府軍に拉致され、仲間殺しや麻薬を強要される。何とか逃走し家族の元に戻れても、以前の自分には戻れない——。漫画形式の体験談。巻末に彼の経験を世界に伝える活動と、子ども兵士の実情を付す。

450 ほ (低学年から)
しもばしら
(ちしきのぼけっと 19)



伊地知 英信 文
細島 雅代 写真

岩崎書店 31P ￥1,500+税

雪やつららなど、さまざまに姿を変える水。寒い冬の朝、土の中にある水が凍って伸び、地面を押し上げるしもばしらもその一つ。土の中の水分量や地面の冷え方の違いなどで太さや質感が変化するしもばしらの不思議で神秘的な写真絵本。巻末に実験と観察を掲載。

450 や (中学年から)
石の卵
(たくさんのふしぎ傑作集)



山田 英春 文・写真

福音館書店 40P ￥1,300+税

ただの石のようなかたまりが「ドラゴンの卵」や「雷の卵」って本当?! 実は、海の底や火山の噴火で生まれ、長い年月をかけ自然が作りあげた「石の卵」。真っ二つに切ると、中から多種多様な色と模様が現れる。美しく不可思議な芸術品を紹介した写真絵本。

460 は (中学年から)
せいめいのれきし
—地球上にせいめいがまれたときからいままでのおはなし—



バージニア・リー・パートン 文・絵
いしい ももこ 訳

岩波書店 79P ￥1,700+税

地球が誕生し、生物の登場から現在に至る進化とその栄枯盛衰を、壮大な舞台仕立てで語る。時代ごとに丁寧を描き込まれた初版の絵と、訳者の言葉を残しつつ、恐竜の研究など現在の知見を取り入れた半世紀ぶりの改訂版。巻末には監修者からのメッセージを掲載。

480 お (中学年から)
ありがとう実験動物たち
(ノンフィクション・生きるチカラ 21)



太田 京子 著

岩崎書店 143P ￥1,300+税

実験動物たちは、死を前提として研究用に生かされている。生きている間は少しでも幸福に過ごしてほしいと、個々の動物に寄り添い、給餌など快適な生活環境作りに真摯に取り組む技術職員テル。彼女の活動を通し、動物実験や動物福祉の現実の一端を伝える。

480 た (中学年から)
動物のおじいさん、動物のおばあさん



高岡 昌江 文
すがわら けいこ 絵
学研教育出版 143P ¥1,400+税

広島市安佐動物公園のクロサイ「ハナ」などの高齢動物は、どこで生まれどの様な出来事を乗り越えてきたのか。国内各地の動物園で飼育されている7頭の動物の老いに寄り添い、敬愛を込めて世話をする飼育係の言葉で紹介。動物たちの履歴書やアルバムも必見。

480 な (低学年から)
もぐもぐどうぶつえん
(しぜんにタッチ！)



なかの ひろみ 文・構成
福田 豊文 写真
ひさかたチャイルド 28P ¥1,300+税

動物園にいるたくさんのペンギンは、みんな同じ数だけ魚を食べられるの？ アリクイのえさはアリ？ 飼育係のさまざまな工夫と愛情で、自然に近い動物の姿を見ることが出来るえさの時間。動物たちが楽しそうに食べる様子を写真で分かりやすく紹介する。

480 ろ (高学年から)
レッド・フォックス
ーカナダの森のキツネ物語ー



チャールズ・G・D・ロバーツ 作
桂 宥子 訳
チャールズ・リビングストーン・ブル 画
福音館書店 309P ¥1,400+税

カナダ東部の荒野に暮らす赤ギツネの「レッド・フォックス」は、幼い頃から賢く強かった。やがて独立し新しい家族を持ち、森の火事や人間の策略などさまざまな危機を英知で乗り越えていく。作者の長年の観察に基づき、過酷な状況を生き抜く姿を写實的に描く。

- 485 え (中学年から)
まちぼうけの生態学
ーアカオニグモと草むらの虫たちー
(たくさんのふしぎ傑作集)



- 遠藤 知二 文
岡本 よしろう 絵
福音館書店 39P ¥1,300+税

精巧な網を作るアカオニグモは、狩りの名人？ そんな疑問から北海道でひと夏、網の周りを飛ぶ虫を10分×380回、合計63時間20分にわたり観察。さて、接近した虫の数と気になる捕獲率は？！ 生態学者が虫たちの狩りの様子や自然の営みを紹介した科学絵本。

- 487 た (中学年から)
ジンベエザメのはこびかた
(ほるぷ水族館えほん)



- 高岡 昌江 文
松橋 利光 写真
宮野 耕治 絵
ほるぷ出版 32P ¥1,300+税

世界最大の魚ジンベエザメを、高知沖から海遊館までどうやって運ぶ？ 生き物のプロと輸送のプロが多くの機材を使用し、道中の水温調節など細心の注意を払って約460キロの陸路に行く。生物を扱う際の心配りなど、水族館の舞台裏を臨場感あふれる写真で紹介。

- 490 あ (中学年から)
トイレをつくる 未来をつくる
(シリーズ・自然いのちひと 15)



- 会田 法行 写真・文
ポプラ社 41P ¥1,500+税

トイレのない不衛生な環境は、子どもたちの健康に大きな影響を与える。そう学んだ東ティモールの人々は、清潔なトイレ作りに励む。国の未来につながる教育も、子どもの健康があつてこそ。彼らの姿を通じ、衛生的な生活の大切さを訴える、表情豊かな写真絵本。

ノンフィクション

510 な (中学年から)

コロッケ先生の情熱！古紙リサイクル授業
(はじめてのノンフィクションシリーズ)



中村 文人 文

俊成出版社 96P ￥1,300+税

使い古しの紙が、元通りになる?! ものを粗末にしない人を育てたいと、各地の学校で古紙のリサイクル実験を取り入れた授業を続けるコロッケ先生。工夫を凝らした古紙回収・再生の過程や、先生の人柄を通して、環境保護や社会との関わり方を考えさせる一冊。

530 ま (中学年から)

月へ行きたい

(たくさんのふしぎ傑作集)



松岡 徹 文・絵

福音館書店 40P ￥1,300+税

遠い月までどうしたら行けるだろう。はしご? 風船? エレベーターや真空チューブを使ったら? 一見不可能でも、アイデアと技術を駆使すれば月に行けるかもしれないという、想像と希望に満ちた科学絵本。現状唯一の手段であるロケットの仕組みも紹介。

610 か (高学年から)

稲と日本人



甲斐 信枝 さく

福音館書店 63P ￥2,000+税

2000年以上前に日本に伝わった稲。天災を乗り越え改良や工夫を重ね、安定した収穫をもたらすおいしい食物として主食の座につく。地域ごとの環境に即した種の保存や、将来的な食料危機にも言及しつつ、渾身の調査と詳細な描写で稲作の歴史をまとめた一冊。

610 ほ（高学年から）
あきらめないことにしたの



堀米 薫 作

新日本出版社 141P ￥1,400+税

福島県飯館村で暮らす渡邊とみ子さんは、地域で取り組むオリジナルの農産物プロジェクトに熱心に関わっていた。しかし、福島第一原発事故で避難を余儀なくされる。困難の中、地域の食文化や人々のつながりを守ろうとする彼女の、前向きで力強い活動を伝える。

620 も（中学年から）
干したから…
(ふしぎびっくり写真えほん)



森枝 卓士 写真・文

フレーベル館 33P ￥1,400+税

柿やイカなど生ものを干すと水分が抜け、保存しやすくなる。冷蔵庫もない環境で食べ物を無駄にしない、ひと味違う美味しさを作り出す。自然の恵みと、世界中の先人の知恵と工夫が結びついたすばらしさが「干したもの」の中にあると気付かせてくれる写真絵本。

783 な（高学年から）
打てるもんなら打ってみろ！
ーダルビッシュ、田中、藤浪、松井、安楽 遠球王たちの甲子園伝説ー
(世の中への扉)



中村 計 著

講談社 191P ￥1,200+税

全力投球しかできない選手、影のエースに支えられたエース、たった1球で球場の雰囲気を変える選手、勝つことより仲間との和を望んだ選手、逆境を気で乗り切る選手。プロ野球選手5人の高校時代を綴る。甲子園を戦い抜いた彼らの姿勢は、万人の参考になる。

ノンフィクション

810 い (中学年から)
みんなでつくる1本の辞書
(たくさんのふしぎ傑作集)



飯田 朝子 文
寄藤 文平 絵
福音館書店 48P ￥1,300+税

鉛筆、たんす、電車、柔道の勝負……。助数詞「本」を使うものを集めていくと、共通する特徴が見えてくる。なぜ「本」をつけて数えるのか。多様な職業の人に聞き取り、「本」の歴史も調査。黄と水色のシンプルな絵で疑問を追究する楽しさを教えてくれる本。

916 も (中学生から)
生きる
一劉 リョウレン 連仁の物語一



森越 智子 作
谷口 広樹 絵
童心社 238P ￥1,600+税

連仁は、1944年日本の傀儡軍に捕らえられ北海道の炭鉱に送られる。過酷な労働、飢えや差別から仲間と共に逃亡するが生き別れ一人きりに。厳寒の地で、何としても生き抜こうとした彼の13年間の軌跡を綴る。参考資料を添え、日本の強制連行の事実に向ける一冊。

916 や (中学生から)
ちいさなちいさなベビー服



八束 澄子 作
新日本出版社 155P ￥1,400+税

小さな小さな手縫いのガーゼのベビー服。早世した500gにも満たない赤ちゃんの体に合わせて、病院ボランティアが心を込めて1枚1枚作っている。深く絶望し苦しむ人たちを支えようと、献身的に活動する人々の姿を通して、命を慈しむことの大切さを伝える。

さくいん

さ く い ん

ア

| | |
|----------------|----|
| あおいちびトラ | 1 |
| あきらめないことにしたの | 61 |
| あしたてんきになあれ | 11 |
| あたし、アンバー・ブラウン! | 30 |
| あたし、メラハファがほしいな | 32 |
| あーといってよあー | 2 |
| あひるのピンのほうけん | 2 |
| あまねく神竜住まう国 | 43 |
| アヤカシさん | 35 |
| アラスカの小さな家族 | 48 |
| アラビアン・ナイトのおはなし | 28 |
| ありがとう実験動物たち | 57 |
| アルカーディのゴール | 47 |
| アレハンドロの大旅行 | 19 |

イ

| | |
|--------------|----|
| いいないいな | 2 |
| いえでをしたくなつたので | 3 |
| 生きる | 62 |
| 石の卵 | 57 |
| 稲と日本人 | 60 |
| いのちのパレード | 45 |

ウ

| | |
|-----------------|----|
| ウォーリーと16人のギャング | 20 |
| うたうとは小さいのちひろいあげ | 45 |
| 打てるもんなら打ってみろ! | 61 |
| うめぼしさん | 3 |

エ

| | |
|-----------------------------|----|
| エドワードとうま | 11 |
| ABC! | 42 |
| 「エルマーのほうけん」をかいた女性ルース・S・ガネット | 54 |

オ

| | |
|-----------------|----|
| おいぼれミック | 39 |
| 大きなたまご | 38 |
| おじいちゃんのコート | 12 |
| お静かに、父が昼寝しております | 37 |
| おとうふやさん | 12 |
| おどる詩あそぶ詩きこえる詩 | 25 |
| おどろきの東京縄文人 | 52 |
| オンネリとアンネリのおうち | 31 |

カ

| | |
|-------------|----|
| かしこくいきるしまりす | 12 |
| 火城 | 42 |
| ガマ | 53 |

キ

| | |
|------------|----|
| きかんしゃホブ・ノブ | 3 |
| 岸辺のヤービ | 35 |
| 木のすきなケイトさん | 32 |
| 希望の海へ | 49 |
| 希望の牧場 | 33 |
| 清政 | 36 |
| 金のおさら | 13 |

ク

| | |
|----------------|----|
| クララ先生、さようなら | 40 |
| グランド・ルート | 52 |
| クリオネのしっぽ | 43 |
| クリステイーナとおおきなほこ | 13 |
| 黒いお姫さま | 31 |
| くろねごさんしろねごさん | 4 |
| くろねこのロク空をとぶ | 21 |

ケ

| | |
|-----------------|----|
| げんきなぬいぐるみ人形ガルドラ | 30 |
| 賢女ひきいる魔法の旅は | 37 |

コ

| | |
|----------------------|----|
| 子うさぎジャックとひとりぼっちのかかし… | 4 |
| 声の出ないぼくとマリさんの一週間… | 36 |
| ここがすき… | 4 |
| ごはん… | 5 |
| こぶたのピクルス… | 19 |
| こぶたものがたり… | 27 |
| コロッケ先生の情熱！古紙リサイクル授業… | 60 |
| こんには、いたずらっ子エーミル… | 13 |

サ

| | |
|----------------|----|
| さあ、しゃしんをとりますよ… | 14 |
| さかさ町… | 29 |
| サマセット四姉妹の大冒険… | 39 |

シ

| | |
|-----------------|----|
| しおちゃんとこしょうちゃん… | 5 |
| 時速47メートルの疾走… | 46 |
| しもばしら… | 56 |
| シャイローがきた夏… | 38 |
| ジャガーとのやくそく… | 22 |
| 10代の憲法な毎日… | 55 |
| シルヴィーどうぶつえんへいく… | 5 |
| シロクマ号となぞの鳥 上・下… | 50 |
| 白をつなぐ… | 44 |
| シンデレラ… | 14 |
| ジンベエザメのはこびかた… | 59 |

ス

| | |
|------|----|
| スワン… | 22 |
|------|----|

セ

| | |
|-----------------|----|
| せいめいのれきし… | 57 |
| 世界一のランナー… | 40 |
| セルマの行進… | 55 |
| 戦火の三匹… | 40 |
| 先生、しゅくだいわずれました… | 28 |

ソ

| | |
|--------------------|----|
| そらとぶじゅうたんでせかいっしゅう… | 14 |
| 空へ… | 33 |

タ

| | |
|-------------------|----|
| 大力のワーニャ… | 31 |
| ダッシュ！… | 45 |
| たったった… | 6 |
| たんじょうびおめでとう！… | 6 |
| だんまりうさぎとおしゃべりうさぎ… | 18 |

チ

| | |
|----------------|----|
| ちいさなオレグ… | 23 |
| ちいさなちいさな… | 23 |
| ちいさなちいさなベビー服… | 62 |
| ちいさなメリーゴーランド… | 6 |
| チポロ… | 34 |
| ちいろいろつつみ紙のはなし… | 19 |
| 茶畑のジャヤ… | 35 |

ツ

| | |
|---------------|----|
| 月にハミング… | 50 |
| 月へ行きたい… | 60 |
| 机の上の仙人… | 34 |
| つくしちゃんとしぎなさん… | 27 |
| つばさ… | 25 |

テ

| | |
|---------------------|----|
| テオの「ありがとう」ノート… | 41 |
| テンプル・グランディン自閉症と生きる… | 54 |

ト

| | |
|--------------------|----|
| トイレをつくる 未来をつくる… | 59 |
| どうぶつたいじゅうそくてい… | 7 |
| 動物のおじいさん、動物のおばあさん… | 58 |
| トビのめんどり… | 7 |

さ く い ん

| | |
|-----------------|----|
| トムテと赤いマフラー…………… | 15 |
| トヤのひっこし…………… | 15 |
| トルネード!…………… | 30 |

ナ

| | |
|------------------|----|
| ないしょのかくれんぼ…………… | 7 |
| なかないでなかないで…………… | 8 |
| 夏の朝…………… | 44 |
| 菜の子ちゃんと龍の子…………… | 26 |
| なりたて中学生 初級編…………… | 44 |

ニ

| | |
|--------------|----|
| 庭をつくろう!…………… | 23 |
|--------------|----|

ネ

| | |
|----------------------|---|
| ねこくんいちばでケーキをかった…………… | 8 |
|----------------------|---|

ノ

| | |
|---------------|---|
| のげしとおひさま…………… | 8 |
|---------------|---|

ハ

| | |
|--------------------|----|
| バオズになったおひなさま…………… | 26 |
| はじまりのとき…………… | 48 |
| 走れ、風のように…………… | 39 |
| 走れ、走って逃げろ…………… | 46 |
| ハリーとうたうおとなりさん…………… | 20 |
| パール街の少年たち…………… | 51 |

ヒ

| | |
|------------------|----|
| 光と音のない世界で…………… | 56 |
| 飛行士と星の王子さま…………… | 53 |
| ピーター…………… | 15 |
| ピーテル、はないちばへ…………… | 16 |
| ひみつのいもうと…………… | 16 |
| ひみつのかんかん…………… | 16 |

フ

| | |
|-----------------|----|
| ふたりのエアリエル…………… | 47 |
| 二日月…………… | 25 |
| フラフラデイズ…………… | 36 |
| フランスのいえで…………… | 9 |
| ブロード街の12日間…………… | 49 |

ヘ

| | |
|------------------|----|
| ベツツイ・メイとこいぬ…………… | 21 |
| ベニーさんのサーカス…………… | 24 |

ホ

| | |
|-----------------------|----|
| ほくが弟にしたこと…………… | 33 |
| ほくが5歳の子ども兵士だったとき…………… | 56 |
| ほくとテスの秘密の七日間…………… | 41 |
| ほくのオレンジの木…………… | 50 |
| ほくのたからもの…………… | 17 |
| 干したから…………… | 61 |
| 北加伊道…………… | 55 |
| ほろイスのボス…………… | 29 |

マ

| | |
|----------------|----|
| まちぼうけの生態学…………… | 59 |
| まって…………… | 9 |
| 真夜中の電話…………… | 47 |
| まるでんいろてん…………… | 9 |

ミ

| | |
|------------------------|----|
| 岬のマヨイガ…………… | 34 |
| 三つのまほうのおくりもの…………… | 17 |
| みまわりこびと…………… | 17 |
| ミリー・モリー・マンデーとともだち…………… | 21 |
| みんなでつくる1本の辞書…………… | 62 |

モ

| | |
|-----------------|----|
| もぐもぐどうぶつえん…………… | 58 |
|-----------------|----|

モーモー村のおくりもの……………27
 モンゴルのことばとなぜなぜ話……………28

ユ

ゆうかんな猫ミランダ……………29
 ユキとヨンホ……………43
 夢へ翔けて……………54

ヨ

よるになると……………10
 4ひきのりっぱなこぐま……………10

ラ

ライオンのひみつ……………18
 ライラックの枝のクロウタドリ……………46

リ

リフカの旅……………49
 リンドバーク……………24

ル

ルイージといじわるなへいたいさん…20

レ

レッド・フォックス……………58

ロ

ロード……………37
 ロバのジョジョとおひめさま……………24

ワ

わすれものの森……………26
 わたしが外人だったころ……………53
 わたしたちの島で……………41
 わたしのいえ……………18
 わたしの心のなか……………48
 ワニくんとパーティーにいったんだ…10
 ワンダー……………38



子どもたちへ原爆を語りつぐ本
— 総集版・2015 —
— 補遺版 1 —

1. 絵 本

(4 点)

E 〈広〉(中学年から)
彼岸花はきつねのかんざし
—絵本—



朽木 祥 作
ささめや ゆき 絵
学研教育出版 55P ￥1,500+税

戦時下の広島で暮らす也子^{かのこ}は、竹藪で出会った子狐と一緒に遊ぶようになる。子狐が白い彼岸花を探しに町に行くと、言った次の日、原爆が投下され、子狐の行方は分からなくなる。同名の物語の絵本版。ヒロシマの記憶を後々まで伝えてほしいという願いが込められる。

E 〈長〉(中学生から)
絵本母と暮せば



山田 洋次 文
森本 千絵 絵
講談社 41P ￥1,800+税

長崎で原爆がさく裂した瞬間、最愛の母を残しこの世から消えた青年浩二。死後も母を慕い続けて亡霊となり3年目の命日に再会を果たす。以前に戻ったかのような日々を過ごす、母は衰弱していき……。黒い画面に優しい色の絵で描いた作品で、原作は映画脚本。

E 〈広〉(低学年から)
The Peace Tree from Hiroshima
—The Little Bonsai with a Big Story—



Sandra Moore 著
Kazumi Wilds 絵
チャールズ・イー・外ル出版 31P ¥1,800+税

アメリカ合衆国建国200年を記念し、日本が贈った盆栽の一つは、原爆を生き延びた五葉松だった。日本とアメリカの平和の象徴になった盆栽が、およそ400年前に宮島で生まれてから山木家で代々受け継ぎ育てられ、アメリカの樹木園で展示されるまでを語る。英文。

E 〈広〉(中学年から)
いのりの石
—ヒロシマ・平和へのいのり—



こやま 峰子 文
塚本 やすし 絵
フレール館 40P ¥1,300+税

8月6日、爆心地付近にあった市内電車の敷石は、一変する町の様子を目撃する。年月を経て、被爆した敷石は観音像を彫り込まれ、200個の「いのりの石」となり世界各地に送られている。被爆敷石をモデルにした絵本。巻末に石の歴史をたどる解説と本文英訳あり。

2. フィクション

(14 点)

726 けー2〈広〉(中学年から)
原水爆漫画コレクション 2
—閃光—



谷川 一彦 著

平凡社 368P ￥2,800+税

原水爆を描いた漫画集の第2巻で「星は見ている」を収録。原爆で父を、その後病で母も失った少女が、父の形見をめぐる事件に巻き込まれ——。実は被爆者として苦難を抱え生きていた父親と、周囲の人々に見守られて暮らす少女の姿を描く。著者は広島出身。

726 けー3〈広〉〈長〉(高学年から)
原水爆漫画コレクション 3
—焰光—



白土 三平 著

滝田 ゆう 著

平凡社 405P ￥2,800+税

終戦から10年経ってなお、原子病で亡くなる人がいる。14歳の雪子も母を失い、一人ぼっちで生きていく。この「消え行く少女」と、被爆した姉妹たちが、平和と幸福を求める姿を描いた作品を所収。復興する社会の片隅で、原爆の苦しみを抱え続ける人々の姿を伝える。

726 けー4〈広〉(高学年から)
原水爆漫画コレクション 4
—残光—



赤塚 不二夫 (ほか) 著

平凡社 385P ￥2,800+税

みよ子は、幼い頃広島原爆で母親を失い、自身は右手に火傷を負った。それでもピアニストになることを夢見ていた彼女に原爆症の症状が——。この「みよちゃん死なないで」ほか12の中短編を収録。原爆や「核」への怒り、不安、終わらない苦しみを描く。

726 なー2〈広〉(高学年から)
中沢啓治著作集 2
—黒い雨にうたれて—



中沢 啓治 著

DINO BOX 353P ￥1,600+税

原爆で家族を失った過去を持ち、自らも原爆症を発症した男は、アメリカ人専門の殺し屋になった。被爆から23年後の広島を訪れた彼は、そこで盲目の少女と出会うが……。著者初の原爆漫画であるこの表題作をはじめ、原爆への怒りを描いた短編漫画を9編収める。

726 なー3〈広〉(高学年から)
中沢啓治著作集 3
—オキナワ—



中沢 啓治 著

DINO BOX 347P ￥1,600+税

戦争がもたらした苦しみや、平和の大切さを伝える5編の漫画を収録。うち2編は、広島原爆を取り上げた短編作品。「永遠のアンカー」では、白血病を発症する被爆2世の少年を、「拍子木の歌」では、師匠の遺志を継ぎ原爆の紙芝居を完成させる青年を描いている。

子どもたちへ原爆を語りつぐ本

908 に〈広〉〈長〉(高学年から)
読み聞かせる戦争



日本ペンクラブ 編
加賀美 幸子 選
光文社 263P ￥1,800+税

戦争について人々が残した詩や小説、体験記など27編を収めた本。朗読を通して戦争を伝えるため、作品の一部を抜粋し短い解説とともに掲載している。原民喜の「夏の花」など、原爆を扱った作品も7編収録。戦後70年を機に刊行された新装版。9作品の朗読CD付。

913 い 〈広〉(中学年から)
一つの花 ヒロシマの歌
(集英社みらい文庫)



今西 祐行 作
森川 泉 本文イラスト
集英社 174P ￥640+税

田舎で一人暮らしをしている祖母に、同居のお願いをしに行った3年生のふき子と兄。そこで、40年前広島に住んでいた祖母の原爆にまつわる悲しい思い出を聞く。この「おばあちゃんとおばめ」を含め、全9編の戦争物語を収録。総ルビ、注釈付きで読み易い。

913 お 〈長〉(低学年から)
ながさきの子うま
一人形アニメ版一
(アニメでよむ戦争シリーズ)



大川 悦生 原作
翼プロダクション 作
新日本出版社 70P ￥1,400+税

長崎の、浦上天主堂がよく見える秀男の家で、雄の子馬が一頭生まれました。ところが、8月9日に原子爆弾が投下され、一緒にいた母馬が負傷してしまう。子馬は母馬と別れ、迫ってくる火から逃げて行く。天主堂に戻ると秀男が倒れていて……。人形アニメを書籍化。

913 く 〈広〉(中学生から)
八月の光・あとかた
(小学館文庫)

朽木 祥 著

小学館 237P ¥540+税



父が戦死し、母と二人で広島に暮らす光子は、原爆投下の朝出かけたまま帰ってこない母を探しに行くが……。この「石の記憶」など、原爆を体験した若者の苦しみや悲しみを描いた全5編を収める。2012年刊『八月の光』を改稿し、書き下ろし2編を加えて文庫化。

913 く 〈広〉(中学年から)
泣くな、東太
(鈴の音童話)

熊谷 本郷 作
吉野 晃希男 絵

銀の鈴社 175P ¥1,200+税



原子爆弾で家を失った小学3年生の東太^{とう}は、広島近くの町、八本松に移り家族で暮らしていた。彼は戦争孤児となった友人や父と弟の死、病を抱えた被爆者の苦しみ、不発弾の恐怖などを目の当たりにする。家族を守ろうと懸命にたくましく生きる少年を描いた物語。

913 し 〈広〉(中学生から)
48色の夢のクレヨン
—ヒロシマからワシントンDCに届いた絵—
—記録映画「ヒロシマの校庭から届いた絵」取材と自らの体験に基づく物語—
—一日米平和の架け橋—

重藤 マナーレ 静美 著
佐藤 綾子 編集

池田出版 179P ¥1,700+税



60年前、本川小学校の児童が、アメリカから届いた文房具などのお礼にと絵を描いて贈った。その絵が発見されたと報じる新聞を目にした花子は、原爆で家族全員を失った当時の状況を思い起こす。実話を基にした物語。巻末に贈った48点の絵や書を掲載する。第3版。

子どもたちへ原爆を語りつぐ本

913 な 〈広〉(中学年から)
3+6の夏
—ひろしま、あの子はだあれ—



中澤 晶子 作
ささめや ゆき 絵
汐文社 119P ￥1,400+税

絵画教室に通うかなたのスケッチブックに、描いた覚えのない花模様のブラウスの絵が現れた。同時に、そのブラウスを着たおばけが、かなたの肩にくっついて——。6人の子どもたちが、70年前の広島で被爆し亡くなった3人の子に出会う、3つの不思議な物語。

913 にー4 〈広〉(中学年から)
戦争と平和のものがたり 4
—ヒロシマの歌—



西本 鶏介 編
篠崎 三朗 絵
ポプラ社 125P ￥1,200+税

原爆投下直後の広島で、惨状を目の当たりにした水兵は、死んだ母に抱かれた赤ちゃんを保護する。この「ヒロシマの歌」を含め、5つの戦争物語を収録。戦争の時代を生きた作家たちが、平和への祈りを込めて描いた物語を、子どもたちに伝えるシリーズの第4巻。

913 や 〈広〉(低学年から)
おこりじぞう
一人形アニメ版—
(アニメでよむ戦争シリーズ)



山口 勇子 原作
翼プロダクション 作
新日本出版社 70P ￥1,400+税

広島に住むひろちゃんは、家の近くにある笑った顔のお地蔵さんに話しかけながら、戦争へ行った父の帰りを母・祖父と共に待っていた。しかし、8月6日に原子爆弾が投下され、被爆した地蔵は怒り顔に変わっていく。原作を基に製作した人形アニメを書籍化。

3. ノンフィクション

(32 点)

210 あ-1～5 〈広〉〈長〉(高学年から)
シリーズ戦争 語りつごうヒロシマ・ナガサキ

- 1 天からふってきた悪魔-
- 2 キノコ雲の下で起きたこと-
- 3 歴史を未来にいかす-
- 4 核兵器とはどういうものか-
- 5 平和についてかんがえる-



安齋 育郎 文

新日本出版社 各39P 各¥2,500+税

広島・長崎の原爆について、さまざまな視点から捉えた5巻のシリーズ。街の昔と今の様子や原爆の惨禍を伝える施設、放射線障害の特徴、原爆が作られた経緯、ヒロシマ・ナガサキを語りつくす意味など、関連資料を添えて解説する。5巻巻末には索引を付す。

210 い 〈広〉(中学年から)
ヒロシマ8月6日、少年の見た空
—12歳5か月の戦没者—
—戦争ノンフィクション物語—



井上 こみち 文

すがわら けいこ 絵

学研教育出版 103P ¥1,300+税

両親と2人の姉に囲まれて育った中学1年生の杜夫は、家族に見送られ勤労動員先へ向かうが、作業中に被爆する。次女の証言を基に、杜夫の誕生から原爆投下、戦後、帰らぬ彼を見つけ出せず無念な思いで過ごした日々を綴る、一家の記録。既刊絵本を加筆、再編。

子どもたちへ原爆を語りつぐ本

210 こ 〈長〉(中学生から)
長崎原爆写真集
—決定版—



小松 健一 編
新藤 健一 編
勉誠出版 258P ￥2,500+税

1982年に発足した「反核・写真運動」が収集・保管していた長崎の原爆写真から、400点余りを撮影年月日順に掲載。それぞれの写真に、撮影日、場所、撮影者、説明等を記し、英文も併記する。撮影者の対談や証言、解説も収録。巻末に撮影者一覧あり

210 こ 〈広〉(中学生から)
広島原爆写真集
—決定版—



小松 健一 編
新藤 健一 編
勉誠出版 246P ￥2,500+税

1982年に発足した「反核・写真運動」が収集・保管していた広島原爆写真から、400点余りを撮影年月日順に掲載。それぞれの写真に、撮影日、場所、撮影者、説明等を記し、英文も併記する。撮影者の対談や証言、解説も収録。巻末に撮影者一覧あり。

210 ち 〈広〉(中学年から)
子どもたちへ、今こそ伝える戦争
—子どもの本の作家たち19人の真実—



長 新太 ほか 著
講談社 175P ￥1,800+税

子どもの本の作家19名が、それぞれの戦争体験を、子どもに向けてありのままに伝える一冊。「八月六日の思い出」(那須正幹著)、「原子爆弾が落ちた日」(山下明生著)は、広島原爆についての体験。文中の言葉の説明やイラスト、その時代のできごととも掲載。

210 て〈広〉(中学年から)
まんがで語りつぐ広島復興
一原爆の悲劇を乗り越えた人びと一



手塚プロダクション まんが
青木 健生 シナリオ
小学館クリエイティブ 255P ¥1,800+税

原爆投下により焼野原となった広島市街地。生き残った人たちの手で、水道は8月6日午後、電気は8日、路面電車の一部は9日には復旧した。深い傷を負いながらも、すぐさま街の再建に立ち上がった人びとの勇気と気力、平和への願いを復興秘話とともに伝える。

210 へー1〈広〉(高学年から)
平和学習に役立つ戦跡ガイド 1
一ヒロシマー



平和学習に役立つ戦跡ガイド編集委員会 編
汐文社 47P ¥2,500+税

修学旅行の事前学習や平和学習に役立つシリーズの第1巻。原爆ドームをはじめ、広島市内にある22の戦跡や資料館などを写真とともに紹介。所在地や見学の注意も記す。原爆投下による被害状況や核について考えるコラム、第二次世界大戦のあらましも掲載。

210 へー2〈長〉(高学年から)
平和学習に役立つ戦跡ガイド 2
一ナガサキ一



平和学習に役立つ戦跡ガイド編集委員会 編
汐文社 47P ¥2,500+税

修学旅行の事前学習や平和学習に役立つシリーズの第2巻。長崎市内にある、浦上天主堂など9か所の戦跡と、長崎原爆資料館など原爆を学ぶ6か所の施設を紹介。原爆投下による被害状況や第二次世界大戦のあらまし、戦跡の見学後、新聞にまとめる方法も掲載する。

子どもたちへ原爆を語りつぐ本

210 ほ 5〈広〉〈長〉(中学年から)
シリーズ戦争孤児 5
—原爆孤児—
—ヒロシマの少年、ナガサキの少女—



平井 美津子 編

汐文社 55P ￥3,000+税

戦争で身寄りを失った子どもたちの姿を伝える全5巻のシリーズ。第5巻は「原爆孤児」を取り上げ、広島・長崎の原爆投下で、苦難を強いられた幼い子どもたちや、必死に生きる彼らを援助した人々を、写真と共に紹介。原爆の悲劇を伝える映像や文学にも言及。

210 や〈広〉〈長〉(高学年から)
平和を考える戦争遺産図鑑



安島 太佳由 写真 著

岩崎書店 176P ￥6,000+税

日本各地から太平洋の島々、東アジアに残る戦争遺跡を訪ねた著者が、軍事施設や艦船の残骸など戦争の痕跡と現在の姿を写真に収めた。第1章始めに広島・長崎の原爆を取り上げ慰霊の様子も伝える。各写真に説明と撮影場所、巻末に主な平和資料館、年表を掲載。

281 な 〈長〉(高学年から)
永井隆
—原爆の荒野から世界に「平和を」—
(ひかりをかかけて)



片山 はるひ 著

日本キリスト教団出版局 126P ￥1,200+税

白血病を患っていた医師の永井隆は、長崎の爆心地から700mの場所で被爆する。重傷を負いながらも必死の救護活動を行い、病床で原爆の被害報告書や体験記を書き遺した。隣人愛による平和を訴え続けた彼の生涯を紹介する。巻末に年譜、関連作品の案内を掲載。

- 281 や〈広〉〈長〉(高学年から)
平和のバトンをつないで
—広島と長崎の二重被爆者・山口疆さんからの伝言—
(いのちのドラマ 3)



池田 まき子 著
タムラ フキコ 絵
WAVE出版 141P ¥1,300+税

長崎造船所の技師山口疆は、3か月間の広島出張を終え帰郷を翌日にひかえた朝、被爆する。必死に家族の元に戻るが、再びきのご雲を目にする。「あれに追いかけてられているみたいだ」。後遺症を抱えながら家族を養い、後年は語り部として非核平和を訴えた彼の伝記。

- 283 あ〈広〉〈長〉(高学年から)
アインシュタインと相対性理論
(世界の伝記科学のパイオニア)



D・J・レイン 作
ないとう ふみこ 訳
玉川大学出版部 123P ¥1,900+税

相対性理論を発表し、物理学の世界に革命を起こしたアインシュタイン。その業績と生涯を写真や図版とともに紹介。11章「戦争と原子爆弾」で、彼が米国大統領に原子爆弾製造の可能性について書簡を書いたことや、核兵器の使用に反対したことなどを伝えている。

- 291 し 〈広〉(高学年から)
事前学習に役立つみんなの修学旅行
—広島・山口—



小峰書店 44P ¥2,500+税

修学旅行の事前学習を助け、目的地のテーマ別スポットを紹介した一冊。広島島の地理や歴史と併せ「平和の尊さを学ぼう」では、原爆投下の被害状況のほか、平和学習の地としてヒロシマの願いを語り継ぐ原爆ドーム、平和記念公園などを取り上げる。索引あり。

子どもたちへ原爆を語りつぐ本

310 あ〈広〉〈長〉(中学年から)
続・被爆者
—70年目の出会い—
(シリーズ自然 いのち ひと 16)



会田 法行 写真・文

ポプラ社 40P ￥1,500+税

10年前に取材した二人と再会し、被爆者の高齢化を痛感した著者。二人の現在を追いつつ、新たな広島「原爆の絵」プロジェクトや、福島原発事故で出会った人々の姿も写真で紹介。彼らが語る被爆体験や、放射線の恐ろしさを継承していく大切さを伝える。

310 こ〈広〉(中学生から)
広島復興の歩み
—ひろしま復興・平和構築研究事業—



国際平和拠点ひろしま構想推進連携事業実行委員会 編

国際平和拠点ひろしま構想推進連携事業実行委員会 58P ※

被爆地広島が、廃墟から再出発し、復興に至った軌跡を写真や図とともにたどる。復興に関する12のQ&Aや、復興の過程で登場したお好み焼、広島カープなどをコラムで紹介する。参考文献と参照ウェブサイトの掲載が充実し、理解を深めるために役立つ。

310 さ〈広〉(高学年から)
ヒロシマここより永遠に
—被爆70年—
—今伝えたいメッセージ—
—祈る平和から創る平和へ—
—よみがえる命・羽ばたけ世界へ—



佐藤 廣枝 企画

佐藤 葉笑 編

佐藤 太紀 編

H P S 国際ボランティア 56P ※

被爆者の証言や願い、園児から大人まで様々な人の平和のメッセージを英文併記で綴る。子どもたちの直筆メッセージやイラスト、寄稿者の写真もあり、平和実現を強くアピールしている。広島を代表する企業の復興の記録も掲載。おりづる再生紙を用いて製作した一冊。

310 さ 〈広〉(高学年から)
ようきんさった原爆ドームは語る
一言葉を超えて見て感じる 命のきざな



佐藤 廣枝 企画
佐藤 菜笑 編
佐藤 廣枝 構成
大中 加代子 構成
スティーブン・リーパー 英訳
HPS国際ボランティア 72P ¥800+税

長年平和活動を続ける団体が、国籍を超えて集めた被爆者の証言に加え、活動の中で出会った子どもたちや、世界の様々な場所で生きる人々からのメッセージをまとめた。核廃絶をめざす他団体の行動や平和公園一帯の碑の解説も、写真とともに掲載。一部に英訳あり。

310 ひ 〈広〉(中学生から)
原爆死没者慰霊式典の記録
一被爆70周年記念事業一



広島市 編
広島市 80P ※

被爆70周年を記念し、「原爆死没者慰霊等事業」として行われた38の慰霊式典の状況をまとめた一冊。永遠の平和を願い、地域の人々や職場の仲間、同窓生や次世代の子どもたちが参加する式典の写真と、実施主体や日時・場所、目的・経緯などを掲載。

520 ひ 〈広〉(中学生から)
原爆ドーム100年の記憶



広島平和記念資料館 編
広島平和文化センター平和記念資料館 14P ※

チェコ人ヤン・レツルが設計し、大正4(1915)年に完成した「広島県物産陳列館」。原爆投下により無残な姿となるが、核廃絶と平和のシンボル「原爆ドーム」として、世界遺産登録が実現した。新聞記事や写真とともに、「原爆ドーム」の歴史を振り返る。英文併記。

子どもたちへ原爆を語りつぐ本

650 い〈広〉(高学年から)
広島の木に会いに行く

石田 優子 著

偕成社 239P ￥1,800+税



爆心地から概ね半径2km以内に、被爆樹木が約170本ある。ドキュメンタリー映像作家の著者が、樹木医の診断や処置の様子、被爆者の証言、被爆2年後に調査した研究者への取材記録などとともに、自身も観察した木の状況を伝える。巻末に被爆樹木マップを掲載。

650 に〈広〉(中学生から)
被爆70年・西区の被爆樹・被爆遺跡・被爆建物

西区被爆フィールドワークの会 編

西区被爆フィールドワークの会 90P ※



西区に残る18の被爆樹・36の被爆遺跡・24の被爆建物を紹介した一冊。現在の写真や来歴、被爆の様相、所在地、爆心地からの距離などを周辺案内図とともに掲載。被爆から70年がたち、惨禍の継承が難しくなる今日、これらをフィールドワークで集め伝え残す。

726 きー1~5〈広〉(高学年から)
キセキのヒロシマ 1~5
—朝陽に映えて—
—HIROSHIMA is in The PINK!—

ピースピースプロジェクト 企画

高下 知代 漫画

谷川 知子 漫画

山田 康代 漫画

美健ガイド社 各32P 各¥400+税



息子夫婦を戦争で失った巴は、残された二人の孫を育てると誓う。巴の被爆体験を、曾孫である多延子が来日した元伯爵夫妻に語る漫画。未来に向かって逞しく生きる女性たちの姿を描き、広島の復興の様子、お好み焼きやカーブの歴史などにも触れる。

- 750 ま〈広〉〈長〉(低学年から)
へいわをゆめみて
—マナ・オリさんのおりがみ「ツル」—
—Kraanvogel Droom voor vrede—
—Manna Ori's origami—



マナ・オリ さく

あいり出版 47P ￥1,200+税

オランダ出身の折り紙作家である著者が、作製した様々な折り鶴の写真やイラスト、世界の子どもたちへのメッセージを綴る。原爆、千羽鶴、佐々木禎子さんについて説明があり、ツルと台座の折り方も掲載。折り鶴を作って平和を祈ろうと呼びかける。蘭文併記。

- 800 ふー2〈広〉〈長〉(高学年から)
チャレンジ!キッズスピーチ 2
—英語対訳つき—
—平和をもとめた子どもたち—



フリー・ザ・チルドレン・ジャパン 編

大月書店 39P ￥2,500+税

子どもが自ら声を上げる意義やスピーチのコツを、事例から学ぶシリーズの第2巻。事例の中に2014年の、被爆三世の高校生による国連軍縮会議での核兵器廃絶の訴えと、小学生による平和記念式典での「平和への誓い」がある。スピーチの背景ほか関連情報もあり。

- 916 お 〈広〉(高学年から)
想い出のサダコ
一日英対訳—
—Memories of Sadako—



大倉 記代 著

宮本 慶子 訳

ステイーブン・リーパー 監訳

夜川 けんたろう 絵

IBCパブリッシング 125P ￥1,500+税

14歳の時に、12歳の佐々木禎子さんと3か月間病室を共にした著者が、戦後60年を機に彼女との思い出を初めて綴った作品。思春期の入口にいた禎子さんの素顔と、原爆への憤りを伝える。2005年他社刊に解説等を加え、英語のテキストとして出版。英語音声CD付。

子どもたちへ原爆を語りつぐ本

- 916 こ〈広〉〈長〉(中学生から) 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 編
しまつてはいけない記憶
—被爆体験集 1— 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 557P ※
—被爆70周年記念事業—



平成18年度に始まった被爆者の体験を聞き取り代筆する事業。被爆前の生活、被爆時の状況、戦後の生活、平和への思いなどをまとめた103人の体験記の中から、50編を収録している。被爆時年齢は3歳から31歳まで幅広く、長崎や在日韓国人二世の被爆者も含む。

- 916 こ〈広〉(高学年から) [児玉 八重子 述]
遠きヒロシマ 青木 幸子 著
—記憶の町の物語— 牧歌舎 84P ￥1,000+税



児玉八重子さんは広島で幸せな日々を過ごしていた。しかし、戦争により町の様子は変わっていく。原爆投下当時13歳で、疎開先から焼野原となった町に入り必死に父を探したことや、多くの悲惨な状況を目にしたことなど、伯母が語る原爆の体験を記録に残す。

- 916 の〈広〉(高学年から) 野上 暁 編
わたしが子どものころ戦争があった 神沢 利子 (ほか) 著
—児童文学者が語る現代史— 理論社 255P ￥1,400+税



太平洋戦争前後に、子ども時代を過ごした8名の児童文学者が、戦争の影響を受けた当時の暮らしを語る。「広島に生まれて」(那須正幹著)では、3歳の時に被爆した著者が、原爆投下以後の記憶や、原爆関連本の執筆のきっかけなどを伝える。巻末に関連年表あり。

916 も 〈広〉(中学年から)
ゆきちゃんが見たピカドン
-The Atomic Bombing That Yuki Saw-



森本 マリア 作
ナンシー・H・ロス 翻訳
彩瀬 ひよ子 切り絵
吉備人出版 45P ¥1,500+税

広島市の北、三入村でくらすゆきちゃんは、8月6日の朝、空が光るのを見た。広島市の町に爆弾が落ちたのだ。村人は、町から来ただけが人たちを交代で看護し、亡くなると河原で焼却した。終戦前後の村の様子を、当時小学生だった著者が、飾らない言葉で綴る。英文併記。

916 よ 〈長〉(中学年から)
ナガサキの命
一伝えたい、原爆のこと—
(角川つばさ文庫 Dよ1-2)



吉永 小百合 編
筒井 茅乃 文(第一部)
男鹿 和雄 カバー絵・挿絵
YUME 挿絵

KADOKAWA 155P ¥600+税
茅乃の父親は、長崎で被爆しながら、医師として負傷者の治療に当たり、病に倒れる。永井博士の娘である茅乃が3歳からの体験を記した『娘よ、ここが長崎です』を再構成した第一部。手記2編、原爆詩6編を第二部として収録。平和への祈りを伝え続ける。

918 よ 〈広〉(中学年から)
ヒロシマの風
一伝えたい、原爆のこと—
(角川つばさ文庫 Dよ1-1)



吉永 小百合 編
山室 有紀子 文
男鹿 和雄 カバー絵・挿絵
YUME 挿絵

KADOKAWA 173P ¥600+税
編者が朗読に取り組む原爆詩を次世代へ伝える作品集。第1部「おばあちゃんの願い」は、小学4年生の少女が祖母の被爆の実相をたどる物語。既刊詩集を再構成した第2部は、峠三吉ほかの詩人、歌人、小学生、母親の被爆体験などから生まれた詩20編を収録する。

4. 詩 歌

(1 点)

911 よ〈広〉〈長〉(中学生から)
第二楽章
ーヒロシマの風ー
ー長崎からー



吉永 小百合 編
アーサー・ビナード (ほか) 英訳
男鹿 和雄 画
スタジオジブリ 124P ¥2,500+税

栗原貞子の「生ましめんかな」や原民喜の「永遠のみどり」、筒井茅乃の『娘よ、ここが長崎です』など、平和の大切さを語りつぐ詩を中心に25編を収録。編者のライフワークである朗読活動の中で紹介してきた作品に、水彩で描かれた挿絵と英訳を添えた詩画集。

対象別リスト

対象別リスト

対象別リスト

幼児から

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|-----|------|---------------|-------------------------------------|------------------------|------|
| 紙芝居 | P | おばあちゃんの人形 | 佛教大学社会福祉学・黒岩ゼミ 制作 | 本の泉社 | 2013 |
| | P | シュモーさんとヒロシマの家 | シュモーさんの「ヒロシマの家」を語りつくす会 作 山先 方江 絵 | シュモーさんの「ヒロシマの家」を語りつくす会 | 2013 |
| 絵本 | い | ピカドンたけやぶ | はら みちを 作・絵 | 岩崎書店 | 1983 |
| | か | とうろうながし | 松谷 みよ子 文 丸木 俊 絵 | 偕成社 | 1985 |
| | か | まちんと | 松谷 みよ子 文 司 修 絵 | 偕成社 | 1978 |
| | ち | ピカドン | 小崎 侃 作・版画 | 汐文社 | 1991 |
| | と | 伸ちゃんのさんりんしゃ | 児玉 辰春 作 おぼ まこと 絵 | 童心社 | 1992 |
| | と | ひろしまのエノキ | 長崎 源之助 作 二俣 英五郎 絵 | 童心社 | 1988 |
| | は | 8月6日のこと | 中川 ひろたか 文 長谷川 義史 絵 | ハモニカブックス | 2011 |
| | ひ | アオギリのねがい | 「被爆アオギリ二世」の絵本をつくる会 作・画 | 広島平和教育研究所 | 1996 |
| | ひ | アオギリのねがい | 「被爆アオギリ二世」の絵本をつくる会 作・画 | 広島平和教育研究所 | 2003 |
| | ほ | かあさんのうた | 大野 允子 文 山中 冬児 絵 | ポプラ社 | 1977 |

小学校低学年から

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|-----|------|------------|--------------------------------|-------|------|
| 紙芝居 | P | 原爆の子さだ子の願い | 宮崎 二美枝 脚本 江口 準次 絵 | 汐文社 | 1994 |
| | P | 長崎原爆紙芝居 1 | 坂口 便 原作 古村 覚 脚色 村上 新一郎 画 | あらき書店 | 1985 |
| | P | 長崎原爆紙芝居 2 | 坂口 便 原作 古村 覚 脚色 村上 新一郎 画 | あらき書店 | 1984 |
| | P | 長崎原爆紙芝居 3 | 坂口 便 原作 古村 覚 脚色 村上 新一郎 画 | あらき書店 | 1984 |
| | P | 長崎原爆紙芝居 4 | 坂口 便 原作 古村 覚 脚色 村上 新一郎 画 | あらき書店 | 1985 |
| | P | 長崎原爆紙芝居 5 | 坂口 便 原作 古村 覚 脚色 村上 新一郎 画 | あらき書店 | 1985 |

対象別リスト

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|-----|-------|-------------------------------|----------------------------------|--------------------|------|
| 紙芝居 | P | 二度と | 松井 エイコ 脚本・絵 | 童心社 | 2005 |
| | P 1~5 | はだしのゲン 1~5 | 中沢 啓治 作・絵 | 汐文社 | 1991 |
| 絵本 | あ | ピカ | 西本 伸 絵と文 | あゆみ出版 | 1984 |
| | え | MY HIROSHIMA | 森本 順子 著 | HPS国際ボランティア | 2010 |
| | え | MY HIROSHIMA | 森本 順子 作・絵 | HPS国際ボランティア | 2011 |
| | え | MY HIROSHIMA | 森本 順子 作・絵 | HPS国際ボランティア | 2012 |
| | き | おこりじぞう | 山口 勇子 原作 沼田 曜一 語り 四国 五郎 絵 | 金の星社 | 1979 |
| | き | わたしのヒロシマ | 森本 順子 作・絵 | 金の星社 | 1988 |
| | こ | むかえじぞう | 吉本 直志郎 作 飯原 一夫 絵 | 佼成出版社 | 1991 |
| | こ | げんばくとげんばつ | 増山 麗奈 文・絵 | 子どもの未来社 | 2013 |
| | こ | ひろしまのピカ | 丸木 俊 文・絵 | 小峰書店 | 1980 |
| | し | まっ黒なおべんとう | 児玉 辰春 文 長澤 靖 絵 | 新日本出版社 | 1995 |
| | し | よっちゃんのビー玉 | 児玉 辰春 ぶん 北島 新平 え | 新日本出版社 | 1996 |
| | す | かえってきたつりがね | 児玉 辰春 作 長澤 靖 絵 | 鈴木出版 | 1996 |
| | ち | The Peace Tree from Hiroshima | Sandra Moore 著 Kazumi Wilds 絵 | チャールズ・イー・ タトル出版 | 2015 |
| | ち | 悲しい顔のマリア | 原 之夫 作・絵 | 汐文社 | 1991 |
| | ち | 金魚がきえた | 山本 美次 作・絵 吉野 和子 作 | 汐文社 | 1989 |
| | ち | 雲のむこうに | 毛利 まさみち 作・絵 | 汐文社 | 1996 |
| | ち | 原爆の少女ちどり | 山下 まさと 作・絵 | 汐文社 | 1989 |
| | ち | とうちゃんの涙 | 下村 仁一 作・絵 | 汐文社 | 1989 |
| | ち | ヒロクンとエンコウさん | 四国 五郎 作・絵 | 汐文社 | 1989 |
| | ち | ふりそでの少女 | 松添 博 作・絵 | 汐文社 | 1992 |
| | ち | ミヨちゃんの笛 | 白井 史朗 作・絵 | 汐文社 | 1989 |
| | ち | もえたじゃがいも | 入野 忠芳 作・絵 | 汐文社 | 1989 |
| | ち | ゆめくい雲とアッコちゃん | 黒崎 美千子 作・絵 | 汐文社 | 1992 |
| | ひ | おりづるの旅 | うみの しほ 作 狩野 富貴子 絵 | PHP研究所 | 2003 |
| | ふ | ちいさなおはか | おおた そら 文 鈴木 康治 絵 | 文芸社 | 2012 |
| | ふ | ヒロシマのいのちの水 | 指田 和 文 野村 たかあき 絵 | 文研出版 | 2009 |

対象別リスト

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|--------|-------|--------------------|--------------------------------|---------|------|
| 絵本 | ふ | ヒロシマのピアノ | 指田 和子 文 坪谷 令子 絵 | 文研出版 | 2007 |
| | ほ | ケイコちゃんごめんね | 奥田 貞子 作 宮本 忠夫 絵 | ポプラ社 | 1983 |
| | ほ | 長崎のふしぎな女の子 | 大川 悦生 作 宮崎 耕平 絵 | ポプラ社 | 1983 |
| | ほ | はとよひろしまの空を | 大川 悦生 原作 大川 弘子 文 大川 富美 文 | ポプラ社 | 1999 |
| | ほ | むかえじぞう | 吉本 直志郎 ぶん 遠藤 てるよ え | ポプラ社 | 1980 |
| | ほ | ルミちゃんの赤いリボン | 奥田 貞子 作 宮本 忠夫 絵 | ポプラ社 | 1983 |
| | ほ | げんばくとハマユウの花 | 桜井 信夫 文 鈴木 義治 絵 | ほるぷ出版 | 1981 |
| | み | おりづるにのって | 中村 里美 文 吉田 しんこ 絵 | ミュージズの里 | 2010 |
| | ら | アサガオ | むらはし こまち 文・絵 | らくだ出版 | 1982 |
| | ら | おじいちゃんの銀時計 | はら みちを さく・え | らくだ出版 | 1995 |
| フィクション | 913 い | ゆみ子とつばめのおはか | 今西 祐行 さく 遠藤 てるよ え | 偕成社 | 1972 |
| | 913 お | ながさきの子うま | 大川 悦生 さく 宮本 忠夫 え | 新日本出版社 | 1984 |
| | 913 お | ながさきの子うま | 大川 悦生 原作 翼プロダクション 作 | 新日本出版社 | 2016 |
| | 913 お | はとよひろしまの空を | 大川 悦生 作 二俣 英五郎 絵 | ポプラ社 | 1979 |
| | 913 お | まめたんばあさん | 大野 允子 作 上野 紀子 絵 | あすなろ書房 | 1987 |
| | 913 か | 人形レストラン | 怪談レストラン編集委員会〔編〕 かとう くみこ 絵 | 童心社 | 2004 |
| | 913 こ | 心がホッとする話 1年生下・2年生下 | 井上 こみち (ほか) 文 | 学習研究社 | 1999 |
| | 913 し | つるにのって | ミホ・シボ 原案 | 金の星社 | 1994 |
| | 913 し | ちゃんちゃこばあちゃん | 正田 篠枝 作 榎本 めぐみ 絵 | 太平出版社 | 1980 |
| | 913 し | ことりになったエノキ | 白木 惠委子 さく ふりや かよこ え | 新日本出版社 | 2002 |
| | 913 し | 人形がかぞえる子もりうた | 白根 厚子 作 遠藤 てるよ 絵 | 草炎社 | 1996 |
| | 913 は | むらさき色のピカ | 馬場 淑子 作 中沢 啓治 絵 | 太平出版社 | 1981 |
| | 913 ま | ミサコの被爆ピアノ | 松谷 みよ子 文 木内 達朗 絵 | 講談社 | 2007 |

対象別リスト

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|----------|-------|---------------|------------------------|--------|------|
| フィクション | 913 や | おこりじぞう | 山口 勇子 さく 四国 五郎 え | 新日本出版社 | 1982 |
| | 913 や | おこりじぞう | 山口 勇子 原作 翼プロダクション 作 | 新日本出版社 | 2016 |
| | 913 や | ヒロシマからきたマメじぞう | 山口 勇子 作 小野 かおる 絵 | 太平出版社 | 1983 |
| | 913 や | ヒロシマの火 | 山口 勇子 さく 四国 五郎 え | 新日本出版社 | 1988 |
| | 913 や | 千羽づるのねがい | 山下 夕美子 作 沢井 一三郎 画 | 小学館 | 1975 |
| | 913 や | かよこ桜 | 山本 典人 さく 井口 文秀 え | 新日本出版社 | 1981 |
| ノンフィクション | 750 ま | へいわをゆめみて | マナ・オリ さく | あいり出版 | 2015 |
| | 916 お | 山梨の被爆アオギリ二世 | 岡田 清 文 浅川 晃治 絵 | 岡田 清 | 2005 |

小学校中学年から

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|-----|------|--------------------|--|--------------|------|
| 紙芝居 | P | 平和のちかい | 稲庭 桂子 脚本 佐藤 忠良 画 | 子どもの文化研究所 | 1979 |
| | P | 平和のちかい | 稲庭 桂子 脚本 佐藤 忠良 絵 | 童心社 | 2005 |
| | P | 平和への祈り 2 | 町屋 住男 作 | 大空社 | 1995 |
| 絵本 | あ | サダコの祈り | フォージア・ミナラ 作 うねざき まさこ 訳 | アント・ヒロシマ | 2008 |
| | え | ピカドン きのこ雲の下で見つけた宝物 | 佐藤 廣枝 著 南有田 秋徳 絵 | HPS 国際ボランティア | 2013 |
| | お | さだ子と千羽づる | SHANTI 著 | オーロラ自由アトリエ | 1994 |
| | か | 彼岸花はきつねのかんざし | 朽木 祥 作 ささめや ゆき 絵 | 学研教育出版 | 2015 |
| | き | 昭ちゃんの紙芝居 | 山口 昭治 作 | 木戸出版 | 2005 |
| | く | わらってお母さん | たから さき 文 たから さやか 絵 | クリエイティブ21 | 2004 |
| | こ | わたしはひろがる | 岸 武雄 作 長谷川 知子 絵 | 子どもの未来社 | 2010 |
| | こ | 海をわたった折り鶴 | 石倉 欣二 作 | 小峰書店 | 2010 |
| | こ | ピカドン | 丸木 位里 作 丸木 俊 作 ナンシー H. ツニソン 英訳 石川 保夫 英訳 | 小峰書店 | 1987 |
| | こ | わたしはひろがる | 岸 武雄 詩 辻本 洋太朗 染絵 | 小峰書店 | 1994 |

対象別リスト

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|--------|-------------------|----------------------|---|------------|------|
| 絵 本 | し | あの夏の日 | 葉 祥明 絵・文 長崎市 編集協力・英訳 吉崎 克美 アートディレクション | 自由国民社 | 2000 |
| | し | いわたくんちのおばあちゃん | 天野 夏美 作 はまの ゆか 絵 | 主婦の友社 | 2006 |
| | し | 原爆の火 | 岩崎 京子 文 毛利 まさみち 絵 | 新日本出版社 | 2000 |
| | し | やくそくのどんぐり | 大門 高子 文 松永 禎郎 絵 | 新日本出版社 | 2010 |
| | ち | クロがいた夏 | 中沢 啓治 作・絵 | 汐文社 | 1990 |
| | ち | それから | 榎田 伸子 作・絵 | 汐文社 | 1992 |
| | ち | 天に焼かれる | 金崎 是 作・絵 | 汐文社 | 1989 |
| | ち | はだしのゲン | 中沢 啓治 作・絵 | 汐文社 | 1980 |
| | ち | ヒロシマのおとうさん | 高橋 昭博 文 四国 五郎 絵 | 汐文社 | 1983 |
| | ち | ぼくは生きている | 尾崎 正義 作・絵 | 汐文社 | 1992 |
| | て | クロがいた夏 | 中沢 啓治 著 | DINO BOX | 2011 |
| | て | はだしのゲン | 中沢 啓治 著 Elizabeth Baldwin 訳 | DINO BOX | 2013 |
| | て | ピンク色の雲 | 宇留賀 佳代子 文 稲田 善樹 絵 | てらいんく | 2007 |
| | と | さがしています | アーサー・ピナード 作 岡倉 禎志 写真 | 童心社 | 2012 |
| | と | ピカドン | 丸木 位里 作 丸木 俊 作 | 東邦出版 | 1982 |
| | に | つる | エリナー・コア 文 こだま ともこ 訳 エド・ヤング 絵 | 日本図書センター | 2005 |
| | ひ | ここにいること おかあさんにしらせて | 上野 さかる 文 藤 わかな 絵 | BOC 出版部 | 2005 |
| | ひ | 小さな赤いてぶくる | 西野 綾子 文 渡辺 俊明 絵 | ひくまの出版 | 1983 |
| | ひ | 走れひばく電車 | まさき かずみ 文 しげとう さちよ 絵 | ひろしま女性学研究所 | 2008 |
| | ひ | 助けてあげられなくてごめんね | 広島市立段原小学校 編 平和教育推進委員会 編 | 広島市立段原小学校 | 2003 |
| ふ | 青い空 | 柳生 研太郎 作・画 | 風詠社 | 2011 | |
| ふ | いのりの石 | こやま 峰子 文 塚本 やすし 絵 | フレーベル館 | 2015 | |
| ふ | ピカッ!ドン!!はもうやめて!!! | 久野 登久子 文 佐藤 八重子 絵 | フレーベル館 | 2010 | |

対象別リスト

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|--------|--------------|---------------------|--|-----------------------|--------------|
| 絵本 | ふ | 海をわたったヒロシマの人形 | 指田 和文 絵 牧野 鈴子 絵 | 文研出版 | 2011 |
| | ほ | ヒロシマに原爆がおとされたとき | 大道 あや 著 赤木 かん子 企画・編集協力 | ポプラ社 | 2002 |
| | 03 K | SADAKO OF HIROSHIMA | MANORAMA JAJA 作 AJANTA GUHATHAKURTA 絵 | Khas Kitab foundation | 2000 |
| フィクション | 726 あ | 赤い靴はいた | あおき てつお まんが「シリーズ戦争」編集委員会 編 | 草土文化 | 1991 |
| | 726 あ 1・2 | まんがロザリオの祈り 1・2 | 青空 風太郎 漫画 さかい ともみ 原作 | 教育出版センター | 1984 1985 |
| | 726 け 2 | 原水爆漫画コレクション 2 | 谷川 一彦 著 | 平凡社 | 2015 |
| | 726 な | ある日突然に | 中沢 啓治 作 | 汐文社 | 1987 |
| | 726 な 1・2 | いつか見た青い空 上・下 | 中沢 啓治 作 | 汐文社 | 1986 |
| | 726 な | 野球バカ | 中沢 啓治 作 | 汐文社 | 1986 |
| | 726 な | ユーカリの木の下で | 中沢 啓治 作 | 汐文社 | 1986 |
| | 778 き | ピカドン | 木下 蓮三 作 木下 小夜子 作 | ダイナミックセラーズ | 1979 |
| | 778 き | ピカドン | 木下 蓮三 作 木下 小夜子 作 | ダイナミックセラーズ出版 | 2009 |
| | 908 に | チュイホアねえさん | 日中児童文学美術交流センター 編 | フレーベル館 | 1994 |
| | 913 あ | あの海の波間に | | 岩崎書店 | 1989 |
| | 913 い | 川とノリオ | いぬい とみこ 作 長谷川 集平 絵 | 理論社 | 1982 |
| | 913 い | 一つの花 | 今西 祐行 著 伊勢 英子 絵 | ポプラ社 | 1983 |
| | 913 い | 一つの花 ヒロシマの歌 | 今西 祐行 作 森川 泉 本文イラスト | 集英社 | 2015 |
| | 913 お | 石のひとりごと ほか3篇 | 大石 千枝子 (ほか) 作 富永 佳宏 絵 | あらし書店 | 1981 |
| | 913 お | 八月がくるたびに | おおえ ひで 作 篠原 勝之 絵 | 理論社 | 1971 |
| | 913 お | 浜ひるがおの花が咲く | おおえ ひで 作 四国 五郎 絵 | 汐文社 | 1985 |
| | 913 お | アオギリよ芽を出せ | 大川 悦生 作 遠藤 てるよ 絵 | 新日本出版社 | 1992 |
| | 913 お | おかあさんの木 | 大川 悦生 作 箕田 源二郎 絵 | ポプラ社 | 1969 |
| | 913 お | 木は生きかえった | 大川 悦生 作 宮本 忠夫 絵 | 新日本出版社 | 1986 |
| 913 お | 長崎にいた小人のフランツ | 大川 悦生 作 宮本 忠夫 絵 | 国土社 | 1988 | |

対象別リスト

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|--------|-----------|--------------------|----------------------|-----------|------|
| フィクション | 913 お | 長崎のふしぎな女の子 | 大川 悦生 著 宮崎 耕平 絵 | ポプラ社 | 1985 |
| | 913 お | 星からきたカード | 大川 悦生 作 宮本 忠夫 絵 | 汐文社 | 1985 |
| | 913 お | 海のむこうに | 大西 伝一郎 作 かみや しん 絵 | 汐文社 | 1985 |
| | 913 お | あした、またね！ | 大野 允子 作 二俣 英五郎 絵 | ポプラ社 | 1991 |
| | 913 お | いないいない、いない | 大野 允子 作 浜田 桂子 絵 | 国土社 | 1987 |
| | 913 お | かあさんのうた | 大野 允子 著 司 修 絵 | ポプラ社 | 1981 |
| | 913 お | げんさん | 大野 允子 作 上野 紀子 絵 | あすなろ書房 | 1986 |
| | 913 お | 白い鳥とねむの木の間 | 大野 允子 作 向井 康子 絵 | 小峰書店 | 1990 |
| | 913 お | チコとじぞうさん | 大野 允子 作 こさか しげる 絵 | 国土社 | 1977 |
| | 913 お | 母の川 | 大野 允子 作 鈴木 義治 画 | 小学館 | 1978 |
| | 913 お | 見えないトゲ | 大野 允子 作 田代 三善 絵 | 国土社 | 1970 |
| | 913 お | ゆりさんの花物語 | 大野 允子 作 狩野 富貴子 絵 | PHP研究所 | 1989 |
| | 913 お | 夏の記憶 | 丘 修三 作 多田 治良 絵 | 汐文社 | 1992 |
| | 913 お | わすれていてごめんね | 緒方 俊平 画・文 | ガリバープロダクツ | 2000 |
| | 913 お | ちちんぷいぷいとんでいけ | 小野 和子 作 永井 紗智子 絵 | 汐文社 | 1985 |
| | 913 く | 彼岸花はきつねのかんざし | 朽木 祥 作 ささめ ゆき 絵 | 学習研究社 | 2008 |
| | 913 く | 泣くな、東太 | 熊谷 本郷 作 吉野 晃希男 絵 | 銀の鈴社 | 2014 |
| | 913 く | おばけ雲 | 来栖 良夫 作 市川 禎男 絵 | 新日本出版社 | 1969 |
| | 913 こ | 心がホッとすると話 4年生下 | 七尾 純(ほか) 文 | 学習研究社 | 1999 |
| | 913 こ | くちなしの花 八月 | 児玉 辰春 文 長澤 靖 絵 | 草土文化 | 2001 |
| 913 こ | まっ黒なおべんとう | 児玉 辰春 作 北島 新平 絵 | 新日本出版社 | 1989 | |
| 913 こ | よっちゃんのビー玉 | 児玉 辰春 作 北島 新平 絵 | 新日本出版社 | 1990 | |

対象別リスト

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|--------|-------|---------------|-----------------------|--------------------|------|
| フィクション | 913 こ | ヒロシマの夏 | 子どもと文学の会 編 高田 勲 絵 | 国土社 | 1990 |
| | 913 こ | 遠い国からきた小さな友だち | こにし ひでこ 作 末吉 陽子 絵 | 新風舎 | 2007 |
| | 913 さ | あの子らの碑 | 坂口 便 作 村上 新一郎 画 | あらかき書店 | 1982 |
| | 913 さ | 原子雲を見た子どもたち | 坂口 便 作 村上 新一郎 画 | あらかき書店 | 1980 |
| | 913 さ | 原子野の汽笛 | 坂口 便 作 榎田 八郎 画 | あらかき書店 | 1986 |
| | 913 さ | 原子爆弾『でぶっちょ』 | 坂口 便 作 平野 伸人 画 | あらかき書店 | 1988 |
| | 913 さ | 世界でいちばん悲しいクラス | 坂口 便 作 村上 新一郎 画 | あらかき書店 | 1981 |
| | 913 さ | 土のなかの顔 | 坂口 便 作 村上 新一郎 画 | あらかき書店 | 1982 |
| | 913 さ | なぐさめの天使 | 坂口 便 作 村上 新一郎 画 | あらかき書店 | 1981 |
| | 913 さ | 見えないほうがよかった | 坂口 便 作 村上 新一郎 画 | あらかき書店 | 1980 |
| | 913 さ | 赤い風よふけ | 沢井 充子 作 渡辺 安芸夫 絵 | 汐文社 | 1986 |
| | 913 し | 十五年めのおくりもの | 柴山 一郎 作 村田 収 絵 | 金の星社 | 1997 |
| | 913 し | とべ、ぼくの鳩よ | 下嶋 哲朗 作・絵 | 金の星社 | 1984 |
| | 913 し | ピカッ子ちゃん | 正田 篠枝 作 なかの ひろたか 絵 | 太平出版社 | 1977 |
| | 913 す | ヒロシマのいのちの歌 | 鈴木 ゆき江 作 末崎 茂樹 絵 | ひくまの出版 | 2001 |
| | 913 す | おばあさんのとっくり | 砂田 弘 作 富永 秀夫 絵 | 岩崎書店 | 1977 |
| | 913 セ | 十日間のお客 | 関 英雄 (ほか) 編 | 小峰書店 | 1970 |
| | 913 セ | ヒロシマのうた | 関 英雄 (ほか) 編 | 小峰書店 | 1971 |
| | 913 た | ナガサキのおばあちゃん | 高橋 克雄 作 吉田 隆 絵 | 「ナガサキのおばあちゃん」出版支援会 | 2006 |
| | 913 た | 地図にない島へ | 武田 英子 文 吉本 宗 絵 | 農山漁村文化協会 | 1990 |
| | 913 た | 風のみた街 | 竹田 まゆみ 作 司 真実 絵 | ポプラ社 | 1985 |
| | 913 た | ガラスびんの夏 | 竹田 まゆみ 作 石倉 欣二 絵 | 汐文社 | 1985 |
| | 913 た | 四年一組にきた子 | 竹田 まゆみ 作 山中 冬児 絵 | ポプラ社 | 1983 |

対象別リスト

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|--------|---------|---------------|-------------------------|--------|------|
| フィクション | 913 た | るいるいとるいるいと | 竹田 まゆみ 作 こさか しげる 絵 | 汐文社 | 1987 |
| | 913 た | 口クの菜の花畑 | 竹田 まゆみ 作 相沢 るつ子 絵 | 汐文社 | 1996 |
| | 913 つ | 魔法のぶた | 司 修 作・絵 | 汐文社 | 1985 |
| | 913 つ | 見てるよ！ヒトミ | 槻野 けい 作 倉石 琢也 絵 | 汐文社 | 1985 |
| | 913 て | かべにきえる少年 | 手島 悠介 作 岩淵 慶造 絵 | 講談社 | 1976 |
| | 913 と | 白いチマチョゴリ | 徳永 和子 作 岩淵 慶造 絵 | 教育画劇 | 1991 |
| | 913 な | うそつき咲っぺ | 長崎 源之助 作 石倉 欣二 絵 | 佼成出版社 | 1995 |
| | 913 な | 汽笛 | 長崎 源之助 作 石倉 欣二 絵 | ポプラ社 | 2008 |
| | 913 な | 五十年めの手紙 | 長崎 源之助 作 山中 冬児 絵 | ポプラ社 | 1996 |
| | 913 な | 3+6の夏 | 中澤 晶子 作 ささめや ゆき 絵 | 汐文社 | 2015 |
| | 913 な | 白い物語 | 中島 信子 作 田沢 梨枝子 絵 | 汐文社 | 1985 |
| | 913 な | やんばる君 | 中野 慶 作 山本 祐司 画 | 童心社 | 2000 |
| | 913 な | あやかし草子 | 那須 正幹 作 タカタ カヲリ 絵 | 日本標準 | 2011 |
| | 913 な 5 | 那須正幹童話集 5 | 那須 正幹 作 武田 美徳 絵 | ポプラ社 | 2014 |
| | 913 に 4 | 戦争と平和のものがたり 4 | 西本 鶏介 編 篠崎 三朗 絵 | ポプラ社 | 2015 |
| | 913 に | ん子先生お元気で、ねっ | 日本子どもの本研究会 編 黒岩 章人 絵 | ほるぷ出版 | 1993 |
| | 913 に | 傘の舞った日 | 日本児童文学者協会 編 山田 花菜 絵 | 新日本出版社 | 2007 |
| | 913 に | ヒロシマのうた | 日本児童文学者協会 編 | 小峰書店 | 1986 |
| | 913 に | 焼けあとの白鳥 | 日本児童文学者協会 編 | 小峰書店 | 1986 |
| | 913 の | 転校生とぼくの秘密 | 野矢 一郎 作 丸木 俊 絵 | 小峰書店 | 1986 |
| | 913 は | ナガサキの花 | 畑島 喜久生 著 辻 みやこ 絵 | らくだ出版 | 1989 |
| | 913 は | 虹 | 早船 ちよ 作 太田 大八 絵 | 汐文社 | 1985 |
| | 913 は | 灯ろう | 原 のぶ子 作 岩淵 慶造 絵 | 汐文社 | 1992 |

対象別リスト

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|-----------|----------|------------------------|---|------------------------|--------|
| フィクション | 913 は | みえちゃんの集団疎開 | はら みえこ さくえ 段原中学校美術部 | 段原中学校美術部 | 1993 |
| | 913 は | みえちゃんの集団疎開 | 原 美恵子 著 | 原 美恵子 | 1991 |
| | 913 ひ | らくだい先生 | 広島・子どもと教師の文学の会 著 せき あきこ 絵 | ポプラ社 | 1982 |
| | 913 ふ | クレヨン王国月のたまご | 福永 令三 作 三木 由記子 絵 | 講談社 | 1986 |
| | 913 ま | 風のむらからさわこ | マオ アキラ 作 柿谷 織絵 絵 | 汐文社 | 1991 |
| | 913 み | ヤン一族の最後 | 三浦 精子 作 入野 忠芳 絵 | 汐文社 | 1985 |
| | 913 む | ヒロシマこどもたちの夏 | 村上 啓子 作 堀口 忠彦 絵 | 溪水社 | 1995 |
| | 913 も | 青い空が繋がった | 毛利 まさみち 作 うめだ ゆみ 絵 | 新日本出版社 | 2014 |
| | 913 も | ナガサキの男の子 | 森下 真理 作 篠崎 三朗 絵 | 太平出版社 | 1985 |
| | 913 や | ごめんねぼっこ | 山下 夕美子 著 太田 大八 絵 | あかね書房 | 1969 |
| | 913 や | 三年三組なきむしメソコ先生 | 山下 夕美子 作 村井 香葉 絵 | ポプラ社 | 1985 |
| | 913 や 8 | ポケネコにゃんころりん 8 | 山本 悦子 作 沢音 千尋 画 | 童心社 | 2012 |
| | 913 や | おばあちゃんのももの木 | 山本 玲子 作 長野 ヒデ子 絵 | 汐文社 | 1986 |
| | 913 ゆ | 広島 昭和20年8月6日 | 遊川 和彦 著 | 汐文社 | 2005 |
| | 913 よ | 翔ぶんだったら、いま！ | 吉本 直志郎 作 村上 豊 絵 | ポプラ社 | 1979 |
| | 913 れ | パンプキン！ | 令丈 ヒロ子 作 宮尾 和孝 絵 | 講談社 | 2011 |
| | 913 わ | 霧に消えた少女 | わたり むつこ 作 秋元 純子 絵 | 国土社 | 1985 |
| | ノンフィクション | 210 い | ヒロシマ8月6日、少年の見た空 | 井上 こみち 文 すがわら けいこ 絵 | 学研教育出版 |
| 210 え 6 | | 絵でよむ日本の歴史 6 | 鈴木 亮 編 中妻 雅彦 編 金沢 佑光 絵 | 大月書店 | 1990 |
| 210 さ 1・2 | | ビジュアル版 平和博物館・戦跡ガイド 1・2 | 佐藤 広基 イラスト・文 本地 桃子 イラスト・文 | 汐文社 | 2004 |
| 210 セ 7 | | せんそうってなんだったの？ 第7巻 | | 学習研究社 | 2007 |
| 210 セ | | せんそうってなんだったの？ | ささき あり 作 井上 こみち 作 戸田 和代 作 夏目 尚吾 (ほか) 画 | 学研教育出版 | 2013 |

対象別リスト

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|----------|------------|--------------------------|---------------------------------|------------|------|
| ノンフィクション | 210 せ 2-9 | せんそうってなんだったの? 第2期9 | 井上 こみち 文 すがわら けいこ 絵 | 学研教育出版 | 2014 |
| | 210 せ 2-10 | せんそうってなんだったの? 第2期10 | 光丘 真理 文 藤本 四郎 絵 | 学研教育出版 | 2014 |
| | 210 ち | 子どもたちへ、今こそ伝える戦争 | 長 新太 (ほか) 著 | 講談社 | 2015 |
| | 210 て | まんがで語りつく広島復興 | 手塚プロダクション まんが 青木 健生 シナリオ | 小学館クリエイティブ | 2015 |
| | 210 て | 平和のたからもの | 寺田 志桜里 ぶん・え | くもん出版 | 2001 |
| | 210 に | ピカドンのきのこ雲 | 日本児童文芸家協会 編 | ポプラ社 | 1975 |
| | 210 に | 日本の戦争遺跡図鑑 | | PHP研究所 | 2013 |
| | 210 に 7 | 日本の歴史博物館・史跡 7 | | あかね書房 | 1999 |
| | 210 ひ 12 | ひとり調べができる時代別日本の歴史 12 | | 学習研究社 | 1997 |
| | 210 ほ 5 | シリーズ戦争孤児 5 | 平井 美津子 編 | 汐文社 | 2015 |
| | 210 め 4 | 目でみる戦争とくらし百科 4 | | 日本図書センター | 2001 |
| | 210 れ | 太平洋戦争はじまる | 笠原 秀 文 | ポプラ社 | 1990 |
| | 210 わ 7 | わたしたちの戦争体験 7 | 日本児童文芸家協会 著 | 学研教育出版 | 2010 |
| | 281 き | たゆまぬ歩み おれはカタツムリ | 畑島 喜久生 作 小林 与志 絵 | 佼成出版社 | 1986 |
| | 281 な | 永井隆 | 中井 俊已 著 | 童心社 | 2007 |
| | 291 こ 7・8 | 日本と世界のちがいを考える本 7・8 | | ポプラ社 | 2000 |
| | 291 し 5 | 調べ学習に役立つ宇宙から見た日本の地理と産業 5 | | あかね書房 | 1998 |
| | 291 れ | 中国・四国歴史の町 | 三浦 はじめ 編著 | PHP研究所 | 1994 |
| | 310 あ | 被爆者 | 会田 法行 写真・文 | ポプラ社 | 2005 |
| | 310 あ | 続・被爆者 | 会田 法行 写真・文 | ポプラ社 | 2015 |
| | 310 に 2 | いま戦争を考える No.2 | 日本作文の会 編 | 百合出版 | 1987 |
| | 370 い 3 | ビジュアル版 学校の歴史 3 | 岩本 努 共著 保坂 和雄 共著 渡辺 賢二 共著 | 汐文社 | 2012 |
| | 700 こ | ぼくらは生きたい | 加藤 茂男 著 | ポプラ社 | 1983 |
| | 700 ひ | 日本の大切なもの | PHP 研究所 編 | PHP研究所 | 2007 |
| | 816 さ | 作文が好きになる事典 3・4年 | | 講談社 | 1995 |
| | 916 あ | ごめんね、お母さん | 荒木 正夫 文 高橋 孟 絵 | ポプラ社 | 1991 |
| | 916 お | 夏服の少女たち | 大野 允子 著 | ポプラ社 | 1989 |
| | 916 か | かえってきた瓢湖の白鳥 | 神戸 淳吉 (ほか) 著 田代 三善 (ほか) 絵 | 講談社 | 1984 |

対象別リスト

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|----------|-------|----------------|--|-------------------|-------|
| ノンフィクション | 916 こ | ピカドン | 講談社 編 | 講談社 | 2003 |
| | 916 こ | あの日を、わたしは忘れない | 河野 きよみ 絵と文 | 勉誠出版 | 2008 |
| | 916 こ | 象のいなくなった動物園 | 近野 十志夫 編 | 小峰書店 | 1994 |
| | 916 た | 折り鶴の少女 | たいら まさお 著 かみや しん 絵 | 偕成社 | 1988 |
| | 916 た | 七夕にねがいをこめて | 武田 英子 作 清水 耕蔵 絵 | 岩崎書店 | 1985 |
| | 916 て | 飛べ! 千羽づる | 手島 悠介 文 西村 保史郎 絵 | 講談社 | 1982 |
| | 916 な | 平和の木 | 長崎 源之助 著 二俣 英五郎 絵 | 童心社 | 1990 |
| | 916 な | あの日を、ぼくは忘れない | 名柄 堯 絵と文 | 勉誠出版 | 2008 |
| | 916 な | ぼく生きたかった | 名越 謙蔵 作 名越 操 作 矢野 洋子 絵 | 労働教育センター | 1982 |
| | 916 な | こんな学校があるよ | 名取 弘文 著 | ポプラ社 | 1997 |
| | 916 に | あの日のこと | 西山 進 文・絵 | クリエイティブ21 | 2005 |
| | 916 は | 原爆ドームの祈り | 長谷川 敬 文 山本 東陽 写真 | 講談社 | 1995 |
| | 916 ふ | チ口の星まつり | 藤井 旭 著 | ポプラ社 | 1988 |
| | 916 も | 世界じゅうに、愛の手を | 望月 正子(ほか) 著 小松 修(ほか) 絵 | 講談社 | 1984 |
| | 916 も | ゆきちゃんが見たピカドン | 森本 マリア 著 ナンシー・H・ロス 翻訳 彩瀬 ひよ子 切り絵 | 吉備人出版 | 2015 |
| | 916 よ | ナガサキの命 | 吉永 小百合 編 筒井 茅乃 文(第一部) 男鹿 和雄 カバー絵・挿絵 YUME 挿絵 | KADOKAWA | 2015 |
| | 918 よ | ヒロシマの風 | 吉永 小百合 編 男鹿 和雄 カバー絵・挿絵 YUME 挿絵 | KADOKAWA | 2014 |
| | 詩歌 | 911 か | 愛する人へ | 門倉 訣 作 岩崎 保夫 え | けやき書房 |
| 911 さ | | 子どもと心を見つめる詩 | 西郷 竹彦 編・著 | 黎明書店 | 1996 |
| 911 し | | 母よ誰が | 渋谷 清視 編 吉田 定一 編 かみや しん 絵 | 金の星社 | 1985 |
| 911 に 34 | | 日本の子どもの詩 34 広島 | 日本作文の会 篇 | 岩崎書店 | 1984 |
| 911 ふ | | ひろしまの子 | 深川 宗俊 詩 四国 五郎 絵 | 春陽社出版 | 1975 |

対象別リスト

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|----|-------|-------------------------|-----------|-----|------|
| 詩歌 | 911 み | 教室でよみたい詩12か月 小学校3・4年 | 水内 喜久雄 編著 | 民衆社 | 1995 |

小学校高学年から

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|--------|---------|---------------|---|---|------|
| 紙芝居 | P | ヒロシマへ行って | 谷田川 和夫 原案 渡辺 泰子 脚本 宮本 忠夫 絵 | 汐文社 | 1990 |
| 絵本 | あ | ジュノー | 津谷 静子 文 enjin productions・UNION CHO 絵 | ありがとう出版 | 2008 |
| | き | 音が消えた時 | 森本 マリア 著 小泉 直子 英訳 ジム・ロナルド 英訳 | 吉備人出版 | 1999 |
| | く | ようすけ君の夢 | 上村 吉 語り 真柳 タケ子 語り 佛教大学黒岩ゼミ 文 田中 愛 絵 越智 裕希美 絵 | クリエイツかもがわ | 2008 |
| | こ | 100ばんめのサル | ケン・キース・ジュニア 原作 松本 茂樹 文 尾崎 真吾 絵 | 国土社 | 1987 |
| | せ | 昭和二十年八さいの日記 | 佐木 隆三 文 黒田 征太郎 絵 | 石風社 | 2011 |
| | せ | 火の話 | 黒田 征太郎 作 | 石風社 | 2011 |
| | ち | うわさごと | 梅田 俊作 文・絵 | 汐文社 | 2012 |
| | ふ | ようすけ君の夢 | 上村 吉 語り 真柳 タケ子 語り 佛教大学社会学部社会福祉学 社会福祉援助技術演習ゼミ (二〇〇五年度二KFクラス) 文 田中 愛 絵 越智 裕希美 絵 | 佛教大学社会学部 社会福祉学 発 行 セ ン タ ー 社 会 大 開 一 | 2006 |
| フィクション | 388 に | 広島県の民話 | 日本児童文学者協会 編 | 偕成社 | 1979 |
| | 726 く | 怒る犬 | 黒田 征太郎 著 日暮 真三 著 長友 啓典 著 | 岩波書店 | 2012 |
| | 726 け 3 | 原水爆漫画コレクション 3 | 白土 三平 著 滝田 ゆう 著 | 平凡社 | 2015 |
| | 726 け 4 | 原水爆漫画コレクション 4 | 赤塚 不二夫 (ほか) 著 | 平凡社 | 2015 |
| | 726 そ | 焼けあとのイチ | 創価学会婦人平和委員会 編 | 第三文明社 | 1995 |
| | 726 て | 原爆といのち | 手塚 治虫 (ほか) 著 | 金の星社 | 2013 |
| | 726 な 2 | 中沢啓治著作集 2 | 中沢 啓治 著 | DINO BOX | 2014 |

対象別リスト

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|--------|------------|-----------------|--|----------|-------------------|
| フィクション | 726 な 3 | 中沢啓治著作集 3 | 中沢 啓治 著 | DINO BOX | 2015 |
| | 726 な 1~10 | はだしのゲン 1~10 | 中沢 啓治 著 | 汐文社 | 1975 ~ 1987 |
| | 726 な 1~3 | はだしのゲン 1~3 | 中沢 啓治 著 | 中央公論社 | 1996 |
| | 908 に | 読み聞かせる戦争 | 日本ペンクラブ 編 加賀美 幸子 選 | 光文社 | 2015 |
| | 913 あ | 北国の子どもたち | 赤木 由子 作 池田 仙三郎 絵 | 講談社 | 1982 |
| | 913 い | テニアンの少女 | 石上 正夫 作 井口 文秀 絵 | 汐文社 | 1985 |
| | 913 い | あの戦争のなかにぼくもいた | 石浜 みかる 著 | 国土社 | 1992 |
| | 913 い | 光の消えた日 | いぬい とみこ 作 長 新太 画 | 岩波書店 | 1978 |
| | 913 い | みどりの川のぎんしょきしょき | いぬい とみこ 作 太田 大八 画 | 福音館書店 | 1978 |
| | 913 い | この空の下で | 井上 雅博 作 | 朝日学生新聞社 | 2011 |
| | 913 い | 化石原人の告白 | 猪野 省三 作 | 学習研究社 | 1963 |
| | 913 い | いま、戦争と平和を考えてみる。 | 峠 三吉 (ほか) 作 | くもん出版 | 2009 |
| | 913 い | あるハンノキの話 | 今西 祐行 著 | 実業之日本社 | 1966 |
| | 913 い | くらがり峠 | 今西 祐行 著 福田 庄助 絵 | 偕成社 | 1981 |
| | 913 い | ハコちゃんあるハンノキの話ほか | 今西 祐行 著 | 実業之日本社 | 1981 |
| | 913 い | ヒロシマの歌 | 今西 祐行 作 遠藤 てるよ 画 | 岩崎書店 | 1982 |
| | 913 う | ヒロシマとハワイを結ぶ物語 | うねざき まさこ 文 よねはら ひろこ 絵 まつうら しおん 絵 | アント・ヒロシマ | 2008 |
| | 913 お | 心でさげんでください | おおえ ひで 作 かみや しん 画 | 小学館 | 1983 |
| | 913 お | 南の風の物語 | おおえ ひで 著 | 理論社 | 1961 |
| | 913 お | りよおばあさん | おおえ ひで 著 | 実業之日本社 | 1972 |
| | 913 お | 十四才の夏 | 大谷 美和子 作 たざわ りえこ 絵 | 汐文社 | 1990 |
| | 913 お | 朝の別れを | 大野 允子 著 | ポプラ社 | 2001 |
| | 913 お | あなたへ | 大野 允子 作 鈴木 義治 絵 | あすなろ書房 | 1985 |
| | 913 お | つるのとぶ日 | 大野 允子 (ほか) 著 | 東都書房 | 1963 |
| | 913 お | 虹をみた日 | 大野 允子 作 永田 治子 絵 | ポプラ社 | 1995 |

対象別リスト

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|--------|-----------|---------------------|-------------------------------|----------|------|
| フィクション | 913 お | 八月の少女たち | 大野 允子 著 吉崎 正巳 絵 | 新日本出版社 | 1985 |
| | 913 お | ヒロシマの少女 | 大野 允子 著 鈴木 義治 絵 鈴木 琢磨 絵 | 盛光社 | 1969 |
| | 913 お | ヒロシマ、八月、炎の鎮魂歌 | 大野 允子 作 永田 治子 絵 | ポプラ社 | 1998 |
| | 913 お | 夕焼けの記憶 | 大野 允子 作 小坂 しげる 絵 | 国土社 | 1973 |
| | 913 お | おれたちにできなかったこと | 大原 興三郎 作 こぐれ けんじろう 絵 | PHP 研究所 | 1996 |
| | 913 お | マンモスの夏 | 大原 興三郎 作 山野辺 進 絵 | 文溪谷 | 1995 |
| | 913 お | 歌よ川をわたれ | 沖井 千代子 作 こさか しげる 絵 | 講談社 | 1980 |
| | 913 か | 八月のすきまに | 辛島 萌 作 狩野 ふきこ 絵 | 新日本出版社 | 2005 |
| | 913 き | 因の木と少女たちの40年 | 菊地 澄子 作 津田 樽冬 絵 | 汐文社 | 1986 |
| | 913 き | ひとりひとりの戦争 | 菊地 澄子 作 鈴木 琢磨 絵 | 理論社 | 1975 |
| | 913 き | もえる吹雪 | 菊池 鮮 作 市川 禎男 絵 | 汐文社 | 1985 |
| | 913 き | ヒロシマの子守唄 | 菊地 正 作 こさか しげる 絵 | 汐文社 | 1985 |
| | 913 き | バオバブのゲンバク | 木村 功 (ほか) 作 会田 恵津子 絵 | 汐文社 | 1986 |
| | 913 き | 広島にチンチン電車の鐘が鳴る | きむら けん 著 高橋 透 装画 | 汐文社 | 1999 |
| | 913 き | さようならかげぼうし | 木村 英代 作 多田 治良 絵 | 汐文社 | 1985 |
| | 913 き | 白い町ヒロシマ | 木村 靖子 作 梶 鮎太 画 | 金の星社 | 1983 |
| | 913 く | チビ兵行進曲 | 熊谷 本郷 作 鈴木 孝子 絵 | 汐文社 | 1989 |
| | 913 く | 太陽の落ちた日 | 来栖 良夫 (ほか) 編 | 労働教育センター | 1980 |
| | 913 き1~3 | ロザリオの折り 1~3 | さかい ともみ 作 青空 風太郎 絵 | 教育出版センター | 1984 |
| | 913 し | アイリーンのとうろう | 柴田 克子 著 永井 吐無 絵 | アリス館 | 1976 |
| 913 し | 遙かなトナカイの国 | 清水 道尾 作 阿嘉 まさご 画 | 岩崎書店 | 1991 | |
| 913 す | 夏の花たち | 鈴木 ゆき江 著 | ひくまの出版 | 2004 | |

対象別リスト

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|--------|-----------|-------------------|-----------------------------------|-----------|--------------|
| フィクション | 913 そ | ねこになった少年 | 征矢 清 作 やまだ 紫 画 | 岩波書店 | 1988 |
| | 913 た | あしたへげまん | 竹田 まゆみ 著 小坂 しげる 絵 | 新日本出版社 | 1971 |
| | 913 た | おじいちゃんは兵隊だった | 竹野 栄 作 田代 三善 絵 | 旺文社 | 1994 |
| | 913 つ | あしたの風 | 壺井 栄 著 | ポプラ社 | 1978 |
| | 913 つ | 明日が来なかった子どもたち | 鶴 文乃 文 能仲 リエ 絵 | サンパウロ〔発売〕 | 2000 |
| | 913 と | 消えた夏休み | 富家 知道 著 富家 美代子 著 大羽 睦代 著 | ウインかもがわ | 2005 |
| | 913 な | はだしのゲン | 中沢 啓治 原作 君塚 良一 脚本 田中館 哲彦 構成 | 汐文社 | 2007 |
| | 913 な 1~3 | はだしのゲン 上・中・下 | 中沢 啓治 原作 深沢 一夫 作 | 汐文社 | 1980 1981 |
| | 913 な | 1983年熱い秋のノート | 中澤 晶子 作 むかい ながまさ 絵 | 汐文社 | 1985 |
| | 913 な | 時の石 | 那須 正幹 作 岡本 順 絵 | 文溪堂 | 1994 |
| | 913 な | チョウのいる丘 | 那須田 稔 作 市川 禎男 絵 | 講談社 | 1968 |
| | 913 に | 北風は芽を | 日本児童文学者協会 編 市川 禎男 画 | 童心社 | 1971 |
| | 913 に | こすもすベーカリー物語 | 日本児童文学者協会 編 松本 春野 絵 | 新日本出版社 | 2008 |
| | 913 に | ひろしまのオデット | 日本児童文学者協会 編 小林 与志 画 | 童心社 | 1972 |
| | 913 に | ふたりの英雄 | 日本児童文学者協会 編 太田 大八 画 | 童心社 | 1971 |
| | 913 ひ | 歌のとどく日 | 広島児童文学研究会 編 遠藤 てるよ 絵 | 新日本出版社 | 1970 |
| | 913 ふ | ミチコとクミ | 深沢 一夫 作 高田 三郎 絵 | 汐文社 | 1986 |
| | 913 ふ | 海辺の砂をにぎりしめて | 藤田 博保 作 高田 三郎 画 | 大日本図書 | 1988 |
| | 913 ふ | 犬之介さんと小犬 | 藤本 正文 文 市原 正勝 絵 | 近代文藝社 | 1995 |
| | 913 ま | 光る夏一たつひこ | マオ アキラ 作 谷口 広樹 画 | 童心社 | 1993 |
| 913 ま | ふたりのイーダ | 松谷 みよ子 著 司 修 絵 | 講談社 | 1976 | |

対象別リスト

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|----------|--------------|-------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|------|
| フィクション | 913 ま | おもいで箱 | 松永 伍一 (ほか) 作 鈴木 たくま 絵 | 汐文社 | 1985 |
| | 913 ま | あやと青い目の人形 | 松永 照正 著 会田 貴代 絵 黒崎 晴生 写真 | クリエイティブ 21 | 2003 |
| | 913 や | かあさんの野菊 | 山口 勇子 著 東本 つね 絵 倉石 琢也 絵 | 新日本出版社 | 1974 |
| | 913 や | 貝の鈴 | 山口 勇子 著 岩崎 ちひろ 画 | 大日本図書 | 1970 |
| | 913 や | スカーフは青だ | 山口 勇子 著 二俣 英五郎 絵 | 新日本出版社 | 1969 |
| | 913 や | 人形マリー | 山口 勇子 著 四国 五郎 絵 | 新日本出版社 | 1980 |
| | 913 や | 広島姉妹 | 山本 真理子 作 岩淵 慶造 画 | 岩崎書店 | 1973 |
| | 913 や | 広島の友 | 山本 真理子 作 藤田 通代 絵 | 岩崎書店 | 1995 |
| | 913 や | 広島の母たち | 山本 真理子 作 佐伯 和子 画 | 岩崎書店 | 1982 |
| | 913 よ | 北の天使南の天使 | 吉本 直志郎 作 遠藤 てるよ 絵 | ポプラ社 | 1982 |
| | 913 よ | リトルボーイ | 吉本 直志郎 作 中島 潔 絵 | ポプラ社 | 2005 |
| | 913 わ | 麦畑のカマキリ | 和田 勝恵 作 鈴木 孝子 絵 | 汐文社 | 1986 |
| | 918 な 16 | 「戦争と平和」子ども文学館 16 | 長崎 源之助 (ほか) 編 | 日本図書センター | 1995 |
| | 918 な 17 | 「戦争と平和」子ども文学館 17 | 長崎 源之助 (ほか) 編 | 日本図書センター | 1995 |
| | 918 な 18 | 「戦争と平和」子ども文学館 18 | 長崎 源之助 (ほか) 編 | 日本図書センター | 1995 |
| 933 ふ | さよならをいう時間もない | ジュディ・ブルーム 作 長田 敏子 訳 | 偕成社 | 1991 | |
| ノンフィクション | 019 き | 「夾竹桃物語—わすれて いてごめんね」 絵画・読書感想文集 | | 「夾竹桃物語—わすれて いてごめんね」絵画・読書 感想文事務局 | 2002 |
| | 060 り | 戦争と郷土の歴史を考える | | 福武書店 | 1992 |
| | 150 こ | 自分ってなんだろう？ | 小島 昌世 著 | ポプラ社 | 1995 |
| | 200 か 8 | 学習に役立つものしり事典365日 8月 | | 小峰書店 | 1990 |
| | 200 き | きょうはなんの日？ 7月・8月 | 布施 孝子 文 | ポプラ社 | 1999 |
| | 209 た 10 | 第二次世界大戦 10 | 槐 一男 著 | 太平出版社 | 1985 |
| 209 よ | 原子爆弾投下 | 吉田 悟郎 (ほか) 編 | 岩崎書店 | 1983 | |

対象別リスト

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|------------------|-----------|--------------------------|--------------------------------|----------|--------------|
| ノン フィク ション | 210 あ | 小倉に原爆が落ちた日 | 朝日新聞西部本社社会部 編 | あらき書店 | 1983 |
| | 210 あ | アジア・太平洋戦争 | | ポプラ社 | 2006 |
| | 210 あ 5 | 語り伝える空襲 第5巻 | 安斎 育郎 文 | 新日本出版社 | 2008 |
| | 210 あ1~5 | シリーズ戦争 語りつごうヒロシマナガサキ 1~5 | 安斎 育郎 文 | 新日本出版社 | 2014 2015 |
| | 210 い | 日本の歴史 10 | 今井 庄次 著 | ポプラ社 | 1969 |
| | 210 え 5 | NHK日本映像の20世紀 5 | | ポプラ社 | 2003 |
| | 210 お 5 | おはなし太平洋戦争史 5 | 和歌森 太郎 (ほか) 編 | 岩崎書店 | 1970 |
| | 210 け 1~3 | 新聞で調べよう現代日本の50年 1~3 | 現代日本の50年編集委員会 編 | 大日本図書 | 1995 |
| | 210 し 2 | 昭和の歴史 中 | 森藤 よしひろ まんが | くもん出版 | 1989 |
| | 210 し 8 | 調べ学習日本の歴史 8 | | ポプラ社 | 2000 |
| | 210 し 12 | しらべ学習に役立つ日本の歴史 12 | 古川 清行 著 | 小峰書店 | 1995 |
| | 210 し 3 | シリーズ戦争遺跡 3 | 辻 隆広 編 | 汐文社 | 2010 |
| | 210 し | 人物や文化遺産で読み解く日本の歴史 7 | | あかね書房 | 2010 |
| | 210 す | 子どもにおくる戦争があったころの話 | 鈴木 喜代春 (ほか) 編 | らくだ出版 | 2006 |
| | 210 た | ヒロシマの原子雲 | 高城 肇 著 | 偕成社 | 1972 |
| | 210 た 2 | 日本の歴史 下 | 高橋 碩一 (ほか) 著 | 岩崎書店 | 1987 |
| | 210 つ | ヒロシマ・コレクション | 土田 ヒロミ 撮影 | 日本放送出版協会 | 1995 |
| | 210 に | 21世紀こども百科歴史館 | | 小学館 | 1999 |
| | 210 に 7 | 日本の遺跡と遺産 7 | 矢野 慎一 著 | 岩崎書店 | 2009 |
| | 210 に | 世界のなかの日本 | 宇野 俊一 編 | 集英社 | 1991 |
| | 210 ひ | 日本の歴史 5 | 広島県郷土史研究会 編著 | 日本標準 | 1981 |
| | 210 ふ 3 | わたしたちのアジア・太平洋戦争 3 | 古田 足日 編 米田 佐代子 編 西山 利佳 編 | 童心社 | 2004 |
| | 210 へ 1 | 平和学習に役立つ戦跡ガイド 1 | 平和学習に役立つ戦跡 ガイド編集委員会 編 | 汐文社 | 2014 |
| | 210 へ 2 | 平和学習に役立つ戦跡ガイド 2 | 平和学習に役立つ戦跡 ガイド編集委員会 編 | 汐文社 | 2014 |
| | 210 へ 5 | 平和を考える戦争遺物 5 | 是恒 高志 編 | 汐文社 | 2014 |
| | 210 ま | なみだのファインダー | 松重 美人 著 | ぎょうせい | 2003 |
| | 210 や | 平和を考える戦争遺産図鑑 | 安島 太佳由 写真・著 | 岩崎書店 | 2015 |
| | 210 れ 5 | 世界と出会う日本の歴史 5 | 歴史教育者協議会 編 | ほるぷ出版 | 1999 |
| | 210 わ | 1945年8月15日 | 和歌森 太郎 (ほか) 編 | 岩崎書店 | 1995 |

対象別リスト

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|----------|-----------|-----------------------------------|---|-------------|------|
| ノンフィクション | 281 え 2 | 兵隊ぐらしとピカドン | 江戸家 猫八 著 | ポプラ社 | 1983 |
| | 281 さ | シゲコ! | 菅 聖子 著 | 偕成社 | 2010 |
| | 281 な | 永井隆 | 片山 はるひ 著 | 日本キリスト教団出版局 | 2015 |
| | 281 に | 仁科芳雄／本多光太郎 | 関口 たか広 漫画 | ほるぷ出版 | 1991 |
| | 281 や | 平和のバトンをつないで | 池田 まき子 著 タムラ フキコ 絵 | WAVE 出版 | 2014 |
| | 281 よ | 暁の超特急 | 辺見 じゅん 著 | 今井書店 | 2001 |
| | 283 あ | アインシュタインと相対性理論 | D. J. レイン 作 ないとう ふみこ 訳 | 玉川大学出版部 | 2015 |
| | 291 お 11 | おはなし日本地理 11 | 入江 敏夫 (ほか) 編 | 岩崎書店 | 1978 |
| | 291 し | 事前学習に役立つみんなの修学旅行 -広島・山ロー- | | 小峰書店 | 2015 |
| | 291 し 6 | 事前に調べる修学旅行パーフェクトガイド 6 | | 金の星社 | 2003 |
| | 291 し | 新図解 わたしたちの日本地理 | | 学習研究社 | 1997 |
| | 291 に 34 | 子ども日本風土記 34 | 日本作文の会 編 | 岩崎書店 | 1975 |
| | 291 に 42 | 子ども日本風土記 42 | 日本作文の会 編 | 岩崎書店 | 1971 |
| | 291 に 3 | 日本の地理 3 | 小島 晃 編 | あゆみ出版 | 1990 |
| | 310 あ | 13歳からの平和教室 | 浅井 基文 著 | かもがわ出版 | 2010 |
| | 310 あ | INORI | 綾野 まさる 著 | ハート出版 | 2010 |
| | 310 あ 1~5 | 語り伝えるヒロシマ・ナガサキ 1~5 | 安斎 育郎 文 | 新日本出版社 | 2004 |
| | 310 い 3 | いのちを学ぼう平和学習実践集 3 | | 汐文社 | 2002 |
| | 310 さ | ヒロシマここより永遠 <small>とこより</small> に | 佐藤 廣枝 企画 佐藤 菜笑 編 佐藤 太紀 編 | HPS国際ボランティア | 2015 |
| | 310 さ | ようきんさった原爆ドームは語る | 佐藤 廣枝 企画 佐藤 菜笑 編 佐藤 廣枝 構成 大中 加代子 構成 ステイブン・リーパー 英訳 | HPS国際ボランティア | 2014 |
| | 310 そ | 青い地球はぼくたちのもの | 創価学会婦人平和委員会 編 | 第三文明社 | 1986 |
| | 310 そ | ヒロシマ「平和への出発 <small>ちぎはつ</small> 」 | 創価学会婦人平和委員会 編 | 第三文明社 | 1987 |
| | 310 ち | ひろしま国 | 中国新聞社 編 | 明石書店 | 2009 |
| | 310 ち | 原爆ドーム物語 | 汐文社編集部 編 | 汐文社 | 1990 |
| | 310 と | 「原爆の子の像」と「折鶴」 | 豊田 清史 著 | 火幻社 | 2003 |
| | 310 ひ | 長崎原爆資料館 | ピースウイング長崎 編 長崎平和推進協会 編 | 長崎平和推進協会 | 2000 |
| | 310 ひ | 平和記念資料館学習ハンドブック | 広島平和記念資料館 (著) | 広島平和記念資料館 | 2001 |

対象別リスト

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|------------------|---------|---------------------------------|---|-----------|------|
| ノン フィク ション | 310 へ | 広島修学旅行ハンドブック | 平和・国際教育研究会 編 | 平和文化 | 1999 |
| | 310 ま | 翼のヒロシマ | 町田 樹生 文・絵 | 飛鳥出版室(制作) | 2011 |
| | 310 み | 奇跡はつばさに乗って | 源 和子 著 | 講談社 | 2013 |
| | 310 ろ | たった一発の爆弾でヒロシマ20万人、ナガサキ10万人が死んだ。 | 労働教育センター編集部 編 | 労働教育センター | 2011 |
| | 320 し | シリーズ国連 2 | 半田 博 著 蔵元 幸二 著 | リブリオ出版 | 1993 |
| | 320 れ 1 | シリーズ憲法9条 第1巻 | 歴史教育者協議会 編 | 汐文社 | 2006 |
| | 370 う | 君と感動の日々を | 上田 精一 著 | 民衆社 | 1985 |
| | 370 お | 歩いて見てほしいひろしま原爆の木たち | 大川 悦生 著 | たかの書房 | 1995 |
| | 370 し | ひろしま | 小学校平和教育教材編集委員会 編 広島県原爆被爆教師の会 編 | 広島平和教育研究所 | 1984 |
| | 380 は | どんなくらしをしているかな | ヒルデガルド・ハウブリック 編 ハートウィック・ハウブリック 編 松村 亮一 訳 松本 千里 訳 | 古今書院 | 1991 |
| | 390 に | せんそう | 日本作文の会 編 | 岩崎書店 | 1991 |
| | 430 お | 火ははたらく | 大竹 三郎 著 | 大日本図書 | 1987 |
| | 490 に | わたしたちのいのち・健康・未来 | 名原 壽子 編 加藤 文三 編 石井 勉 絵 | 汐文社 | 1991 |
| | 510 ち | 核の時代をどういきるか | 伊東 壮 編 | ポプラ社 | 1991 |
| | 530 い | 核はほんとうに安全か | 伊東 壮 著 | ポプラ社 | 1990 |
| | 530 け | 原子力がわかる事典 | | P H P 研究所 | 2012 |
| | 530 け | 原子力のことがわかる本 | | 数研出版 | 2003 |
| | 530 た | 核災害からの復興 | 高田 純 著 | 医療科学社 | 2005 |
| | 550 な | 絵で読む広島の原爆 | 那須 正幹 文 絵 西村 繁男 絵 | 福音館書店 | 1995 |
| | 550 ひ | 原爆一見えない放射線の被害 | 広島平和記念資料館 著 | 広島平和記念資料館 | 2000 |
| | 550 へ | あの日、広島と長崎で | 平和博物館を創る会 編 | 平和のアトリエ | 1994 |
| | 650 い | 広島の木に会いに行く | 石田 優子 著 | 偕成社 | 2015 |
| | 700 し 5 | 修学旅行で行ってみたい日本の世界遺産 5 | 本田 純 著 小松 亮一 著 清野 賢司 著 | 岩崎書店 | 2007 |
| | 700 し 5 | 修学旅行で行ってみたい日本の世界遺産 5 | 本田 純 著 小松 亮一 著 清野 賢司 著 | 岩崎書店 | 2014 |
| | 720 く | 平和をねがう「原爆の図」 | 楠木 しげお 作 くまがい まちこ 絵 | 銀の鈴社 | 2012 |

対象別リスト

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|----------|-----------|----------------------|---|-----------------------|----------------------|
| ノンフィクション | 720 け | 原爆の絵 HIROSHIMA | | 童心社 | 1977 |
| | 720 ま | 原爆の図 | 丸木 位里 共同制作 丸木 俊 共同制作 | 丸木美術館 | 1983 |
| | 720 ま | 原爆の図 | 丸木 位里 共同制作 丸木 俊 共同制作 | 小峰書店 | 2000 |
| | 726 き 1~5 | キセキのヒロシマ 1~5 | ピースピースプロジェクト 企画 高下 知代 漫画 谷川 知子 漫画 山田 康代 漫画 | 美健ガイド社 | 2014 2015 |
| | 726 な | はだしのゲンわたしの遺書 | 中沢 啓治 著 | 朝日学生新聞社 | 2012 |
| | 726 ひ | わたしからのメッセージ | 広島市立織町中学校「この世界に平和を！」委員会 執筆 | 広島市立織町中学校 | 2001 |
| | 740 つ | ヒロシマ1945~1979 | 土田 ヒロミ 著 | 朝日ソノラマ | 1979 |
| | 770 い | 少年口伝隊一九四五 | 井上 ひさし 著 ヒラノ トシユキ 絵 | 講談社 | 2013 |
| | 770 き | ゲン in ヒロシマ | 中沢 啓治 原作 木島 恭 脚本・詞 | 講談社 | 1999 |
| | 800 ふ 2 | チャレンジ!キッズスピーチ 2 | フリー・ザ・チルドレン・ジャパン 編 | 大月書店 | 2015 |
| | 816 け | 広島平和の親子バスツアー感想文集 | 原水爆禁止加古川市協議会 編 | 原水爆禁止加古川市協議会 | 1993 |
| | 816 に 1 | 子どもの作文で綴る戦後50年 1 | 日本作文の会 編 | 大月書店 | 1995 |
| | 816 に 11 | 子どもの作文で綴る戦後50年 11 | 日本作文の会 編 | 大月書店 | 1995 |
| | 816 に | たのしい観察記録の作文5年生 | 日本作文の会 編 | 小峰書店 | 1993 |
| | 816 ぬ 15 | 平和を考える小中学生作文集 第15集 | 沼津市財務部 [編] | 沼津市財務部 | 2004 |
| | 816 ひ | 広島・長崎市児童生徒平和のつどい感想文集 | 広島・長崎市児童生徒平和のつどい実行委員会 [編] | 広島・長崎市児童生徒平和のつどい実行委員会 | 2003 2004 2005 |
| | 816 へ | こども平和文集 12 | 平和協会・児童部 [編] | 平和協会 | 1996 |
| | 914 な | ぼくと兄の日章旗 | 中野 孝次 作 | ポプラ社 | 1995 |
| | 914 な | 夕焼けの子どもたち | 那須 正幹 著 かみや しん 絵 | 岩崎書店 | 1990 |
| | 916 あ | ぼくの戦争 | 秋山 勝彦 著 | ウインかもがわ | 2004 |
| | 916 あ | 初めて知った戦争 | 秋山 正美 編 | 日本図書センター | 1993 |
| | 916 あ | 一人ぼっちの焼けあと | 秋山 正美 編 | 日本図書センター | 1993 |
| | 916 あ | よみがえるふるさと | 秋山 正美 編 | 日本図書センター | 1993 |
| | 916 い | いのちが未来をもてるように | | 日本生活協同組合連合会 | 1986 |
| | 916 う | 原爆の図物語 | 宇佐美 承 作 丸木 位里 絵 丸木 俊 絵 | 小峰書店 | 1985 |

対象別リスト

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|------------------|-------|------------------------|---|------------|------|
| ノン フィク ション | 916 う | ルルの家の絵かきさん | 宇佐美 承 著 丸木 位里 絵 丸木 俊 絵 | 偕成社 | 1978 |
| | 916 う | 折り鶴は世界にはばたいた | うみの しほ 作 高田 三郎 絵 | P H P 研究所 | 1998 |
| | 916 お | 広島・長崎からの伝言 | 大川 悦生 編著 | 岩崎書店 | 1990 |
| | 916 お | 思い出のサダコ | 大倉 記代 文 夜川 けんたろう 絵 | よも出版 | 2005 |
| | 916 お | 思い出のサダコ | 大倉 記代 著 大宮本 慶子 訳 スティーブン・リーバー 監訳 夜川 けんたろう 絵 | IBCパブリッシング | 2015 |
| | 916 お | ヒロシマ語り部の歌 | 大野 允子 作 四国 五郎 絵 | 汐文社 | 1999 |
| | 916 お | わたしがちいさかったときに | 長田 新 (ほか) 編 岩崎 ちひろ 画 | 童心社 | 1967 |
| | 916 か | マレーシアの語り人 | かつお きんや 作 北島 新平 絵 | 汐文社 | 1985 |
| | 916 か | 戦後50年学童疎開の子どもたち 第3巻 | 嘉藤 長二郎 (ほか) 編 | 汐文社 | 1995 |
| | 916 く | 燃える日本列島 | 来栖 良夫 (ほか) 編 永井 潔 絵 | 童心社 | 1969 |
| | 916 こ | ヒロシマ心の旅路 | 児玉 辰春 著 村井 宗二 画 | 岩崎書店 | 1996 |
| | 916 こ | 遠きヒロシマ | [児玉 八重子 述] 青木 幸子 著 | 牧歌舎 | 2014 |
| | 916 さ | 禎子の千羽鶴 | 佐々木 雅弘 著 | 学研パブリッシング | 2013 |
| | 916 つ | 娘よ、ここが長崎です | 筒井 茅乃 作 松岡 政春 写真 保田 孝 写真 | くもん出版 | 1985 |
| | 916 つ | 娘よ、ここが長崎です | 筒井 茅乃 作 松岡 政春 写真 保田 孝 写真 | くもん出版 | 2007 |
| | 916 と | あの日から生きて生きて | 東京都原爆被害者団体協議会 編 | 汐文社 | 1986 |
| | 916 な | 14歳の生涯 | 中本 昭 (ほか) 作 浜田 桂子 絵 | 汐文社 | 1986 |
| | 916 な | 折り鶴の子どもたち | 那須 正幹 作 高田 三郎 絵 | P H P 研究所 | 1984 |
| | 916 の | わたしが子どものころ戦争があった | 野上 暁 編 神沢 利子 (ほか) 著 | 理論社 | 2015 |
| | 916 は | ナガサキの空 | 畑島 喜久生 著 えさき みつたか 絵 | らくだ出版 | 1986 |

対象別リスト

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|----------|---------|-------------------------|-------------------------|--------|------|
| ノンフィクション | 916 ひ | いしづみ | 広島テレビ放送 編 | ポプラ社 | 1970 |
| | 916 ひ | いしづみ | 広島テレビ放送 編 | ポプラ社 | 2005 |
| | 916 ふ | 緑のドクター | 藤崎 康夫 作 根岸 佐千子 写真 | くもん出版 | 1988 |
| | 916 や | 海をわたる被爆ピアノ | 矢川 光則 著 | 講談社 | 2010 |
| | 916 や | 原爆の火の長い旅 | 山口 勇子 著 | 新日本出版社 | 1991 |
| | 916 や | ナガサキに翔ぶ | 山脇 あさ子 著 | 新日本出版社 | 1996 |
| | 916 よ | 平和の芽 | 横山 秀夫 著 | 講談社 | 1995 |
| | 916 よ | ぼくは満員電車で原爆を浴びた | 米澤 鐵志 語り 由井 りょう子 文 | 小学館 | 2013 |
| | 916 よ | 読む知る話すほんとうにあったお話 6年生 | | 講談社 | 2013 |
| | 916 わ | 長崎を忘れない | 渡辺 千恵子 作 東本 つね 絵 | 草土文化 | 1980 |
| 918 か | 原爆の子の像 | 川野 登美子 著 | 文化評論 | 2013 | |
| 詩歌 | 908 か | 戦争と人間 | 川崎 洋 編 梅田 俊作 絵 | 岩崎書店 | 1997 |
| | 908 た 6 | いのり | 立原 えりか 編 島田 勝吾 絵 | 太平出版社 | 1985 |
| | 908 た 5 | ヒロシマの空 | 立原 えりか 編 牧野 鈴子 絵 | 太平出版社 | 1984 |
| | 911 い | 挨拶 | 石垣 りん 著 伊藤 英治 編 | 岩崎書店 | 2009 |
| | 911 え | 水辺の祈り | えの ゆずる 作 向井 康子 絵 | 大日本図書 | 1989 |
| | 911 お | 少年のひろしま | 大平 数子 作 竹本 三郎 絵 | 草土文化 | 1981 |
| | 911 し | 小学生・詩のくにへ 12 | 新川 和江 編 安藤 ひろみ 絵 | 太平出版社 | 1988 |
| | 911 ひ | 原子雲の下より | 被爆実態調査会 編 | 亜紀書房 | 1989 |
| | 911 ま | あおい空に | 松永 伍一 編 いわさき ちひろ 画 | 童心社 | 1996 |
| | 911 み | 教室でよみたい詩12か月 小学校5・6年 | 水内 喜久雄 編著 | 民衆社 | 1995 |
| | 911 よ | 空になった少年 | シゲミ・ヨシダ 詩 長 新太 画 | 岩崎書店 | 1995 |
| | 911 わ | 菩提樹とさるすべりの花 | わらび さぶろう 詩 藤田 健次 切り絵 | らくだ出版 | 2003 |

中学生から

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|----------------------------|--------------|-------------------------|--|------|----------------------|
| 絵本 | こ | 絵本母と暮せば | 山田 洋次 文 森本 千絵 絵 | 講談社 | 2015 |
| フ イ ク シ ョ ン | 908 | せ 夏の花 | 成城国文学会 編 | ポプラ社 | 1984 |
| | 913 | い 野の花は生きる | いぬい とみこ 文 司 修 画 | 童心社 | 1972 |
| | 913 | お 海に立つにじ | 大野 允子 著 | 講談社 | 1965 |
| | 913 | お 消えていく詩 | 大野 允子 作 織茂 恭子 画 | ポプラ社 | 1976 |
| | 913 | お ひーちゃんはいった | 大野 允子 著 | ポプラ社 | 1977 |
| | 913 | お ピラミッド帽子よ、さようなら | 乙骨 淑子 作 長谷川 集平 絵 | 理論社 | 1981 |
| | 913 | か 脱走者たち | 片山 昌造 作 いいの としお 絵 | 理論社 | 1973 |
| | 913 | く 八月の光 | 朽木 祥 作 | 偕成社 | 2012 |
| | 913 | く 八月の光・あとかた | 朽木 祥 著 | 小学館 | 2015 |
| | 913 | く 光のうつしえ | 朽木 祥 作 | 講談社 | 2013 |
| | 913 | し 48色の夢のクレヨン | 重藤 マナレ 静美 著 佐藤 綾子 編集 | 池田出版 | 2013 |
| | 913 | し 48色の夢のクレヨン | 重藤 マナレ 静美 著 佐藤 綾子 編集 | 池田出版 | 2015 |
| | 913 | な もうひとつのヒロシマ | 仲里 三津治 著 | 講談社 | 2008 |
| | 913 | な ヒロシマ 1～3 | 那須 正幹 作 長谷川 知子 装画 | ポプラ社 | 2011 |
| | 913 | に お菓子放浪記 [正]・続・完結 | 西村 滋 著 八木 康夫 絵・ 西村 滋 作 朝倉 美恵子 絵・ 西村 滋 作 武藤 セイ子 画 | 理論社 | 1976 1994 2003 |
| | 913 | は 友よ・夏の花・原爆詩 | 林 京子 (ほか) 著 | 金の星社 | 1985 |
| | 913 | や カモメの家 | 山下 明生 作 宇野 亜喜良 絵 | 理論社 | 1991 |
| | 913 | や 二年2組はヒヨコのクラス | 山下 夕美子 作 長 新太 絵 | 理論社 | 1968 |
| | 913 | や 赤毛のポチ | 山中 恒 作 しらい み のる 絵 | 理論社 | 1969 |
| | 933 | す 弟を地に埋めて | ロバート・スウィンデルズ 作 斉藤 健一 訳 | 福武書店 | 1988 |
| 933 | は ヒロシマから帰った兄 | マリアン・D・パウアー 著 久米 穰 訳 | 佑学社 | 1992 | |
| 943 | ふ サダコは生きる | K. ブルックナー 作 片岡 啓治 訳 | 学習研究社 | 1963 | |

対象別リスト

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|----------|---------|----------------------|--|---------------|----------------------|
| ノンフィクション | 019 か | 中学生の読書のために | 川口 昭三 著 | 民衆社 | 1989 |
| | 019 セ | 平和を考える絵本 | 全国学校図書館協議会ブック・リスト委員会 編 | 全国学校図書館協議会 | 1992 |
| | 020 き | きみには関係ないことか | 京都家庭文庫地域文庫連絡会「きみには関係ないことか」戦争と平和を考える子どもの本-2」編集担当読書研究会 編 | 京都家庭文庫地域文庫連絡会 | 1984 1991 |
| | 020 き | きみには関係ないことか | 京都家庭文庫地域文庫連絡会 編 | かもがわ出版 | 1997 2004 2011 |
| | 200 に 2 | 広島のおいしづみはみつめる第1集・第2集 | 西尾 隆昌〔編〕 | 西尾隆昌 | 1982 2000 |
| | 200 は | 恐ろしい本 | 長谷川 四郎 著 | 筑摩書房 | 1970 |
| | 209 あ 1 | 子どもにつたえる世界の戦争と平和 1 | 荒井 信一(ほか) 編 | 日本図書センター | 1995 |
| | 209 し 2 | 人類の歴史を変えた8つのできごと 2 | 眞 淳平 著 | 岩波書店 | 2012 |
| | 210 あ | 母と子でみる広島・長崎 | 朝日新聞企画部 編 | 草土文化 | 1983 |
| | 210 う | ヒロシマ散歩 | 植野 浩 著 | 汐文社 | 1997 |
| | 210 え | 1941年12月8日 | 江口 圭一 著 | 岩波書店 | 1991 |
| | 210 か | 九州史跡見学 | 川添 昭二 著 | 岩波書店 | 1989 |
| | 210 く | 原爆写真 ノーモアヒロシマ・ナガサキ | 黒古 一夫 編 清水 博義 編 James Dorsey 訳 | 日本図書センター | 2005 |
| | 210 こ | 長崎原爆写真集 | 小松 健一 編 新藤 健一 編 | 勉誠出版 | 2015 |
| | 210 こ | 広島原爆写真集 | 小松 健一 編 新藤 健一 編 | 勉誠出版 | 2015 |
| | 210 そ | 加害基地宇品 | 空 辰男 著 | 汐文社 | 1994 |
| | 210 て | 綾瀬はるか「戦争」を聞く | TBSテレビ「NEWS23」取材班 編 | 岩波書店 | 2013 |
| | 210 は | 爆心地ヒロシマに入る | 林 重男 著 | 岩波書店 | 1992 |
| | 210 は | 母と子でみる原爆を撮った男たち | 反核・写真運動 編 | 草の根出版会 | 1987 |
| | 210 む | 20世紀を一緒に歩いてみないか | 村上 義雄 著 | 岩波書店 | 2001 |
| | 210 も | 遺品は語る | 深沢 一夫 文 森下 一徹 写真 | 汐文社 | 1982 |
| | 210 や | 日本の戦跡を見る | 安島 太佳由 著 | 岩波書店 | 2003 |
| | 250 え | アメリカ | 槐 一男 著 | 岩崎書店 | 1990 |
| | 280 た | 最後の手紙 | 立川 昭二 著 | 筑摩書房 | 1990 |
| | 280 な | 名もなき人びとの伝記 | 永井 萌二 著 | 大日本図書 | 1971 |

対象別リスト

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|----------------------|---------|------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------|------|
| ノン フイ クシ ョン | 280 ぶ | 原子力への道を開いた人々 | 藤本 陽一 著 | さ・え・ら書房 | 1966 |
| | 281 と | 風のように炎のように 峠三吉 | 岩崎 健二 作・画 | 峠三吉記念事業委員会 | 1993 |
| | 281 な | オヤジがライバルだった | 中里 喜昭 著 | 筑摩書房 | 1984 |
| | 281 は | ヒロシマに生きて | 原田 東岷 著 | 草の根出版会 | 1999 |
| | 291 け | ガイドブックヒロシマ | 原爆遺跡保存運動懇談会 編 | 新日本出版社 | 1996 |
| | 291 た | ヒロシマの碑 ^{いしづみ} | 宅和 純 著 広島県教職員組合 編 広島平和教育研究所 編 | 広島県教育用品 | 1996 |
| | 291 は | 長崎 | 原田 博二 著 | 岩波書店 | 2006 |
| | 291 ひ | ヒロシマの旅 | 広島県歴史教育者協議会(ほか) 編 | 平和文化 | 1983 |
| | 291 ひ | 一瞬に消えさった爆心の町 | 広島平和記念資料館 編 | 広島平和記念資料館 | 2001 |
| | 291 ひ | ひろしま碑・遺跡・平和あんない | 広島平和教育研究所 編 広島県原爆被爆教職員会 編 | 広島平和教育研究所 | 1984 |
| | 300 こ | ヒロシマ読本 | 小堺 吉光 著 広島平和文化センター 編 | 広島平和文化センター | 1992 |
| | 310 き | 訪ねてみよう 戦争を学ぶ ミュージアム／メモリアル | [記憶と表現] 研究会 著 | 岩波書店 | 2005 |
| | 310 く | 猫ちゃんは帰らない | 黒川 万千代 著 | 民衆社 | 1983 |
| | 310 こ | 広島の復興の歩み | 国際平和拠点ひろしま構想推 進連携事業実行委員会 編 | 国際平和拠点ひろしま構想 推進連携事業実行委員会 | 2015 |
| | 310 こ | ヒロシマは世界をむすぶ | 小島 昌世 著 | ポプラ社 | 1999 |
| | 310 さ | 折り鶴に出会った子どもたち | 三省堂 編 | 三省堂 | 2003 |
| | 310 し | ピース・アニメを創る | ミホ・シボ 著 | かがわ出版 | 1993 |
| | 310 せ | せこへい | 世界の子どもを平和像 を広島につくる会 編 | 部落問題研究所 | 2002 |
| | 310 せ 6 | 世界の「戦争と平和」博物館 第6巻 | 草の根出版会 編 | 日本図書センター | 1997 |
| | 310 た | ヒロシマ、ナガサキ、フクシマ | 田口 ランディ 著 | 筑摩書房 | 2011 |
| | 310 ち | ユネスコ世界遺産原爆ドーム | 中国新聞社 編 | 中国新聞社 | 1997 |
| | 310 と | はばたけ千羽鶴 | 豊田 清史 著 | 筑摩書房 | 1982 |
| | 310 な | ナガサキー1945年8月9日 | 長崎総合科学大学平和 文化研究所 編 | 岩波書店 | 1984 |
| | 310 な | ナガサキー1945年8月9日 | 長崎総合科学大学平和 文化研究所 編 | 岩波書店 | 1995 |
| | 310 な | 妹たちへの手紙 | 中山 千夏 著 | 国土社 | 1984 |
| | 310 に | 原爆の絵 | NHK 長崎放送局 編 | 日本放送出版協会 | 2003 |
| | 310 に | 原爆の絵 | NHK 広島放送局 編 | 日本放送出版協会 | 2003 |

対象別リスト

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|----------|---------|-----------------------|------------------------------------|------------|------------|
| ノンフィクション | 310 に | サダコ | NHK 広島「核・平和」プロジェクト 著 | 日本放送出版協会 | 2000 |
| | 310 は | ノーモア核兵器 | 服部 学 著 高田 藤三郎 イラスト | 草土文化 | 1983 |
| | 310 ひ | 原水爆とのたたかい | 日高 六郎 著 | 国土社 | 1963 |
| | 310 ひ | 希望のヒロシマ | 平岡 敬 著 | 岩波書店 | 1996 |
| | 310 ひ | 被爆アオギリと生きる | 広岩 近広 著 | 岩波書店 | 2013 |
| | 310 ひ | 原爆モニュメント物語 | 広島県歴史教育者協議会 編著 | 平和文化 | 1984 |
| | 310 ひ | 原爆死没者慰霊式典の記録 | 広島市 編 | 広島市 | 2016 |
| | 310 ひ | 世界遺産原爆ドーム | 広島市市民局平和推進室 編 広島平和文化センター 編 | 広島市市民局 | 1997 |
| | 310 ひ | ヒロシマを世界に | 広島平和記念資料館 編 | 広島平和記念資料館 | 1999 |
| | 310 ひ | 「平和宣言」を読む | 広島平和記念資料館 編 | 広島平和記念資料館 | 1994 ほか |
| | 310 ひ | 平和—国家・核・教育 | 広島平和文化センター 編 | 広島平和文化センター | 1989 |
| | 310 ふ | 長崎原爆絵巻 崎陽のあらし | 深水 経孝 作 人吉高校英語研究会 編 | 草の根出版会 | 2003 |
| | 310 ま | 広島長崎修学旅行案内 | 松元 寛 著 | 岩波書店 | 1982 |
| | 310 ま | 広島長崎修学旅行案内 | 松元 寛 著 | 岩波書店 | 1998 |
| | 310 も | ヒロシマの子 | 森下 弘 (ほか) 編著 | 平和文化 | 1983 |
| | 310 も | ドウユーノウサダコ? | 守屋 敦子 著 横川 節子 構成 山本 祐司 カバー装画 | よも出版 | 2002 |
| | 310 や | 原爆瓦 | 山口 勇子 著 | 平和文化 | 1982 |
| | 310 や | ぼくのピース・メッセージ | 山本 コウタロー 著 | 岩波書店 | 1990 |
| | 310 れ | 平和博物館・戦争資料館ガイドブック | 歴史教育者協議会 編 | 青木書店 | 2004 |
| | 310 わ | 15歳のナガサキ原爆 | 渡辺 浩 著 | 岩波書店 | 2002 |
| | 360 い | ヒロシマを持ちかえった人々 | 市場 淳子 著 | 凱風社 | 2000 |
| | 360 く | 被爆者たちの戦後50年 | 栗原 淑江 [著] | 岩波書店 | 1995 |
| | 369 と | キノコ雲に追われて | ロバート・トランブル 著 吉井 知代子 訳 | あすなろ書房 | 2010 |
| | 369 ひ | ヒロシマから「内部被ばく」と歩んで | 肥田 舜太郎 著 | クレヨンハウス | 2012 |
| | 370 い | 中学生の春夏秋冬 | 石川 逸子 著 | 岩波書店 | 1984 |
| | 370 い | 高校生の正しい夏 | 岩波書店編集部 編 | 岩波書店 | 1989 |
| | 370 う | 学校演劇で平和を学ぶ | 上田 精一 著 | 草の根出版会 | 2004 |
| | 370 こ 1 | 中学生のための「総合」アイデアBOOK 1 | 滝口 正樹 著 こどもくらぶ 編 | ポプラ社 | 2001 |

対象別リスト

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|----------|--------------|----------------------------|--|-------------------|------|
| ノンフィクション | 370 こ | 原爆碑を洗う中学生 | 小林 文男 著 | 草の根出版会 | 2005 |
| | 370 さ | 原爆は終わっていない | 埼玉県立朝霞高等学校一年二組 著 | 埼玉県立朝霞高等学校一年二組 | 1990 |
| | 370 さ | ヒロシマ希望の未来 | 澤野 重男 著 | 平和文化 | 2010 |
| | 370 ひ | ひろしま | 広島県平和教育教材編集委員会 編 | 広島平和教育研究所 | 1984 |
| | 370 ひ | ヒロシマは語る | 「ヒロシマは語る」刊行委員会 編 河野 通宏 著 宮本 幸晴 写真 原 広司 挿絵 | 広島県原爆被害者団体協議会 | 1997 |
| | 370 ひ | ひろしま | 広島平和教育研究所 編 | 広島平和教育研究所 | 1993 |
| | 370 ひ | ひろしま | 広島平和教育研究所 編 | 広島平和教育研究所出版部 | 1986 |
| | 370 ひ | ひろしま | 広島平和教育研究所 編 | 広島県教育用品 | 1997 |
| | 390 ふ | 戦争がやってくる | 藤井 治夫 著 | 筑摩書房 | 1991 |
| | 490 い | 広島・長崎でなにが起きたのか | 飯島 宗一 著 | 岩波書店 | 1982 |
| | 490 か | 広島のおばあちゃん 過去 現在 未来 | 鎌田 七男 著 | 鎌田七男ソフトプロジェクト | 2005 |
| | 520 ひ | ヒロシマの被爆建造物は語る | 被爆建造物調査委員会 編 | 広島平和記念資料館 | 1996 |
| | 520 ひ | 原爆ドーム100年の記憶 | 広島市平和記念資料館 編 | 広島平和文化センター平和記念資料館 | 2015 |
| | 540 こ | 子どもたちに伝えたい | 小出 裕章 著 | 東邦出版 | 2011 |
| | 540 ひ | チェルノブイリから広島へ | 広河 隆一 著 | 岩波書店 | 1995 |
| | 540 や | ハンドブック 原発事故と放射能 | 山口 幸夫 著 | 岩波書店 | 2012 |
| | 550 に | 原爆の実相を語りつぐ 被爆者からの伝言 | 日本原水爆被害者団体協議会 編 | あけび書房 | 1995 |
| | 650 に | 被爆70年・西区の被爆樹・ 被爆遺跡・被爆建物 | 西区被爆フィールドワークの会 編 | 西区被爆フィールドワークの会 | 2015 |
| | 690 く | 私はニュースキャスター | 久和 ひとみ 著 | 岩波書店 | 1989 |
| | 720 な | 「原爆の絵」と出会う | 直野 章子 著 | 岩波書店 | 2004 |
| | 720 ひ | 平和への祈り | 平山 郁夫 著 | 毎日新聞社 | 1998 |
| | 720 ひ | 原爆の絵 | 広島平和記念資料館 編 | 岩波書店 | 2007 |
| | 720 ま | 『はだしのゲン』を英語で読む | 毎日文化センター広島 編 | 毎日新聞社 | 2013 |
| | 720 や 1・2 | あしたきらきら No.1・No.2 | 伊藤 真理子 詩 山崎 盛夫 絵 HIP(平和のためのヒロシマ 通訳者グループ) 翻訳 | スユックル | 1994 |
| | 726 な | はだしのゲン自伝 | 中沢 啓治 著 | 教育史料出版会 | 1994 |
| | 740 け | ヒロシマ・ナガサキ | 現代出版編集部 編 | 現代出版 | 1982 |

対象別リスト

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|----------|-------|-----------------|------------------------------|------------------|------|
| ノンフィクション | 740 に | 空から地下を探るには？ | 西尾 元充 著 | 筑摩書房 | 1988 |
| | 740 ひ | ひろしま | 広島県原爆被爆教職員の会 編 | 広島平和教育研究所 | 1984 |
| | 748 い | ひろしま | 石内 都 著 | 集英社 | 2008 |
| | 750 て | 原爆ヒロシマ | 寺尾 知文 著 | 光人社 | 1982 |
| | 770 く | 私の戦争 | 黒木 和雄 著 | 岩波書店 | 2004 |
| | 778 か | 核のない21世紀を | 片桐 直樹 原案 田中館 哲彦 構成 | 汐文社 | 2001 |
| | 816 ふ | 子どもたちの見たヒロシマ | 文沢 隆一 編 | 汐文社 | 1982 |
| | 908 い | ぼくの町は「戦場」だった | BBC イギリス放送 編 山中 恒 訳 | 平凡社 | 1990 |
| | 908 へ | 戦争は終わった | ハインリッヒ・ベル(ほか) 著 好村 富士彦 編訳 | ほるぷ出版 | 1988 |
| | 916 あ | 子どもころ戦争があった | あかね書房 編 | あかね書房 | 1974 |
| | 916 あ | わたしの8月15日 | あかね書房 編 | あかね書房 | 1975 |
| | 916 あ | ひかりのたね | 天野 文子 記 小野 和子 編 | 汐文社 | 1992 |
| | 916 あ | サヨナラはお乳の匂い | 荒木 正夫 著 村上 新一郎 絵 | あらき書店 | 1988 |
| | 916 い | わたしの少女時代 | 池田 理代子(ほか) 著 | 岩波書店 | 1979 |
| | 916 い | 1945年8月6日 | 伊東 壮 著 | 岩波書店 | 1979 |
| | 916 い | 1945年8月6日 | 伊東 壮 著 | 岩波書店 | 1989 |
| | 916 お | ヒロシマ、遺された九冊の日記帳 | 大野 允子 著 | ポプラ社 | 2005 |
| | 916 お | ヒロシマの雨はドームの涙 | 小川 利雄 編 | 教育出版センター | 1975 |
| | 916 お | 原爆の子 | 長田 新 編 | 岩波書店 | 1970 |
| | 916 お | さよなら、先生 | 織井 青吾 著 | ポプラ社 | 1982 |
| | 916 け | 「原爆の子」をうけついで | 「原爆の子」をうけつく会 編 | 原爆の子をうけつく会 | 2011 |
| | 916 こ | ピカドンの青春 | 小井手 桂子 著 | 三修社 | 1985 |
| | 916 こ | 悪魔の銀のサイコロ | 国際平和教育研究会 編 | 教育出版センター | 1975 |
| | 916 こ | 地獄からの汽車 | 国際平和教育研究会 編 | 教育出版センター | 1975 |
| | 916 こ | しまってはいけない記憶 | 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 編 | 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 | 2015 |
| | 916 し | きのこ雲の下で | 重高 ヨシコ 作 | 重高 ヨシコ | 2005 |
| | 916 し | 流光 | 修道中学・高等学校記念誌「流光」編集委員会 編 | 修道中学・高等学校 | 1995 |
| | 916 し | 集団疎開生活と原爆被災 | 正現寺疎開児童の会 編 | 正現寺疎開児童の会 | 2003 |

対象別リスト

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|----------|--------------|---------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|
| ノンフィクション | 916 せ | 広島第二県女二年西組 | 関 千枝子 著 | 筑摩書房 | 1985 |
| | 916 た | さいごのトマト | 竹本 成徳 著 | 日本生活協同組合連合会 | 2010 |
| | 916 つ | ヒロシマの証 | 土田 ヒロミ (ほか) 著 | 岩波書店 | 1982 |
| | 916 な | 太陽が消えたあの日 | 長崎放送報道部 編 | 童心社 | 1972 |
| | 916 な | はだしのゲンはピカドンを忘れない | 中沢 啓治 著 | 岩波書店 | 1982 |
| | 916 な | はだしのゲンはヒロシマを忘れない | 中沢 啓治 著 | 岩波書店 | 2008 |
| | 916 に | あの日… | 日本原水爆被害者団体協議会 編 | 新日本出版社 | 1995 |
| | 916 に | 神の子たち | 日本児童文学者協会 編 日本子どもを守る会 編 | 草土文化 | 1979 |
| | 916 に | 原爆予告をきいた | 日本児童文学者協会 編 日本子どもを守る会 編 | 草土文化 | 1983 |
| | 916 に | 骨壺 | 日本児童文学者協会 編 日本子どもを守る会 編 | 草土文化 | 1979 |
| | 916 に | 碑めぐり研修録 | 日本大学第二中学校 編 | 日本大学第二中学校 編 | 2003 |
| | 916 は | 少女・十四歳の原爆体験記 | 橋爪 文 著 | 高文研 | 2001 |
| | 916 は | 少女・十四歳の原爆体験記 | 橋爪 文 著 | 高文研 | 2011 |
| | 916 は | オマールさんを訪ねる旅 | 早川 幸生 編 | かもがわ出版 | 1994 |
| | 916 ひ | 平和を祈る人たちへ | 被爆60周年記念証言集 編集委員会 編 | 広島女学院同窓会 | 2005 |
| | 916 ひ 1～5 | 遺言「ノー・モア・ヒロシマ」 第1集～第5集 | ヒロシマ青空の会 編 | ヒロシマ青空の会 | 2004 2005 2006 2007 2008 |
| | 916 ひ | ああ麗しき太田川 | 広島県立広島工業高等 学校同窓会 編 | 広島県立広島工業高等学校創 立100周年記念事業実行委員会 | 1997 |
| | 916 ひ | 広島ろう学校被爆と疎開の記録 | 広島県立広島ろう学校 (編) 平和教育資料編集委員会 (編) | 広島県立広島ろう学校 | 1996 |
| | 916 ひ | 夏雲 | 広島女学院教職員組合 平和教育委員会 編 | 広島女学院教職員組合 | 2001 |
| | 916 ひ | 証 | 広島市立高等女学校・広島市 立舟入高等学校同窓会 (編) | 広島市立高等女学校・広島 市立舟入高等学校同窓会 | 2005 |
| | 916 ひ | 原爆被爆者は訴える | 広島平和文化センター 編 | 広島平和文化センター | 1988 |
| | 916 や | かあさんと呼べた | 山口 勇子 (編) | 草土文化 | 1964 |
| | 916 や | 焼け跡に風が吹く | 山福 康政 著 | 福音館書店 | 1995 |
| | 918 な 21 | 「戦争と平和」子ども文学館 別巻 | 長崎 源之助 (ほか) 編 長谷川 潮 著 | 日本図書センター | 1995 |
| | 986 お | アイオイ橋の人影 | フセヴォロト・オフチニコフ 作 北畑 静子 訳 | 富山房 | 1974 |

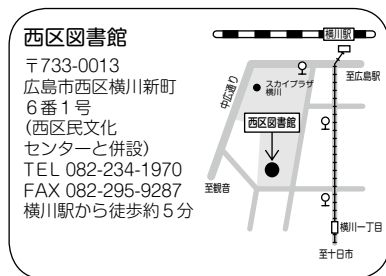
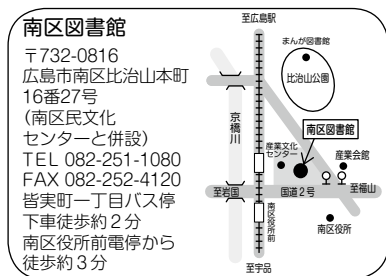
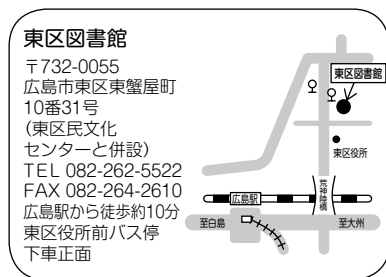
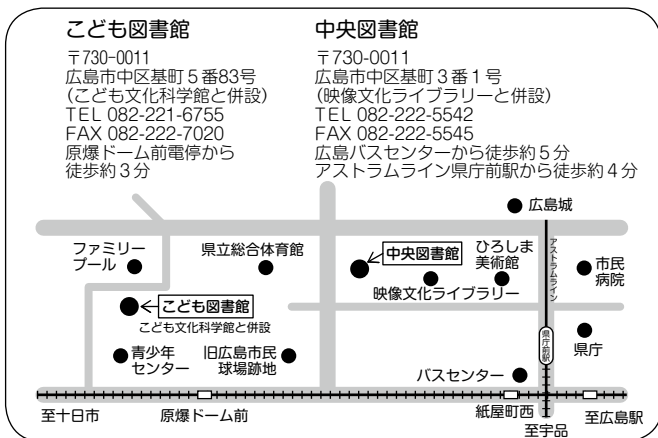
対象別リスト

| 内容 | 請求記号 | 書名 | 著者名 | 出版者 | 出版年 |
|------------------------|-------|-----------------|--|-----------|------|
| 詩歌 | 911 き | いま中学生とよみたい101の詩 | 木坂 涼 編 水内 喜久雄 編 | 民衆社 | 1999 |
| | 911 と | 原子雲の下より | 峠 三吉 編 山代 巴 編 | 青木書店 | 1970 |
| | 911 と | 原爆詩集 | 峠 三吉 著 | 合同出版 | 1995 |
| | 911 と | 詩集 にんげんをかえせ | 峠 三吉 著 増岡 敏和 編 | 新日本出版社 | 1995 |
| | 911 は | 詩のわかる本 中学3年 | 畑島 喜久生 編 | 国土社 | 1997 |
| | 911 み | 交響詩集ヒロシマ | 水野 潤一 著 | 丸ノ内出版(発売) | 1999 |
| | 911 よ | 第二楽章 | 吉永 小百合 編 アーサー・ピナード (ほか) 英訳 男鹿 和雄 画 | スタジオジブリ | 2015 |
| 原簿 録 書 目 録 | 020 う | 原爆手記掲載図書・雑誌総目録 | 宇吹 暁 編著 | 日外アソシエーツ | 1999 |
| | 310 ふ | 原爆文献大事典 | 文献情報研究所 編著 | 日本図書センター | 2004 |



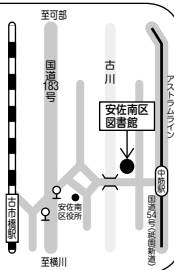
図書館案内

※ このリストに掲載している図書は、一部を除いて貸出ができます。
詳しくは、次の市立図書館窓口でお尋ねください。



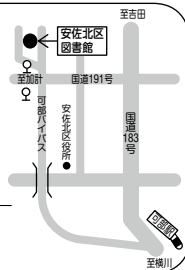
安佐南区図書館

〒731-0122
広島市安佐南区中筋
一丁目22番17号
(安佐南区民文化
センターと併設)
TEL 082-879-5060
FAX 082-879-8536
下古市バス停から
徒歩約10分
アストラムライン中筋駅から
徒歩約4分



安佐北区図書館

〒731-0221
広島市安佐北区可部
七丁目28番25号
(安佐北区民文化
センターと併設)
TEL 082-814-0340
FAX 082-814-0604
安佐北区民文化センター
入口バス停から
徒歩約8分



安芸区図書館

〒736-8508
広島市安芸区船越南
三丁目2番16号
(安芸区民文化
センターと併設)
TEL 082-824-1056
FAX 082-824-1057
海田市駅から徒歩約7分
船越町・安芸区役所バス停から
徒歩約1分



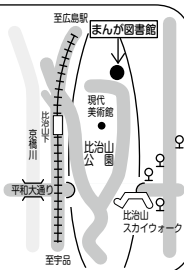
佐伯区図書館

〒731-5128
広島市佐伯区五日市中央
六丁目1番10号
(佐伯区民文化
センターと併設)
TEL 082-921-7560
FAX 082-924-0742
佐伯区民文化センター前
バス停から
徒歩約2分



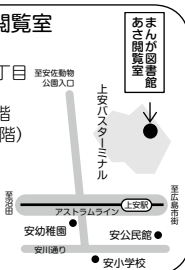
まんが図書館

〒732-0815
広島市南区比治山公園
1番4号
TEL 082-261-0330
FAX 082-262-5406
比治山下電停から
徒歩約10分
段原中央バス停から
徒歩約13分



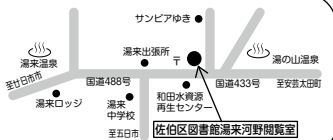
まんが図書館あさ閲覧室

〒731-0154
広島市安佐南区上安二丁目
30番15号
上安バスターミナル3階
(ヘルテガーデンA棟2階)
TEL 082-830-3675
FAX 082-830-3676
アストラムライン上安駅から
徒歩約1分
上安バスターミナルから
徒歩約1分



佐伯区図書館湯来河野観覧室(やまゆりホール)

〒738-0601
広島市佐伯区湯来町大字和田35番地の1
TEL 0829-40-4005 FAX 0829-83-0134
大橋(湯来出張所前)バス停から 徒歩約10分



「ほんはともだち '16」編集委員

1 公募委員

(1) フィクション

幼児から

有馬 りんな 栗栖 智子 村本 佐知子

小学校低学年から

天本 京子 鈴木 由貴子 藤田 幸子

小学校中学年から

久保 博子 中田 みどり 原 朋子

小学校高学年から

木村 理果 鈴木 尚子 友野 紀代

中学生から

射原 幸子 梅地 佳代子 角田 寛子
吉崎 智子

(2) ノンフィクション

大上 恵子 辰上 加代子 水田 明美

(五十音順)

2 こども図書館職員

ほんはともだち '16

子どもの心を育てる良書目録

(平成26年(2014年)4月～平成28年(2016年)3月)

発行日 平成29年(2017年)3月8日

編集 「ほんはともだち '16」編集委員会

発行 広島市こども図書館

〒730-0011 広島市中区基町5番83号

電話 (082) 221-6755

FAX (082) 222-7020



